

令和6年度

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会



国立障害者リハビリテーションセンター

令和6年6月26日

於：Web会議形式

目 次

<別冊資料編>

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施状況 並びに令和6年度同事業実施計画	
北海道ブロック	1
東北ブロック	13
関東甲信越・東京ブロック	28
東海ブロック	66
北陸ブロック	80
近畿ブロック	90
中国ブロック	108
四国ブロック	118
九州沖縄ブロック	123
2 令和5年度高次脳機能障害支援実績調査結果	136

令和5年度高次脳機能障がい者支援事業実施報告

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

北海道ブロックでは高次脳機能障がい者及びその家族に対し、リハビリ支援コーディネート事業として支援拠点医療機関を委託するとともに、リハビリ提供・地域生活支援事業として、就労（準備）就学（準備）支援事業、就労系障害福祉サービス事業所及び地域生活支援センター利用支援事業、在宅生活支援事業を委託して実施した。【別紙1～4】

また、道立保健所（26か所）において、ネットワーク会議、講演会、研修会、事例検討会、実態調査、パンフレット作成、相談、訪問指導、家族の集い等が行われた。【別紙5】
本庁業務においても「高次脳機能障がい者支援連絡会議」を開催した（以下、内容）

<令和5年度 高次脳機能障がい者支援連絡会議>

開催日：令和5年12月1日（金）

開催方法：対面及びオンラインでのハイブリッド式

- 議 題：1 高次脳機能障害とは？（高次脳機能障害の基礎的講義）
2 高次脳機能障害委託事業者の業務紹介
3 保健所からの質問・相談（委託事業者より回答）
4 グループワーク『実際の事例を元にした支援方法について』

【資料】

○道委託事業

- 別紙1 北海道ブロック リハビリ支援コーディネート事業【北海道大学病院】
別紙2 北海道ブロック 就労（準備）就学（準備）支援事業【コロポックルさっぽろ】
別紙3 北海道ブロック 就労系障害福祉サービス事業所及び地域生活支援センター利用支援事業【NPO法人 Re~らぶ】
別紙4 北海道ブロック 在宅生活支援事業【北海道精神保健推進協会】

○道立保健所 事業取組状況

- 別紙5 令和5年度高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業「普及啓発相談支援事業」実績

北海道ブロック リハビリ支援コーディネート事業【北海道大学病院】

【令和 5 年度（4～3 月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	196	電話	428
来院／来所	98	来院／来所	126
メール／書簡	3	メール／書簡	20
その他	8	その他	1
計	300	計	574

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 研修名 令和 5 年度第 1 回高次脳機能障害支援者研修会（オンデマンド研修会）
開催日 2023 年 7 月 3 日～7 月 16 日配信 参加者（事前登録者）206 名
- ② 研修名 令和 5 年度第 2 回高次脳機能障害支援者研修会（オンデマンド研修会）
開催日 2023 年 12 月 4 日～12 月 10 日配信 参加者（事前登録者）130 名
- ③ 研修名 令和 5 年度第 3 回高次脳機能障害支援者研修会（オンデマンド研修会）
開催日 2024 年 3 月 18 日～3 月 24 日配信 参加者（事前登録者）107 名

イ 事例検討会等

- (ア) ネットワーク育成事業：会議名
なし
- (イ) 事例検討会等
なし

○普及啓発

- ①研修名 札幌藤女子高等学校
「高次脳機能障害とソーシャルワーカーについて」
開催日 2023 年 7 月 18 日 参加者 60 名 対面講義
- ②研修名 日本産業衛生学会の北海道地方会
「日本産業衛生学会の北海道地方会」
開催日 2023 年 9 月 23 日 参加者 100 名 対面講義

③ 研修名 吉田学園医療歯科専門学校
「高次脳機能障害とソーシャルワーカーについて」
開催日 2023年10月13日 参加者 30人 対面講義

④ 研修名 NPO 法人コロポックル
「高次脳機能障害に対するソーシャルワーク」
開催日 2023年10月27日 参加者 15人 対面講義

⑤ 研修名 吉田学園保育・福祉大学校
「高次脳機能障害と医療ソーシャルワーク」
開催日 2023年11月17日 参加者 20人 対面講義

⑥ 研修名 令和5年度障害福祉サービス等初任者研修
「高次脳機能障害の理解と支援」
開催日 2023年12月15日 参加者 50人 対面講義

⑦ 研修名 北海道利用ソーシャルワーカー協会東支部研修会
「高次脳機能障害の就労支援」
開催日 2024年2月3日 参加者 10人 対面講義

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

他団体（産業医学会）や札幌市外の医療・福祉領域に対する高次脳機能障害の普及啓発活動に力を入れた。

○今後の課題等

広域に対する支援について検討していく。

【令和6年度事業実施計画】

- ◆相談支援は引き続き継続
- ◆研修会を対面式かオンライン式かで検討
- ◆書籍の販売、宣伝活動

北海道ブロック 就労(準備)就学(準備)支援事業【NPO 法人コロポックルさっぽろ】

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	1528	電話	375
来院/来所	5167	来院/来所	116
メール/書簡	1299	メール/書簡	28
その他	548	その他	42
計	3542	計	561

○研修、会議等の開催状況

A) 研修

『高次脳機能障害講演会・事例検討会』

【日時】2023年10月14日(土)13:00～16:00

【場所】名寄市駅前交流プラザ「よろーな」

【第一部講演会】「高次脳機能障害者の支援」

講師：瀧澤 学氏

(神奈川県総合リハビリテーション事業団 高次脳機能障害支援室 主幹)

【第二部】事例検討会

【参加者】13名(教員の参加が4名)

*道立保健所から地域の支援機関へ情報提供してもらった

*北海道教育委員会から道内の小・中学校、特別支援学校に情報提供してもらった

B) 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業

支援者会議を主催

①令和6年1月12日 家庭児童相談室にて

参加者：2医療機関2名、保育園1名、小学校1名、中学校2名、2介護事業所2名

クラブハウスコロポックル1名、相談室コロポックル1名、家族会2名

支援者会議に参加

②令和5年8月25日(金) K医療機関にて

参加者：本人、家族、主治医、クラブハウスコロポックル1名

相談室コロポックル1名

③令和5年12月12日(火) 職業センターにて

参加者：本人、職業センター職員1名、ナカポツセンター職員1名
ナカポツジョブサポーター1名、クラブハウスコロポックル1名

④令和6年2月20日(火) Fグループホーム

参加者：本人、GH職員、H病院、訪問リハ職員1名、相談室コロポックル1名
クラブハウスコロポックル1名

(イ) 交流会 (場所：クラブハウス コロポックル)

(1) ジュニアの会&学齢期の親の会

①5月9日(土)13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども6名、家族会役員1名、スタッフ1名、オブザーバー参加1名
内容：アートプログラム 講師：安田律子氏

親の会

参加者：親10名、家族会役員1名、スタッフ1名、託児11名
内容：近況報告、進路など

②7月8日(土)13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども2名、家族会役員1名、スタッフ2名
内容：フルーツゼリー作り

親の会

参加者：親5名、家族会役員1名、スタッフ参加1名、託児2名
内容：学習会「高次脳機能障害の医・職・住」について
講師：尾崎聖氏（相談室コロポックル相談員）

③9月9日(土)13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども4名、家族会役員1名、スタッフ2名、オブザーバー参加1名
内容：サンピアザ水族館ツアー

親の会

参加者：親9名、家族会役員1名、スタッフ参加1名、託児6名
内容：高次脳機能障害ミニ学習会「易疲労について」

④11月18日(土) 13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども 4 名、家族会役員 1 名、スタッフ 2 名

内容：ヨガプログラム 講師：太田かよ氏

親の会

参加者：親 5 名、家族会役員 1 名、スタッフ 1 名、託児 1 名

内容：高次脳機能障害ミニ学習会「易怒性について」

キッズネットワーク「てんかん研修会」報告

⑤1月13日(土)13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども 2 名、家族会役員 1 名、スタッフ 1 名

内容：チョコレートバー作り&ゲームタイム

親の会

参加者：親 4 名、家族会役員 1 名、スタッフ 1 名、託児 1 名

内容：近況報告など

⑥3月9日(土)13:00～15:30 会場：クラブハウスコロポックル

ジュニアの会

参加者：子ども 5 名、家族会役員 1 名、スタッフ 2 名

内容：ピラティスのプログラム 講師：玉川侑那氏

親の会

参加者：親 6 名、家族会役員 2 名、スタッフ 1 名、託児 2 名

内容：近況報告など

○普及啓発

①名寄職親会主催

職場適応援助者養成講習(リモート)に講師、演習アシスタントとして参加。

令和 5 年 5 月 28 日 (日)、6 月 3 日 (土)、4 日 (日)

②公務部向け令和 5 年度障害者職業生活相談員認定講習会

「障害別にみた特徴と雇用上の配慮、労務管理(高次脳機能障害)」の講師として参加

令和 5 年 8 月 4 日 (金)、8 月 10 日 (木)

③札幌国際大学にて講義 令和 5 年 5 月 9 日 (火) 第二講目 (対面講義：11 人参加)

④北海道医療大学にて講義 令和 5 年 11 月 28 日 (火) 第二講目 (対面講義：5 人参加)

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

- ①てんかんのあるお子さんの生活や学習のサポートに悩んでいるご家族に声をかけ、ハイリハキッズがオンラインで11月19日に実施した「キッズネットワーク交流会：てんかんについて」に参加した。
 - ・てんかん認定看護師の山口規公美氏による学習会「じぶんのてんかんの症状、薬、副作用について考える」で学ぶとともに当事者が自分のてんかんについて話す場が設けられた。
 - ・家族が参加しての交流会で、具体的な体験を聞くことができ参考になった。高次脳機能障害の家族会で「てんかん」に的を絞った学習会を開いたことがなかったが全国の子どものネットワークに参加して、専門家の知見を学ぶことと、他の同じ悩みを持つ家族と交流する機会を持つことができた。
- ②全道各地で開催してきた「高次脳機能障害講演会・事例検討会」を4年ぶりに名寄市にて対面で実施した。取り上げた事例が小さなお子さんのいる方だったので、参加された教職員の方のご意見も伺う機会となった。
- ③1名の復職支援と定着支援・家族支援を実施した。子どもがおり、家族会と連携をしながら家族支援(ヤングケアラー)にも柔軟に対応した。易怒性が高く家庭内でのトラブルも多かったため、家庭児童相談室と連携をし、要保護児童対策地域協議会を開催し、学校教育機関を含め当事者の関係機関と幅広く連携強化に向けて調整を行った。
家庭内のトラブルは波がありながらも、現在も復職継続中。
- ④事業所から就労した当事者に対してOB会を実施(2回)

○今後の課題等

- ①子どもの高次脳機能障害の支援パンフレットを作成し、子どもが受診する病院へ配布する。(昨年度栃木県、埼玉県などが作成したものを参照にしたい)
- ②若年の家族介護者(ヤングケアラー)に対するサポートや連携の強化をしたい。
- ③OB会の実施

【令和6年度事業実施計画】

基本的には本年度同様の事業を予定している。

上記の課題、力を入れたことを継続して取り組む。

- ① 地域の支援ネットワークの構築を図る。
講演会・事例検討会を、北海道保健所と連携して道内1か所で開催する。
- ② 道内の家族会・支援機関と連携のための研修を実施する。
- ③ 医療機関・包括支援センターとの連携
地域の医療機関、包括支援センターと連携し、高次脳機能障害者の退院後の生活、福祉事業所の利用など勉強会や家族相談会を実施したい。

②企業実習先の開拓

施設外での実習は、就労を目指す当事者に、就労イメージを持ち、障害特性の気づきにつながる機会となる。より多く実習の経験が得られるよう、近隣で1週間程度実習できる企業を開拓する。

③余暇支援のため、継続して月1回程度土曜日に開所し、当事者主体のサークル活動（アートクラブ、フラワーアレンジメント、プラモデル、ラジコン、男の料理教室など）を行う。

④当事者交流会

対面での当事者交流会を実施したい。

また現在就労中の当事者向けの交流会(OB会)を継続して実施したい。

北海道ブロック 授産事業所及び地域活動支援センター等利用支援事業【NPO 法人 Re~らぶ】

【令和 5 年度（4～3 月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	27 件	電話	22 件
来院／来所	11 件	来院／来所	26 件
メール／書簡	36 件	メール／書簡	165 件
その他	16 件	その他	3 件
計	90 件	計	216 件

○研修、会議等の開催状況

令和 5 年度について、研修会等の開催は行っていないが、他団体主催の研修・学習会に参加している。

毎月、事業所利用者に係るケース会議を開催し、支援計画に基づいた検討事項を話しあった。

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

①利用者の工賃向上に向け、授産事業活動を精力的にこなし、多い時には 1 日 6～7 種類の作業をそれぞれ実施。自主製品の販路拡大に加え、繁忙期には土曜日の作業活動を設定し、企業からの受注に対し高次脳機能障害者へ納期厳守の意識づけを行う等の対応によって、昨年度より 1 人あたり平均 5,000 円強の工賃額が上昇した。

②障がい福祉サービスと介護保険サービスを併給する利用者が増えたため、利用者・家族の意向を尊重しながら、関係機関同士で電話・メール等の連絡を密にし、高次脳機能障害の特性を理解した対応が出来るように調整を図った。

○今後の課題等

①利用者の高齢化が進み、現在は利用していない方も、今後介護保険に切り替わる、または併用する方が増えてくるため、介護保険事業所等関係機関と更なる連携の強化が課題と思われる。

【令和 6 年度事業実施計画】

・基本的な実施計画については、大きな変化はない。

北海道ブロック 在宅生活支援事業【北海道精神保健推進協会】

【令和 5 年度（4 月～3 月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	13	電話	12
来院／来所	20	来院／来所	
メール／書簡	34	メール／書簡	
その他 (訪問・同行など)	35	その他	
施設見学	1	施設見学	1
計	103	計	13

- ・精神科デイケア登録者 11 名（内：新規通所者 1 名、再通所者 1 名）
- ・多機能型事業所通所者 B 型 1 名
- ・外来診察延べ 33 件

○研修、会議等の開催状況

- ・北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会（事務局として運営）
日時：11 月 19 日（日） 13:00～16:00 北海道大学学術交流会館 講堂
開催テーマ「障害を持った私と就労～十人十色のストーリー～」
第 1 部【体験談・支援報告】
 - ・クロスジョブ札幌 当事者 T 氏 クロスジョブ札幌 角井氏 北大病院 玉川氏
 - ・こころのリカバリー総合支援センター
当事者 M 氏 こころのリカバリー総合支援センター阿部氏 野上氏
- 概要：当事者から受傷後のストーリーを語っていただき、支援してきた関係機関より解説や補足を行った。

第 2 部 Q&A コーナー

概要：申込時に受け付けた質問（5 問）を事前に実行委員に振り分け、スライドを準備した上で当日に

回答した。当日会場から回収した質問にもピックアップして答えた。内容としては、症状についてや支援体制や就労についての制度のことが寄せられた。

- ・その他
所内ケース検討、会議等 16 件
他事業所とのケース会議等 8 件

○普及啓発

北大リハビリテーション部が作成した書籍「今日はおくもり。明日は晴れ」の販売代行

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

- ①他医療機関、B型事業所、相談室など他機関を併用利用中の方の支援について、情報収集や必要に応じてケース会議等を行い、連携を図った。
- ②外来利用者について、医師による診察とコーディネーターによる個別相談や生活支援を分担しながら行った。
- ③職場の上司へ本人の障害特性を伝えたり可能な業務の相談を受け、職場環境の調整を行った。

○今後の課題等

- ①送迎サービスがないため、公共交通機関を使えない人への支援。
- ②退院後に他の支援機関や制度を利用できていない方からの相談を適切な支援につなぐこと。
- ③利用者の高齢化によりデイケア適応ではなくなった時にどのようなサービスにつなげられるかの検討。

【令和6年度事業実施計画】

支援拠点機関、関係機関等と連携し、地域における高次脳機能障がい者へのリハビリテーション及び地域生活支援を引き続き提供するとともに、ニーズを把握し生活環境を整えるため、関係機関との連携を図り、在宅生活支援を実施することにより、在宅生活支援ネットワークの構築を図ります。

令和5年度高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業「普及啓発相談支援事業」実績

【北海道ブロック】

別紙5

保健所別	普及啓発		関係職員研修		連携会議		事例検討		相談		新規	専門相談		集団指導				訪問指導		その他
	実施月	参加人数	実施月	参加人数	実施月	参加人数	実施月	参加人数	実人数	延人数		件数	実施回数	相談件数	当事者の集い		家族の会		実人数	
											実施回数				延参加者数	実施回数	延参加者数			
岩見沢							6月	11	9	136	1			5	18	5	27	4	22	
滝川									6	14	2					2	10	2	5	令和5年度(2023年度)の家族交流会のニーズ調査。リーフレット配布。
深川									1	8	1									高次脳機能障害に関するリーフレットを26部設置し、22部配布。
江別									3	3	2									
千歳									4	8	4									
倶知安									1	3										ホームページ掲載及びリーフレット配布。
岩内							1月	4	1	7								1	2	
室蘭									6	12	5			2	4	2	8	1	1	
苫小牧									6	52								4	10	管内での支援状況について実態を把握するため、医療機関、保健福祉関係機関、就労関係機関へ支援数や事例、課題等について聞き取り調査。
浦河									0	1										
静内									2	2	2									ホームページ掲載。
渡島									1	2	1	4	3					1	1	関係事業者相談会の後援、関係事業者講習会の後援及び従事。
八雲										0		2	4			1	2	1	2	
江差			11月	25					3	6						1	9	6	13	
上川	11月	229			4月	18	11月	229	2	4	1									医療機関、上川保健所管内の相談支援事業所等に対する支援状況調査。その結果を一覧として配布。 普及啓発事業講演会后、Youtubeにて配信(11~12月)。 関係事業者の研修会への参加、講義業務。
名寄							10月	16	1	1	1									
富良野									1	4										上川講習会への参加。
留萌	7月	7							2	4				1	7	1	7			
稚内							2月	20	3	3	2							1	2	
網走									1	1	1									パネル展開催。リーフレット及びチラシ入りポケットティッシュの配布。
北見							7月	6	3	6								3	8	家族会とのコロナ禍後の連携について、状況把握。
紋別										0										ホームページ及びリーフレット配布。
帯広									1	2								2	6	「帯広リハビリテーション講習会」の後援。
釧路	9月	40							2	3	2									釧根脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会への出席(5回)。
根室									1	1	1									
中標津					3月	12			1	5								1	2	
概要	26保健所のうち5保健所で、一般住民や支援関係者に対し、啓発普及の講演や研修を実施				連携会議は2保健所で実施。事例検討会は6保健所で実施。				相談は随時受け付け。専門相談は2回実施したが相談はなかった。				当事者と家族の会を実施している保健所が3カ所。家族の会のみ実施している保健所が4カ所。				訪問指導は12保健所で実27延74名に実施。			

(別紙)

高次脳機能障害者支援事業【青森県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	36件（60）	電話	94件（49）
来院・来所	527件（524）	来院・来所	3件（0）
メール・書簡	2件（2）	メール・書簡	0件（1）
その他	2件（2）	その他	0件（0）
合計	567件（588）	合計	97件（50）

○ 事業の実施状況等

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

<主催会議等>

- ・青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及検討委員会 R5.7.28
- ・拠点機関院内スタッフ会議（毎月第1水曜日・ケース検討含む 12回）
- ・支援拠点機関実務者会議 R6.3.26（リモート会議）

<普及・啓発>

- ・近隣包括支援センター地域ケア会議（年4回）
- ・他圏域医療機関への訪問（4施設）
- ・家族会活動支援 R5.9.19 R5.12.2（年2回）

<研修>

- ・高次脳機能障害者リハビリテーション講習会 R5.9.2（現地開催及び後日Web配信）

【メディカルコート八戸西病院】

- ・当事者・家族の集い（おしゃべり会）を年4回開催
- ・高次脳機能障害の当院外来リハ、訪問リハ患者の就労支援のため、就労支援事業所への見学、ハローワークとの面談に同席、関係機関への情報提供等行った。
- ・高次脳機能障害関連の研修会、勉強会への参加
- ・当院での高次脳機能障害支援実績報告をHPに掲載

○ 令和5年度特に力を入れたこと

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・他圏域の回復期病棟を有する医療機関に訪問し、高次脳機能障害についての普及・啓発活動に取り組んだ。その結果、訪問した圏域からの相談が増加した。
- ・自動車運転評価の体制を整備したことにより相談が増加した。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・当事者や家族が気軽に話し合えるよう、おしゃべり会として開催日を年2から年4回に増やして実施。

○ 今後の課題

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・家族会活動への支援体制を整備する。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・当院の高次脳機能障害に関する啓発活動が、まだ十分ではなく、地域での高次脳機能障害に関する知識や理解がすすんでおらず、支援体制の構築に時間がかかることが多い。そのため関係機関のネットワーク構築や家族会、講演会を通じて、地域に向けて啓発活動を積極的に行う

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・高次脳機能障害に関する勉強会を地域の医療機関や施設向けに開催する。
- ・他圏域への訪問活動を続け、高次脳機能障害についての普及・啓発に取り組む。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・当事者・家族のおしゃべり会（年4回）
- ・R6.9.7（土） 青森市アウガ
高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ・就労支援機関・各関係機関への訪問
（目的・普及啓発活動、地域ネットワークの構築）
- ・青森県高次脳機能障害支援拠点機関実務者会議

(別紙)

高次脳機能障害者支援事業【秋田県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	81件（42）	電話	103件（116）
来院・来所	4件（3）	来院・来所	0件（0）
メール・書簡	2件（0）	メール・書簡	56件（86）
その他	0件（0）	その他	0件（0）
合計	87件（45）	合計	159件（202）

○ 事業の実施状況等

（1）県実施

- ・高次脳機能障害支援普及事業支援担当者研修会 Webex で開催
- ・高次脳機能障害者支援普及事業相談支援ネットワーク委員会 1回開催

（2）支援拠点機関（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）実施

- ・あきた認知症・高次脳機能障害ネットワーク勉強会 1回開催
- ・ケース会議（入院患者に対するカンファレンスを適宜開催）
- ・普及啓発活動（高次脳機能障害啓発用パンフレット・リーフレットの配布）

（3）その他

- ・障害者職業センターの職員研修会

○ 令和5年度特に力を入れたこと

支援担当者研修会にて、実際に高次脳機能障害のある方を支援している相談支援事業所の職員に事例発表を依頼し、受講後アンケートの結果も好評であった。

○ 今後の課題

令和6年度から都道府県が実施主体となる「高次脳機能障害支援養成研修」について、研修の実施体制が整えられていない。県内の支援者からのニーズは高いと考えられるため、早期に研修実施体制を整える必要がある。

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

（1）相談支援事業

- ・ 支援対象者の相談（電話・来院等）に対する支援
- ・ 支援対象者への就労、福祉サービス利用、地域生活に関する支援

（2）普及・啓発事業

- ・ ウェブサイト、パンフレット等による情報発信、PR 活動
- ・ 関係機関等による各種講演会、勉強会での情報発信、PR 活動

（3）研修事業

- ・ 関係機関の支援担当職員を対象とした研修会の開催
- ・ 開催場所等：Webex での開催
- ・ 内容：高次脳機能障害に関する事例検討等

（4）相談支援ネットワーク委員会

- ・ 支援対象者に対する効果的な支援方法等に関する検討

（5）その他

- ・ 全国協議会等各種会議への参加

高次脳機能障害者支援事業【岩手県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	338 件 (232)	電話	331 件 (248)
来院・来所	395 件 (494)	来院・来所	48 件 (12)
メール・書簡	95 件 (45)	メール・書簡	58 件 (47)
その他	25 件 (33)	その他	1 件 (1)
合計	853 件 (804)	合計	438 件 (308)

○ 事業の実施状況等

- ・ 連絡会・会議 3回 63名（連絡協議会2回、圏域相談支援コーディネーター会議）
- ・ 研修会及び講習会 6回 201名（医師及びコメディカル対象、圏域コーディネーター対象、地域の支援者対象各1回、地域支援拠点機関と協働の講習会）
- ・ 高次脳機能障がい者支援担当者会議・カンファレンス 22回
- ・ 当事者、家族を対象として研修会、オンラインサロン 11回 80名
- ・ 当事者、家族、支援者交流会（じゃじゃじゃ交流会2023） 1回 73名

○ 令和5年度特に力を入れたこと

- ・ 当事者のためのオンラインサロンを毎月実施したこと。
- ・ COVID-19感染対策を行いながら、対面形式で「交流会」を実施したこと。

○ 今後の課題

- ・ 高次脳機能障害支援養成研修の開催運営について
- ・ まずは国リハで開催する指導者研修に参加して今後の対応を検討する予定。

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

(1) 高次脳機能障がい者支援普及事業

- ・ 相談支援事業の実施
- ・ 連絡協議会の設置・運営
- ・ 当事者、家族、支援者との交流会、当事者のためのオンラインサロンの実施。
- ・ 普及啓発活動及び研修の実施
- ・ 各種全国会議等への参加

(2) 高次脳機能障がい者地域支援体制整備事業

- ・ 地域支援拠点機関と協働し相談支援体制の整備を図る。
- ・ 地域支援拠点機関の支援者等育成研修の実施。

(別紙)

高次脳機能障害者支援事業【山形県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	180件(334)	電話	112件(118)
来院・来所	124件(174)	来院・来所	15件(9)
メール・書簡	79件(61)	メール・書簡	10件(0)
その他	2件(1)	その他	3件(2)
合計	385件(570)	合計	140件(129)

○ 事業の実施状況等

(1) 研修会開催

①令和5年度 第1回山形県高次脳機能障がい研修会

日時：会場 令和5年7月28日、YouTube 配信 令和5年8月7日～31日

対象：医療福祉関係者

参加者：会場13名、オンライン112名、YouTube 配信再生回数288回

②令和5年度 山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター研修会

日時：令和5年8月8日、11月29日、令和6年1月22日、2月10日

対象：8/8 医学生、11/29 看護学生、1/22 当事者・利用者・スタッフ

2/10 運転評価に携わる関係機関向け

参加者：8/8 4名、11/29 22名、1/22 30名、2/10 33名

③第17回山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会

日時：令和5年12月2日

対象：当事者、家族、医療福祉関係者等

参加者：会場47名、YouTube 配信38名

④令和5年度 第2回山形県高次脳機能障がい研修会

日時：会場 令和6年2月22日、YouTube 配信 令和6年3月4日～29日

対象者：医療福祉関係者等

参加者：会場9名、オンライン54名、再生回数281回

(2) 社会復帰・トレーニング事業

- ・通所教室「暁才」の運営 延利用者988人

(3) 巡回相談

- ・高次脳機能障がい者支援センター未設置圏域向けの現地での相談会を、各地域の関係機関と連携しオンライン（ZOOM）により開催。

日時：令和6年3月26日 対象：2地域（最上地域、置賜地域） 参加者：0名

(4) その他

①ケース会議等開催・参加：19回

②就労支援セミナー：2回（参加者8人）

③家族支援：講習会や当事者講演会終了後に会場参加者のみで家族会を開催し、講師への質問や当事者家族の交流の場を設けた。（令和5年12月2日、令和6年2月4日）

④外部研修会講師

- ・2023年度宮城県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会（令和5年10月7日）

⑤文献：「高次脳機能障害者支援センターからの支援～通所教室で医療と地域をつなぐ～」
クリニカルリハビリテーション 2023.11に掲載

○ 令和5年度特に力を入れたこと

- ・感染症対策を講じながらの通所教室の運営や研修会等の開催
- ・医療福祉関係者や看護学生を対象にした研修会の開催
- ・就労定着のための継続した支援

○ 今後の課題

- ・高次脳機能障がい者支援センター未設置圏域においても必要な方に支援が届くよう、普及啓発活動をより積極的に行っていく必要がある。
- ・社会復帰や就労定着支援の一層の充実のため、精神科医療機関、福祉サービス事業所や企業等と更に連携を強化していく必要がある。
- ・これまでの新型コロナウイルス感染症の影響等による本人・家族の心理的不安の軽減のため、交流会のニーズがあると考えている。

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

① 窓口相談

② 巡回相談

③ 専門チームによる個別支援（ケース会議・ケースカンファレンス）

④ 社会復帰トレーニング事業（通所教室「暁才」）

⑤ 普及・啓発：講演会、研修会、パンフレット作成、関係機関への訪問等

⑥ その他：家族会事業との連携、関係機関主催会議・研修会への出席

（全て継続事業）

(別紙)

高次脳機能障害者支援事業【宮城県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	341件（375）	電話	189件（221）
来院・来所	70件（68）	来院・来所	5件（6）
メール・書簡	2件（2）	メール・書簡	8件（14）
その他	27件（43）	その他	7件（7）
合計	440件（448）	合計	209件（248）

支援拠点病院：東北医科薬科大学病院
 地域支援拠点病院：齋藤病院（石巻圏域）、気仙沼市立病院（気仙沼圏域）
 支援拠点施設：宮城県リハビリテーション支援センター、仙台市障害者総合支援センター
 県保健福祉事務所：9か所

○ 事業の実施状況等

【支援拠点病院・地域支援拠点病院】

- ・相談業務（電話相談等）の実施
- ・高次脳機能障害外来
- ・障害者手帳や年金の更新のための外来評価の実施
- ・外来や短期入院対応に係る関係者打合せ
- ・圏域内連絡会議への出席 ・家族交流会の開催

【支援拠点施設】

- ・相談業務（電話相談等・巡回相談・家族学習会、関係施設相談支援）の実施
- ・研修事業（広域研修・基礎研修・ステップアップ研修）の実施
- ・交流会の実施（家族交流会、働いている当事者交流会）
- ・講師派遣
- ・ネットワーク会議（拠点機関、行政機関が参加）の開催
- ・医療機関調査の実施。
- ・児童支援（研修会、家族交流会等）

【県保健福祉事務所】

- ・相談業務（電話相談等）
- ・研修事業（家族交流会：12回、圏域研修会等）の実施
- ・地域支援拠点病院との連携
- ・支援関係機関ヒアリングの実施（支援状況や課題について聞き取り）
- ・支援リーフレットの作成、ホームページへの掲載。
- ・当事者会への支援（活動状況の確認、ポスター掲示等）

○ 令和5年度特に力を入れたこと

【支援拠点病院・地域支援拠点病院】

- ・月1回、国立障害者リハビリテーションセンター顧問に外来を担当いただき、受診した症例について、「仙台・高次脳機能 障害支援セミナー」と称し、レクチャーとカフェレンスを6回開催した。

【支援拠点施設】

- ・高次脳機能障害の診療が可能な医療機関を明らかにするため、医療機関調査し、調査結果を県のHPで公表し県民に周知した。
- ・障害福祉サービス事業所のうち、中等度以上の高次脳機能障害者の日中活動の場と想定される仙台市内の生活介護事業所・共生型生活介護事業所・就労継続支援B型事業所を対象に高次脳機能障害者のサービス利用の実態とその課題について調査を行った。

【県保健福祉事務所】

- ・家族交流会の開催にあたり、市町村広報誌及び「県政ラジオ広報」による周知を実施した。また、以前出席した家族に対して、通知のみならず電話にて周知し、その際に本人や家族の状況を確認し、必要に応じて助言等を行い、ケースを整理した。
- ・複数の保健福祉事務所が連携し圏域研修会を実施した。地域の支援者に対し高次脳機能障害の理解促進を図った。
- ・基礎的な支援者研修会を開催し、高次脳機能障害に関する理解や支援方法の普及・啓発を行った。
- ・圏域の状況や課題、支援ニーズ等を把握するため、関係支援機関へヒアリングを行った。
- ・市町村が開催する地域自立支援協議会研修会において高次脳機能障害をテーマとした研修会の開催運営協力を行った。

○ 今後の課題

【支援拠点病院・地域支援拠点病院】

- ・高次脳機能障害者の就労支援・就学支援と就労後の定着支援について医療機関として何ができるのか、個別症例を介して関係機関と連携していくこと。また、当事者だけではなく、家族や就労・就学先の担当者との連携の進め方を検討していく必要がある。
- ・相談件数が年々減少し、家族交流会の参加者が少ないため、管内保健所と連携し周知する必要がある。

【支援拠点施設】

- ・地域支援拠点病院の指定を含めた医療資源の地域偏在を解消する必要がある。
- ・児童期支援を充実させるために、発達相談支援センターと協力し、令和5年度から児童期発症の家族の交流会を開催した。児童期発症という共通点で分かち合えることが多いと感じた一方、児童期という括りの中でも、年齢、症状、困りごと、参加動機などは多様であるということも把握できた。参加者のニーズに応えられる会にしていくには、参加人数の確保（周知）とファシリテーションの工夫が必要と感じている。
- ・日中活動支援に関する調査の中で、就労継続支援B型事業所は支援経験のある事業所が一定数あったが、生活介護事業所は少数であるとの結果が得られた。現在、高次脳機能障害者の利用がない事業所において受け入れを可能とするには「高次脳機能障害に対する理解、支援方法の習得」「行政や専門家によるバックアップ」が必要と感じている。

【県保健福祉事務所】

- ・相談件数が少なく、圏域の状況を把握することが困難な状況である。

- ・当事者が適切な支援を受けるために、活用できる制度やサービスについて広く周知し、高次脳機能障害に関する理解や支援技術の向上に向けて取り組む必要がある。
- ・各圏域に地域支援拠点病院がないため、近隣圏域にある地域拠点病院との情報共有や連携が必要である。
- ・当事者について、障害特性などにより病気の理解が進まず、周囲からのサポートに拒否的であり、支援に繋がらない場合がある。
- ・家族が交流できる場が少ない。高齢化の課題もあり交流会にアクセスしにくい。そのため、各圏域で継続的に開催していく必要がある。

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

【支援拠点病院・地域支援拠点病院】

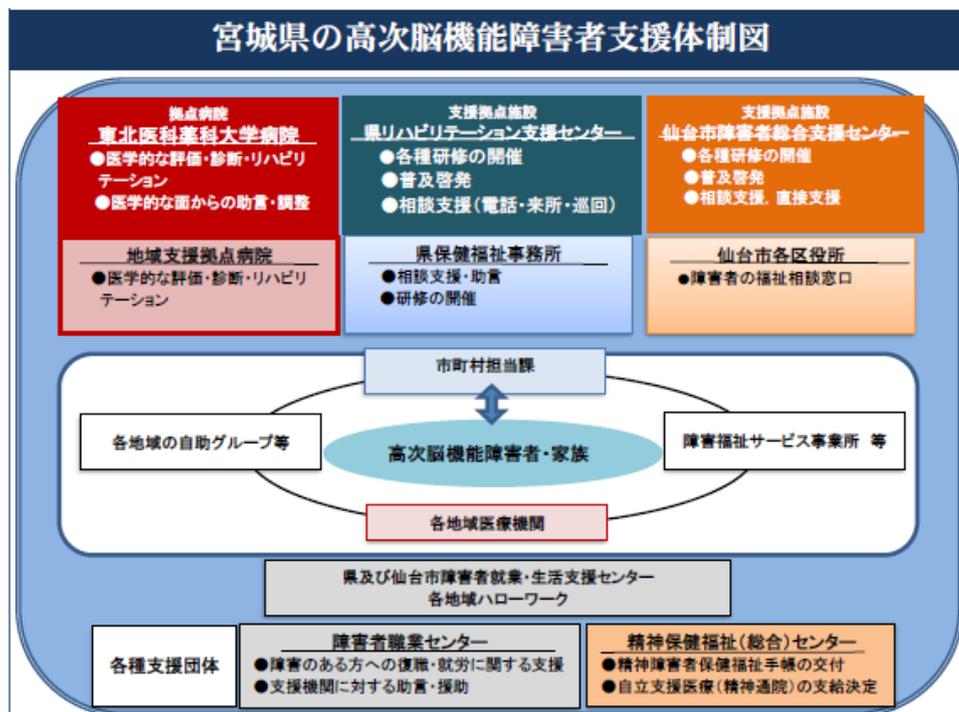
- ・医学的な評価及びリハビリテーションの実施
- ・医療機関や福祉機関等との連携
- ・専門研修の開催
- ・高次脳機能障害の正しい理解を普及させるための啓発活動
- ・相談支援や、地域の関係機関との連携、連絡調整

【支援拠点施設】

- ・相談事業（家族相談支援・電話相談・巡回相談・関係施設相談）
- ・研修事業（基礎研修、圏域研修、広域研修）
- ・ネットワーク会議の開催
- ・児童支援に関する検討

【県保健福祉事務所】

- ・研修事業（家族講習会、圏域研修、支援者研修等）
- ・相談業務
- ・支援関係機関ヒアリングの実施
- ・社会資源の情報収集とコーディネート
- ・県内の医療情報の把握と県民への情報提供
- ・ホームページやリーフレットを活用した普及啓発



(別紙)

高次脳機能障害者支援事業【福島県】

【令和5年度 実施状況】※（ ）内は令和4年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	252件(211)	電話	204件(386)
来院・来所	152件(142)	来院・来所	18件(37)
メール・書簡	1件(0)	メール・書簡	1件(1)
その他	11件(8)	その他	6件(8)
合計	416件(361)	合計	229件(432)

○ 事業の実施状況等

【 会議 】

ー全体ー

- ・第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 (Web) : 6/28 開催
- ・第1回高次脳機能障害支援普コーディネーター全国会議 (Web) : 6/28 開催
- ・第1回高次脳機能障がい支援会議 (総合南東北病院) : 8/23 開催
- ・第1回圏域相談支援拠点のコーディネーター会議 (総合南東北病院) : 8/23 開催
- ・第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 (Web) : 2/16 開催
- ・第2回高次脳機能障害支援普コーディネーター全国会議 (Web) : 2/16 開催
- ・第2回高次脳機能障がい支援会議 (総合南東北病院) : 2/6 開催
- ・第2回高次脳機能障がい支援拠点コーディネーター会議 (総合南東北病院) : 2/6 開催
- ・令和5年度 高次脳機能障がい者支援事業担当者東北ブロック会議 (書面開催)

ー圏域ー

- ・圏域別連絡会議 (県支援拠点・県中圏域) : 9/20 開催
- ・圏域別連絡会議 (県北圏域) : 12/6 開催
- ・圏域別連絡会議 (県南圏域) : 11/29 開催
- ・圏域別連絡会議 (会津・南会津圏域) : 7/5 開催
- ・圏域別連絡会議 (相双圏域) : 11/8 開催
- ・圏域別連絡会議 (いわき圏域) : 12/20 開催

【 研修 】

ー全体ー

- ・福島県高次脳機能障がい支援研修会 (ハイブリッド) : 3/23 開催
- ・高次脳機能障害支援指導者養成研修会 (実践研修) 3名参加 (Web) : 7/26~7/28 開催

ー圏域ー

- ・高次脳機能障がい者に関する圏域別基礎研修会 (会津・南会津圏域) : 7/5 開催

- ・ 高次脳機能障がい者に関する圏域別基礎研修会（県南圏域）：11/29 開催
- ・ 高次脳機能障がい者に関する圏域別基礎研修会（いわき圏域）：12/20 開催

【サロン、講師派遣、普及啓発等】

－患者・家族サロン－

各圏域にて開催：計 31 回開催 延べ 281 名参加

－講師派遣－

- ・ 福島県高次脳機能障がいリハビリテーション講習会運営協力（県支援拠点・県中圏域）
- ・ 作業療法士会県北支部研修会講師：7/13
- ・ 就労移行連絡会議参加（県北圏域）：10/16
- ・ 就労支援事業所訪問（県北圏域）：10/19、11/28、1/23

－普及・啓発－

- ・ 県広報誌にて、高次脳機能障がいに関する広報記事を掲載（6月号）
- ・ 県の30秒スポットCMにて、高次脳機能障がい相談窓口について放映（1月、2月）
- ・ 社会資源マップ（改訂版）の医療機関、行政、関係機関等への配布

○ 令和5年度特に力を入れたこと

- ・ COVID-19 感染拡大防止のため中止・縮小開催していた患者・家族サロンを、全圏域にて通常運営により再開
- ・ COVID-19 感染拡大防止のため3年間中止となっていた圏域別研修会及び連絡会議を集合形式にて再開

○ 今後の課題

- ・ 高次脳機能障害支援者養成研修実施に向けた委託先や運営方法等についての整理、検討
- ・ 周知活動や連携強化に向けた体制づくりの強化の必要性
- ・ 回復期リハビリ病棟への働きかけ
- ・ いわき圏域における支援体制の構築

【令和6年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

- ・ 支援対象者からの相談受付窓口の設置、及び支援コーディネーターによる相談支援
- ・ サロンの開催
- ・ 高次脳機能障がいについて関係機関等に対する県内全体の研修会の開催
- ・ 支援マップの配布等による広報活動
- ・ 全国会議等各種会議への参加、研修会・講習会への参加
- ・ 10/4、5 開催の日本高次脳機能障害友の会第20回全国大会 2024in 福島の開催協力【新規】※詳細は開催要項（案）のとおり

【開催要項（案）】

日本高次脳機能障害友の会第20回全国大会2024 in 福島

1. 大会趣旨

全国の高次脳機能障害友の会及び関連団体の当事者・家族・支援者が交流して、親睦を深めるとともに、高次脳機能障害の支援の現状、課題を把握し、諸問題をどのように克服し、社会参加していくべきかを共に考える。

2. 大会テーマ

集える場所、居場所が勇気をくれる
～福島から届けよう私たちの未来～

3. 開催日

令和6年10月4日（金）～5日（土）

4. 会場

ホテルハマツ （福島県郡山市虎丸町3番18号） ☎024-935-1111（代）

5. 実施機関

主催 NPO 法人日本高次脳機能障害友の会

事業主体 日本高次脳機能障害友の会第20回全国大会2024 in 福島 実行委員会
NPO 法人高次脳機能障がい友の会うつくしま
福島県高次脳機能障がい支援室

後援(予定) 内閣府、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、国立障害者リハビリテーションセンター、日本障害者リハビリテーション協会、自動車事故対策機構、日本障害者協議会、福島県、福島県社会福祉協議会、福島県教育委員会、郡山市、福島県医師会、福島県病院協会、福島県看護協会、福島県薬剤師会、福島県臨床心理士会、福島県作業療法士会、福島県言語聴覚士会、福島県理学療法士会、福島県医療ソーシャルワーカー協会、福島県社会福祉士会、福島県介護福祉士会、福島県精神保健福祉士会、福島県介護支援専門員協会、福島県相談支援専門員協会、福島県公認心理師会、福島民報社、福島民友新聞社

6. 参加予定者数

参加者・役員・ボランティア等を含めて2日間の合計 800名（内訳：1日の参加者400名、役員・ボランティア等50名 交流会350名 コーディネーター研修等100名）

【開催要項（案）】

7. 開催内容

期日	時間	プログラム	会場
10/4 (金)	13:00～16:30	日本高次脳機能障害友の会運営委員会	ホテルハマツ 2階「開成」
	13:00～16:00	高次脳機能障害支援コーディネーター研修会	ホテルハマツ 2階「チェルシー」
	18:00～20:00	日本高次脳機能障害友の会 第20回全国大会交流会	ホテルハマツ 3階「平安」

10/5 (土)	9:00～9:45	開会式 主催者挨拶 来賓祝辞 当事者活動奨励者授与式	ホテルハマツ 3階「平安」
	9:50～10:50	ガイダンス講演 厚生労働省、国土交通省、文部科学省	
	10:50～11:30	基調講演1 「高次脳機能障害者支援法成立で何が変わる」 渡邊 修 氏 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 教授)	
	11:30～12:30	休憩	
	12:30～13:30	基調講演2 「高次脳機能障害者の行動の理解に向けて」 鈴木 匡子 氏 (東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 教授)	
	13:30～14:20	基調講演3 「他人事じゃない！てんかんの真実」 土屋 真理夫 氏 (医療法人健脳会 さとう脳神経クリニック 院長)	
	14:20～14:30	休憩	
	14:30～15:50	シンポジウム テーマ「サロンからともに始まった第一歩」 ・当事者と家族 ・医療機関 ・支援コーディネーター	
	16:00～16:15	閉会式	

【開催要項（案）】

8. 参加申込方法

参加申込みは別紙参加申込書により、令和6年8月16日(金)までに申し込むこととする。

9. 健康・安全管理

主催者は行事保険に加入する。ただし、参加者の健康・安全管理については、各自又は所属団体において十分配慮するものとする。

10. 個人情報の取り扱い等について

当日、報道機関が来場される場合があり、参加者の写真、映像等が、テレビ新聞等で報道されることがある。また、大会報告書等には、参加中の写真を掲載するので、このことを了承のうえ申し込むものとする。

11. その他

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関して必要な事項は、別に定める。

12. 事務局

日本高次脳機能障害友の会第20回全国大会 2024in 福島 実行委員会事務局
NPO 高次脳機能障がい友の会 うつくしま TEL 024-983-7836
福島県高次脳機能障がい支援室 TEL 024-934-5680

関東甲信越ブロック【茨城県】

- ・支援拠点機関 茨城県高次脳機能障害支援センター
- ・高次脳機能障害地域支援拠点病院（3か所）
 県北地区：志村大宮病院／県央地区：立川記念病院／県南地区：筑波記念病院

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援 延べ件数総計 1315件 実件数 314件

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	514	電話	461
来院／来所	73	来院／来所	23
メール／書簡	20	メール／書簡	53
その他	147	その他	24
計	754	計	561

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

茨城県高次脳機能障害支援センター

- ① 高次脳機能障害者支援基礎講座 R5.11.1～12.28（動画配信）／R5.12.1（質疑応答）345名参加
- ② 高次脳機能障害支援従事者研修会
 第1回「小児期における高次脳機能障害の支援について」R5.8.18 90機関119名参加（Web開催）
 第2回「高次脳機能障害者の自動車運転支援について」R6.2.29 92機関149名参加（Web開催）
- ③ 他機関開催研修への講師派遣 14回 485名

志村大宮病院 医療従事者研修会 R5.11.17 45名参加（集合開催）

テーマ：「当事者家族から学ぶ高次脳機能障害者への支援―入院中のかかわりと退院支援―」

立川記念病院 研修会 R6.2.21 25機関67名参加（Web開催）

テーマ：「生活期における高次脳機能障害者との関わり方・支援方法」

筑波記念病院 研修会（地域連携公開講座） R6.3.28 42名参加（ハイブリッド開催）

テーマ：「高次脳機能障害を見逃さないために」

イ 事例検討会等

茨城県高次脳機能障害支援センター

- ① 高次脳機能障害支援ネットワーク協議会
 第1回 開催日 R5.9.25 委員9名、オブザーバー6名（集合開催）
 第2回 開催日 R6.2.26 委員12名、オブザーバー4名（Web開催）
- ② 高次脳機能障害支援機関・施設連絡会
 （鹿行地区・県西地区）R6.3.6 14機関19名（Web開催）
- ③ 茨城県高次脳機能障害地域支援拠点病院情報交換会
 第1回 R5.6.8 第2回 R6.3.13 各地域支援拠点病院担当者3名（集合開催）
- ④ 茨城県高次脳機能障害協力病院事業担当者会議 R5.12.4 26病院38名参加（Web開催）
- ⑤ 高次脳機能障害友の会いばらきとの連携 交流室・地区集会・当事者の集いに延べ34回出席。

- ⑥ 自動車再運転支援連絡・研究会（事例検討含む。全て Web 開催）
 - 第 1 回：R5.6.29 19 機関 60 名参加
 - 第 2 回：R5.11.16 12 機関 17 名参加
 - 第 3 回：R6.2.29 9 機関 13 名参加
- ⑦ 個別ケース事例検討会 40 回（ケア会議等に参加、協力したものを含む。）
- ⑧ 茨城県高次脳機能障害支援マップの作成、公開 113 施設掲載中。

志村大宮病院 事例勉強会・連絡会 R6.3.1 12 機関 48 名参加（Web 開催）

テーマ：「回復期における復職支援～病識低下、記憶障害を呈した事例について～」

立川記念病院 連絡会・事例検討会 R5.12.20 18 機関 47 名参加（Web 開催）

テーマ：「自立訓練（機能訓練）における多様な高次脳機能障害に対する支援」

筑波記念病院 支援機関連絡会 R6.2.20 8 機関 8 名参加（web 開催）

○普及啓発（※新たな試みは太字）

① 一般向けイベントの開催

- ・茨城県庁舎広報コーナー及び茨城県立図書館にブース設置

県庁舎：R5.10.20～30

図書館：R5.12.20～R6.1.31

- ・県立図書館知の探究セミナー「知っておきたい身近な障害 高次脳機能障害」 R6.1.27 111 名参加

② 関係機関への広報、情報交換 延べ 377 件（機関数）

③ 市町村、社会福祉協議会への広報誌・ホームページ掲載依頼

広報誌：令和 5 年度は 11 市町村、2 社協で掲載。

ホームページ：29 市町村、25 社協、12 医療機関、他 4 機関とリンク設定。

④ 各種媒体の活用

- ・新たに普及啓発ポスター 2 種類を作成し、各市町村、社協、医療機関等に配布、掲示依頼。
- ・小児向けパンフレットを作成し、各市町村、教育機関、児童福祉施設等に配布。県教育委員会、県養護教諭会や茨城小児科学会で広報を実施。
- ・県民に広報したいコーナーへの登録（市町村やフリーペーパー発行元への掲載データの情報提供）
- ・高次脳機能障害支援センター X アカウント (@iba_koujinou)、YouTube アカウントの運用

○令和 5 年度特に力を入れたこと等

- ① 茨城県高次脳機能障害地域支援体制整備事業：未指定となっていた 2 圏域の指定に向けて候補となる医療機関に対し、広報活動や事業説明を行った。
- ② 小児に特化したパンフレットを作成し、教育・児童福祉領域への広報活動を行った。
- ③ 自動車運転ガイドブックの公開、配布を積極的に実施、免許センターや教習所へ訪問を行った。
- ④ 一般向けイベントを開催し、高次脳機能障害の認知度向上を図った。

○今後の課題等

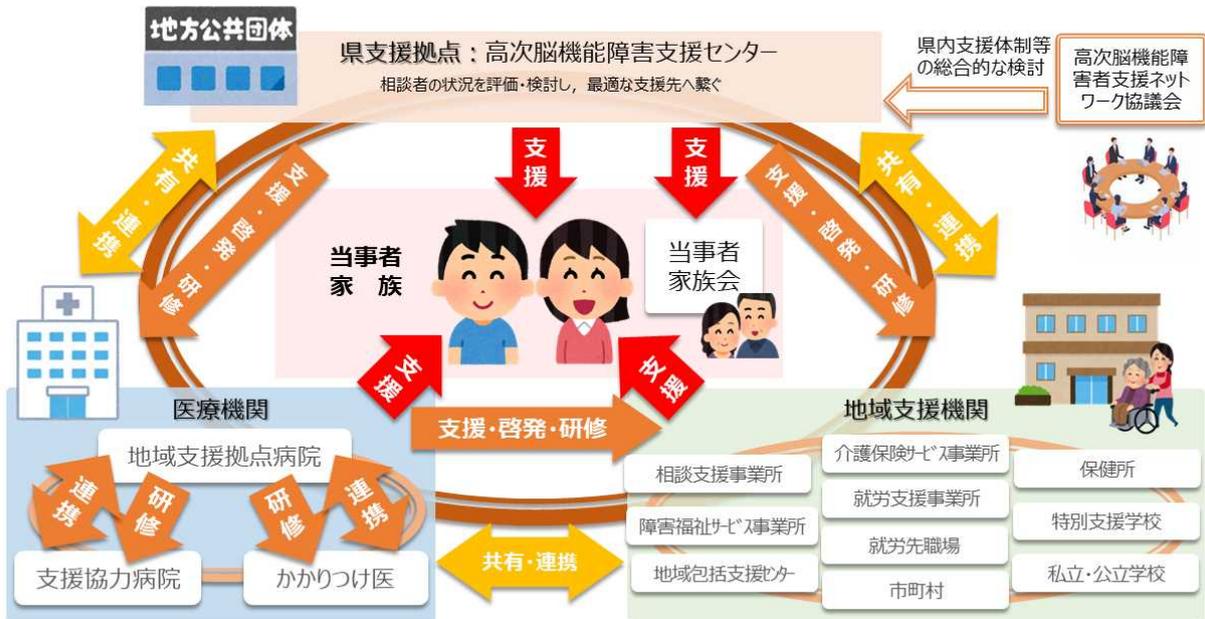
- ① 茨城県高次脳機能障害地域支援体制整備事業のさらなる充実
- ② 高次脳機能障害支援養成研修の開催の継続
- ③ 自動車運転支援における、教習所や運転免許センターとの連携強化
- ④ 一般県民の認知度向上に向けた普及啓発

【令和6年度事業実施計画】

大まかな事業計画は以下のとおり。

- ① 茨城県高次脳機能障害地域支援体制整備事業：新たに地域支援拠点病院を指定した鹿行、県西地区での広報を中心に連携強化を行う。
- ② 高次脳機能障害支援養成研修の実施
- ③ 一般向けイベントの開催

茨城県における高次脳機能障害支援体制



関東甲信越ブロック【栃木県】

・支援拠点機関：

◇高次脳機能障害 支援拠点機関

栃木県障害者総合相談所、栃木県立リハビリテーションセンター

◇高次脳機能障害 地域支援拠点機関

足利赤十字病院、国際医療福祉大学病院、栃木県医師会塩原温泉病院
真岡中央クリニック、リハビリテーション花の舎病院

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	149	電話	126
来院／来所	58	来院／来所	7
メール／書簡		メール／書簡	
その他	8	その他	23
計	215	計	156

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

●栃木県障害者総合相談所

①高次脳機能障害医療従事者等研修<Web オンデマンド配信>

配信期間：8月18日～28日 受講申込：87名

②家族教室

開催日：9月26日 参加者：10名

③相談支援研修（専門編）：子どもの高次脳機能障害支援研修<Web オンデマンド配信>

配信期間：2月9日～29日 受講申込：161名

④相談支援研修（基礎編）：にしなすケアネットにおける地域支援拠点機関との合同研修

開催日：1月25日 参加者：55名

●国際医療福祉大学病院

①高次脳機能障害について

開催日：1月25日 参加者：55名（再掲）

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業

●栃木県障害者総合相談所

①高次脳機能障害支援連携協議会<Web>

開催日：1月19日 出席者：23名（当事者家族会、学識経験者、医療機関、保健福祉機関、労働機関、支援拠点機関、県）

②高次脳機能障害支援コーディネーター打合せ会議 <Web>

開催日：7月5日 出席者：11名

③各圏域で実施している相談支援専門員等連絡会議や障害者就労関係会議等への参加
(4回)

●足利赤十字病院

①第14回両毛地区病病連携検討会 ～精神疾患における就労支援～

開催日：7月27日 参加者：約30名

(イ) 事例検討会等

●栃木県障害者総合相談所

①ケース会議等の主催、参加 (21回)

○普及啓発

●栃木県障害者総合相談所

①高次脳機能障害セミナーの開催<Web オンデマンド配信>

配信期間：11月2日～17日 受講申込：256名

②リーフレット(4種類)及び啓発用ポケットティッシュの配布(延べ38ヶ所、1,215部)

③子どもの高次脳機能障害に関するリーフレット増刷(5,000部)

●足利赤十字病院

①2023年度滋賀県高次脳機能障害支援センター研修会

開催日：7月21日 参加者：約100名

(主催：滋賀県高次脳機能障害支援センター 講師：船山道隆部長)

②第19回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会

開催日：10月13日 参加者：約250名

(主催：千葉県千葉リハビリテーションセンター 講師：船山道隆部長)

③2023年度(第10回)高次脳機能障害講演会

開催日：1月13日 参加者：約100名

(主催：とちぎ高次脳機能障害友の会 講師：船山道隆部長)

④高次脳機能支援にかかる医療保健福祉関係職員研修会

開催日：1月20日 参加者：約100名

(主催：新潟県 講師：船山道隆部長)

○令和5年度特に力を入れたこと等

●栃木県障害者総合相談所

- ・子どもの高次脳機能障害に関するリーフレットを活用した教育機関への普及啓発
- ・各種会議や研修等で使用する高次脳機能障害支援に係る説明資料の再考

●栃木県立リハビリテーションセンター

- ・院外で行われているWeb研修等を周知し、普及啓発を行った。

●足利赤十字病院

- ・例年同様、高次脳機能外来での診察や相談支援を行った。また、必要に応じて院内にある脳卒中相談窓口や院内多職種、院外関係機関との連携を行った。
- ・両毛地区病病連携検討会では、隣市にある精神科病院と共催で就労支援の現状等を共有した。院内でも定期的に高次脳機能障害に特化したカンファレンスを開催しており、リハビリテーション課が中心となり患者支援を行っている。
- ・以下、船山道隆部長が高次脳機能障害に関する論文を作成し、発信した。

1) Neurosyphilis Initially Misdiagnosed as Behavioral Variant Frontotemporal Dementia: Life-Changing Differential Diagnosis.

Funayama M, Kuramochi S, Kudo S.

J Alzheimers Dis Rep. 2023 Sep 26;7(1):1077-1083. doi: 10.3233/ADR-230107. eCollection 2023.

PMID: 37849632 Free PMC article.

2) Development of Self-made Gestures as an Adaptive Strategy for Communication in an Individual With Childhood Apraxia of Speech.

Funayama M, Nakajima A.

Cogn Behav Neurol. 2023 Dec 1;36(4):249-258. doi: 10.1097/WNN.0000000000000354.

PMID: 37724738

3) A Selective Hand Posture Apraxia in an Individual With Posterior Cortical Atrophy and Probable Corticobasal Syndrome.

Omori T, Funayama M, Anamizu S, Ishikawa M, Niida R, Tabuchi H.

Cogn Behav Neurol. 2023 Jun 1;36(2):118-127. doi: 10.1097/WNN.0000000000000339.

PMID: 36961317

●栃木県医師会塩原温泉病院

障害の周知のため、県作成のパンフレットの設置や活用をすすめた。

○今後の課題等

●栃木県障害者総合相談所

- ・地域支援拠点機関との連携体制の更なる充実
- ・地域支援拠点機関を中心とした支援ネットワークづくり
- ・高次脳機能障害児者の各ライフステージに応じた支援実施が可能な人材の育成

●栃木県立リハビリテーションセンター

- ・基本的には本年度同様の事業を予定している。

●足利赤十字病院

- ・若年の患者の障害福祉サービスと介護福祉サービスの併用が困難なケースがあり、行政と当院とで話し合いを持つ機会があった。引き続き、患者のニーズを行政と共有し、サービス利用を実現することで患者のQOL向上に努めていきたい。
- ・障害福祉サービスは介護福祉サービスに比べ認定・サービス利用開始に時間を要するため、退院調整に苦慮することがある。

- 国際医療福祉大学病院
 - ・高次脳機能障害について院内含め地域の方々への啓発
- 栃木県医師会塩原温泉病院
 - ・院内入院患者を中心に高次脳機能障害の相談は増えているが、支援拠点機関としての相談件数はほぼない状況である。障害の周知がまずは必要と考えており、引き続き相談があった際は対応していくこととする。
- 真岡中央クリニック
 - ・地域のニーズ、地域資源の掘り起こしが進んでいない。
 - ・施設内職員向け研修会や地域内啓蒙活動、地域資源の連携の場作りができていない。

【令和6年度事業計画】

- 栃木県障害者総合相談所
 - ・家族会との協働による介護者支援の充実（ピアサポーターの養成等）
 - ・地域支援拠点機関との連携強化（研修事業の共催等）
 - ・出前講座を活用した、教育分野等の関係機関及び一般県民への普及啓発
 - ・ケアマネージャー等への普及啓発
- 栃木県立リハビリテーションセンター
 - ・基本的には、今年度同様の事業を予定している。
- 足利赤十字病院
 - ・基本的には、今年度同様の事業を予定している。
 - ・コロナ感染症流行以前は、近隣の就労支援機関と当院神経精神科に関わる職員とで情報共有の場を持っており、今年度から徐々に再開しているため、引き続き顔の見える連携を行っていききたい。
- 真岡中央クリニック
 - ・施設内職員向け研修会や地域内啓蒙活動、地域資源の連携の場作りを進めたい。

関東甲信越ブロック【群馬県】

・支援拠点機関：前橋赤十字病院

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	501件	電話	172件
来院／来所	337件	来院／来所	0件
メール／書簡	0件	メール／書簡	0件
その他	9件	その他	0件
計	847件	計	172件

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

① 高次脳機能障害者医療関係者向け研修会

（令和6年1月27日、群馬県庁にて開催。後日オンデマンド配信。）

県、県立障害者リハビリテーションセンターの共催として開催。

受講者43名（会場参加7名、オンデマンド動画の視聴者33名）。

医師や地域支援者による講演（総論、社会資源について、診断書作成について等）

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：令和5年度 群馬県高次脳機能障害支援連絡会

② 第1回 令和5年6月22日開催（参加者 13名）

県、支援拠点機関（前橋赤十字病院）のほか、家族会、県立障害者リハビリテーションセンター（高次脳機能障害に特化した自立訓練を実施）、県医療ソーシャルワーカー協会、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、障害者生活支援センター、市町村を構成員としている。

令和5年度中の構成機関の取組と、今後の研修実施に関する意見交換を行った。

③ 第2回 令和6年3月14日開催（参加者 13名）

高次脳機能障害支援に関する研修と、切れ目ない支援のための多機関との連携に関する意見交換を行った。

（イ）事例検討会等

事例検討会は実施していない。

個別支援における方向性を決めるためのケース検討会議を9回実施した（参加者30名）。

○普及啓発

① 市町村障害福祉関係業務新任職員研修会

県内各市町村（県保健福祉事務所等も含む）の障害福祉関係職員に対し、障害分野の業務について説明する研修会を毎年開催している。その中で、高次脳機能障害について、症状の紹介、支援拠点機関や家族会の紹介を行った。

- ② 県 HP に高次脳機能障害に対応する医療機関や、家族会等の情報を掲載すると共に、高次脳機能障害について詳しく説明した他サイトへのリンクや、県内で活動する家族会等団体の情報、関係機関が実施する研修会の情報等を掲載し情報発信している。
- ③ 上毛新聞「こころの Q&A」にて高次脳機能障害についての情報提供（8月）地域新聞に高次脳機能障害について紹介する記事を掲載した。

○令和5年度特に力を入れたこと等

- ① 医療関係者向け研修会を開催し、診断書作成等具体的かつ必要な内容を伝達しながら支援者の技術向上、ネットワーク構築を図った。
- ② 個別支援においては、コロナ禍における医療機関の面会制限に伴い家族が高次脳機能障害に関する知識を医療機関から得にくい環境が続いていた。医療機関に対し、「高次脳機能障害あんしんブック」をコミュニケーションツールとして積極的に活用するよう促した。

○今後の課題等

- ① さらなる支援者の理解を促し、地域ニーズを踏まえた研修を開催することで支援内容の充実や県内サービス提供の均霑化を図る。
- ② 県内で予定されている高次脳機能障害にかかる研修事業について、研修会の位置づけや役割について整理する必要がある。
- ③ 学齢期の当事者や、児童生徒の親が当事者である場合等、学校現場から支援に繋がることが難しい。教育委員会を巻き込み理解を促す必要がある。
- ④ 病識に乏しく、支援の受け入れが難しいケースに対する地域支援体制の構築を検討する必要がある。

【令和6年度事業計画】

- ・ 県内で予定されている高次脳機能障害にかかる研修事業について、関係機関と協力の上、研修会を開催（後援）し、支援者の資質向上を図る。
- ・ 支援連絡会を開催し、「高次脳機能障害あんしんブック」の改訂について検討する。
- ・ 医療従事者が集う場に赴き、高次脳機能障害関連施策に関して情報提供する。

【令和6年度重点事項】

- ・ 「高次脳機能障害あんしんブック」を改定し、よりよい周知を行う。
- ・ 群馬県高次脳機能障害医療連携拠点機関との県内協力体制を構築する。

関東甲信越ブロック【埼玉県】

・支援拠点機関：埼玉県リハビリテーションセンター

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	1, 255	電話	1, 051
来院／来所	1, 913	来院／来所	305
メール／書簡	11	メール／書簡	9
その他	22	その他	18
計	3, 201	計	1, 383

※上記の他「相談窓口」委託先（2医療機関）での相談実績

138件（直接相談：55件 間接相談：83件）

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

①医療関係者向け専門研修会（講義）1回

「高次脳機能障害の診断書作成のための留意事項と能力障害・生活障害のとらえ方～医師の役割とコメディカルの役割～」

開催日：令和6年2月8日（木）～3月13日（水） 申込者：124名

②市町村職員、相談支援事業所職員等向け研修 2回

・「障害の理解とリハビリテーション 高次脳機能障害編」

開催日：令和5年8月1日（火）から令和6年1月31日（水） 申込者：170名

・「高次脳機能障害者の暮らしを支えるために 理解に役立つ言葉編」

開催日：令和5年9月21日（木）から令和6年1月31日（水） 申込者：103名

③医療と福祉の連携を目指す研修会 1回

開催日：令和6年2月8日（木）～3月13日（水） 申込者：201名

○普及啓発

・リーフレット・パンフレットの配布 *ホームページからのダウンロード可

「理解編」「社会資源・制度編」

「もしかしたらお子様は…高次脳機能障害かもしれません」（小児向け）

を関係機関へ配布

○令和5年度特に力を入れたこと等

①医療と福祉の連携を目指す研修会では、埼玉県作業療法士会に講師を依頼し、研修動画をYouTubeで限定公開した。

（1）外来リハでの就労支援の取り組み

～障害者職業センター・就労移行支援事業を利用し、復職した事例～

(2) 自立訓練（生活訓練）における支援の取り組み

～介護保険サービスと連携し地域生活の継続的な支援体制が構築できた事例～

(3) 高次脳機能障害者を支える制度・サービスの概要

- ②地域相談支援（サポート）事業 依頼件数 43件 職員派遣 43回
- ③高次脳機能障害者支援機能の地域展開事業 相談窓口を2医療機関に委託
- ④高次脳機能障害者就労アシスト事業 定着支援 15名登録 事業所等訪問支援55件
- ⑤ピア・カウンセリング事業 20回

○今後の課題等

- ①医療と福祉の連携を強化し、高次脳機能障害者が途切れなく診療や支援を受けられる体制づくり
- ②コロナ禍においても、YouTube や ZOOM などを利用した関係者向け研修や県民に対する普及啓発の機会確保
- ③身近なところで相談支援を受けられる体制の構築

【令和6年度事業計画】

○相談支援

総合相談窓口（来所・電話）
地域相談支援（サポート）事業による職員派遣
高次脳機能障害者支援機能の地域展開事業

○研修事業

関係者向け専門研修（講義 2回）
市町村職員、相談支援事業者職員等向け研修（基礎編2日および応用編1日 計2回）

○普及啓発

県民向けセミナー開催
リーフレットおよびパンフレットの配布「理解編」「社会資源・制度編」
「もしかしたらお子様は…高次脳機能障害かもしれません」（小児向け）
県広報誌による啓発
オンライン（YouTube 等）を利用した啓発

○その他

関係機関情報交換会の出席
県支援体制整備推進委員会の運営
ピア・カウンセリング事業（委託により実施；電話相談および地域相談会）
高次脳機能障害者就労アシスト事業

【令和6年度重点事項】

- ・医療と福祉の連携強化

【その他】

- ・県内全域における相談支援

関東甲信越ブロック【千葉県】

- ・ 支援拠点機関：
 - ・ 千葉県千葉リハビリテーションセンター
 - ・ 旭神経内科リハビリテーション病院
 - ・ 亀田リハビリテーション病院
 - ・ 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	907	電話	1,452
来院／来所	1,562	来院／来所	39
メール／書簡	49	メール／書簡	80
その他	75	その他	84
計	2,593	計	1,655

《旭神経内科リハビリテーション病院》

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	44	電話	35
来院／来所	0	来院／来所	0
メール／書簡	0	メール／書簡	1
その他	0	その他	0
計	44	計	36

《亀田リハビリテーション病院》

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	12	電話	10
来院／来所	749	来院／来所	2
メール／書簡	0	メール／書簡	1
その他	4	その他	0
計	765	計	13

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	21	電話	20
来院／来所	386	来院／来所	7
メール／書簡	2	メール／書簡	17
その他	0	その他	0
計	409	計	44

○研修、会議等の開催状況

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

ア 研修

- ① 第1回地域支援者向け連続講座「高次脳機能障害概論」
開催日令和5年7月14日（参加者80名）
- ② 当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会（2023第1回）【Web配信】
開催日令和5年8月7日～27日（参加者68名）
- ③ 第2回地域支援者向け連続講座「易疲労・注意障害」
開催日令和5年9月8日※台風のため集合研修中止、WEBへ変更（9/19～10/1）
（参加者90名）
- ④ 第19回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会「高次脳機能障害の精神症状
／行動障害への対応」開催日令和5年10月13日（参加者98名）
- ⑤ 第3回地域支援者向け連続講座「記憶・遂行機能障害」
開催日令和5年11月2日（参加者63名）
- ⑥ 第6回生活版ジョブコーチ支援研修会 開催日令和5年11月15日（参加者41名）
- ⑦ 第7回医療関係者向け高次脳機能障害就労支援研修会【オンライン配信】
開催日令和5年11月25日（参加者70名）
- ⑧ 第4回地域支援者向け連続講座「失語・社会的行動障害」
開催日令和6年1月12日（参加者61名）
- ⑨ 第20回損保高次脳機能障害リハビリテーション講習会「高次脳機能障害者が地域で
暮らすために」 開催日令和6年1月20日（参加者103名）

イ 事例検討会等

（ア） ネットワーク育成事業：会議名

- ① 第6回千葉県脳損傷者運転支援連携会議
開催日令和5年6月16日（参加者47名）
- ② 千葉県高次脳機能障害ネットワーク担当者会議
開催日令和5年6月26日（参加者15名）
- ③ 令和5年度 第1回精神科病院長会議
開催日令和5年9月28日（参加者91名）
- ④ 第7回千葉県脳損傷者運転支援連携会議
開催日令和5年9月29日（参加者36名）
- ⑤ 第8回千葉県脳損傷者運転支援連携会議
開催日令和5年12月1日（参加者48名）
- ⑥ 令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会
開催日令和5年12月18日（参加者33名）
- ⑦ 第9回千葉県脳損傷者運転支援連携学会
開催日令和6年2月29日（参加者55名）

（イ） 事例検討会等

- ① 第1回市川市高次脳機能障害児者サポート会議
開催日令和5年5月23日（参加者10名）
- ② 第2回市川市高次脳機能障害児者サポート会議（支援者座談会）

開催日令和5年7月25日（参加者17名）

- ③ 第3回市川市高次脳機能障害児者サポート会議（家族交流会）

開催日令和5年9月26日（参加者11名）

- ④ 第4回市川市高次脳機能障害児者サポート会議

開催日令和5年11月28日（参加者5名）

- ⑤ 第5回市川市高次脳機能障害児者サポート会議（家族交流会）

開催日令和6年1月23日（参加者15名）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

ア 研修

- ① 「ふれあいネット松戸 高次脳勉強会」

開催日令和5年10月31日（参加者16名）

- ② 「外部向け講習会 受傷後の生活をどのように構築していくか」

開催日令和5年11月8日（参加者46名）

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：会議名

- ① 「高次脳機能障害支援ネットワーク会議」

開催日令和5年6月26日（参加者15名）

- ② 「ネットワーク連絡協議会」

開催日令和5年12月18日（参加者36名）

- ③ 「千葉県脳損傷者運転支援連携会議」

開催日令和5年6月16日（参加者12名）

開催日令和5年9月29日（参加者23名）

開催日令和5年12月1日（参加者16名）

開催日令和6年2月29日（参加者56名）

- ④ 「令和5年度千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター研修会」

開催日令和6年3月14日（参加者18名）

《亀田リハビリテーション病院》

ア 研修

- ① 高次脳機能障害について（家族会）

開催日令和5年11月18日（参加者15名）

- ② 高次脳機能障害と支援事業について（上映会イベント内）

開催日令和6年2月17日（参加者40名）

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：

- ① 実施なし

（イ）事例検討会等

- ① ケース検討会

開催日令和5年7月24日、令和5年9月18日、令和5年11月28日（参加者各10名）

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

ア 研修

- ① 高次脳機能障害支援者向け研修会 令和5年10月26日（参加者31名）

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：

- ①令和5年度第1回院内連絡会議 令和5年4月25日（参加者7名）
②高次脳機能障害当事者・家族・支援者の会 令和5年5月20日（参加者20名）
③交流会打ち合わせ 令和5年6月12日（参加者6名）
④高次脳機能障害者の就労支援に係る意見交換会 令和5年6月30日（参加者12名）
⑤令和5年度第2回院内連絡会議 令和5年7月18日（参加者5名）
⑥研修会・交流会打ち合わせ 令和5年8月31日（参加者6名）
⑦令和5年度第3回院内連絡会議 令和5年10月17日（参加者6名）
⑧高次脳機能障害支援者向け研修会 令和5年10月26日（参加者31名）
⑨高次脳機能障害 当事者・家族・支援者の会 令和5年12月23日（参加者16名）
⑩研修会打ち合わせ 令和6年1月11日（参加者6名）
⑪令和5年度第4回院内連絡会議 令和6年1月24日（参加者6名）

(イ) 事例検討会等

実施なし

○普及啓発

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

- ① 青年期家族グループ①（対象：青年期当事者家族）千葉障害者就業支援キャリアセンター見学 開催日令和5年6月27日（参加者8名）
② 第1回家族のつどい（対象：千葉リハ・家族会を利用している当事者家族）
開催日令和5年8月2日（参加者12名）
③ 第1回カフェ輪駆（対象：就労している当事者）
開催日令和5年8月5日（参加者25名）
④ 青年期合同グループ 開催日令和5年10月21日（参加者14名）
⑤ 第2回カフェ輪駆 開催日令和5年11月11日（参加者22名）
⑥ 小児家族グループ（対象：小学生までの当事者家族）進路について特別支援校教諭より情報提供 開催日12月4日（参加者8名）
⑦ 青年期家族グループ② 開催日令和5年12月26日（参加者5名）
⑧ ヤングカフェ（対象：若年発症で就労経験ある当事者）
開催日令和6年2月3日（参加者7名）
⑨ 家族交流会（対象：障害者支援施設を利用している高次脳機能障害当事者家族）
開催日令和6年2月10日（参加者14名）
⑩ 第2回家族のつどい 開催日令和6年2月14日（参加者9名）
⑪ 第21回高次脳機能障害交流会（対象：当事者・家族）
開催日令和6年3月2日（参加者72名）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ① 高次脳機能障害を有する方へのオンラインプログラムの提供
開催日令和5年4月13日（参加者26名）
開催日令和5年5月11日（参加者27名）
開催日令和5年6月8日（参加者26名）

開催日令和5年7月13日（参加者26名）

開催日令和5年8月10日（参加者31名）

開催日令和5年9月14日（参加者23名）

開催日令和5年10月12日（参加者27名）

開催日令和5年11月9日（参加者19名）

開催日令和5年12月14日（参加者26名）

開催日令和6年1月11日（参加者26名）

開催日令和6年2月8日（参加者20名）

開催日令和6年3月14日（参加者28名）

② 高次脳機能障害 集団コミュニケーション療法（さくらの会）

開催日令和5年4月14、21、28日（参加者16名）

開催日令和5年5月12、19、26日（参加者16名）

開催日令和5年6月9、16、23日（参加者16名）

開催日令和5年9月1、15、22、29日（参加者16名）

開催日令和5年10月6、13、20、27日（参加者16名）

開催日令和5年11月10、17、24日（参加者16名）

開催日令和6年2月2、9、16日（参加者16名）

開催日令和6年3月1、8、15、22日（参加者16名）

③ 家族会 ちば家族のWA（オンラインとのハイブリット形式）

開催日令和5年5月28日（参加者9名）

開催日令和5年8月27日（参加者8名）

開催日令和5年11月26日（参加者11名）

開催日令和6年2月18日（参加者11名）

④ 若年性認知症 本人家族交流会（くるみの会主催）

開催日令和5年7月22日（参加者22名）

《亀田リハビリテーション病院》

①ドキュメンタリー上映会 開催日令和6年2月17日（参加者40名）

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

①こ～じのう掲示板第50号への寄稿 9月

②こ～じのう掲示板第51号への寄稿 2月

③ホームページ更新（事業報告など）

④会議、研修会等参加協力

第6回千葉県脳損傷者運転支援連携会議 令和5年6月16日（参加者5名）

千葉障害者職業センター業務説明会 令和5年6月23日（参加者1名）

令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク担当者会議

令和5年6月26日（参加者2名）

令和5年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

令和5年6月28日（参加者2名）

令和5年度第1回支援コーディネーター全国会議 令和5年6月28日（参加者4名）

福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 令和5年8月26日（参加者2名）
第7回千葉県脳損傷者運転支援連携会議 令和5年9月29日参加者3名）
令和5年度第2回就業支援者養成セミナー 令和5年10月6日（参加者1名）
第19回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会
令和5年10月13日（参加者2名）
令和5年度高次脳機能障害普及支援関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議
令和5年11月29日（参加者3名）
令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会
令和5年12月18日（参加者3名）
令和5年度千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター研修会打ち合わせ
令和6年2月9日（参加者1名）
令和5年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
令和6年2月16日（参加者1名）
令和5年度第2回支援コーディネーター全国会議 令和6年2月16日（参加者2名）
第9回千葉県脳損傷者運転支援連携会議 令和6年2月17日（参加者4名）
令和5年度千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター研修会
令和6年3月14日（参加者4名）
関東甲信越・東京ブロック 支援者養成研修について情報交換
令和6年3月28日（参加者1名）

○令和5年度特に力を入れたこと等

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

- ①地域支援者育成のための研修会の企画・開催（医療者向け、支援者向け、当事者・家族向け等対象を絞った各種研修会9件）
- ②社会的行動障害を呈する当事者支援を充実させるための諸活動（外部の精神科医を講師に招いての研修会、県精神科病院長会議へ出席し連携のための広報、県と共同してにも包括会議において支援拠点機関との連携呼びかけ等）
- ③医療からの就労支援の流れを作るための活動（当センター内の医療からの就労入口支援としてのグループ活動（J-Act）の試行実施）
- ④県内の小児期発症者を対象とした学校や医療機関を対象とした広報啓発活動（急性期病院への広報チラシ配布、特別支援校や県教育総合センターでの研修会開催）
- ⑤R3～4年度に実施したアンケート結果から支援機関リストを作成し、当センターホームページへの掲載
- ⑥千葉リハ内の各高次脳支援プロジェクト活動（就労移行支援、成人医療リハ、小児医療リハ、地域生活復帰支援）
- ⑦地域支援ネットワーク作り（千葉県脳損傷者運転支援連携会議を定期開催、市川市高次脳児者サポート会議への定期サポート、家族会支援等）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ①高次脳機能障害を有する方へのオンラインプログラムの提供内容を就労継続B型事業

のスタッフと細かな調整を行い内容の充実化を図った

- ②外部向け講習会で高次脳機能障害の当事者をお招きして退院後の生活構築に必要なことをパネルディスカッション形式で開催した

《亀田リハビリテーション病院》

- ①ケースカンファレンスの開催
②普及啓発活動

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

- ①高次脳機能障害 当事者・ご家族交流会
② 高次脳機能障害者の就労支援に係る意見交換会

○今後の課題等

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

- ・現状の医療～地域生活までの流れに合わせた支援フローを再検討する必要がある
- ・県内の小児高次脳診断および長期支援に関わる地域体制作りが不十分である
- ・社会的行動障害や重複障害等の支援困難ケースの受け入れや支援先が不足している
- ・地域支援者や事業所による支援格差が生じている（地域支援者育成の必要性）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ・家族会への参加者を増やす為の広報活動や支援方法
- ・院内での運転支援の流れやフォロー体制

《亀田リハビリテーション病院》

- ・地域との連携、関係性の拡大
- ・高次脳機能障害について普及啓発

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

- ・当事者・ご家族への交流会開催周知
- ・高次脳機能障害支援に携わる関係者との連携強化

【令和6年度事業計画】

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

基本的には前年度同様の事業を予定している。

- ・相談支援体制のさらなる充実
- ・他事業（地域リハビリテーションなど）と連携した広報啓発の促進
- ・研修等の実施と見直し
- ・精神科領域における会議への参加など

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。
- ・就労目指す高次脳機能障害の家族会でイベント開催実施
- ・地域包括や家族会に向けて高次脳勉強会の実施

《亀田リハビリテーション病院》

- ・イベントは基本的には前年度同様の事業を予定している。
- ・地域支援事業、行政との連携強化

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

基本的には前年度同様の事業を予定している。

具体的な事業計画

- ・相談支援事業：高次脳機能診断・評価、個別リハ、精神科デイケア、個別相談支援
- ・普及啓発事業：ホームページによる情報発信、連絡会議・事例検討会・交流会
- ・研修事業：高次脳機能障害支援研修会

【令和6年度重点事項】

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

- ・精神科領域との連携強化など、地域支援ネットワークの構築
- ・医療から地域生活までをサポートするセンター内支援体制の再整備
- ・研修、広報啓発活動の見直し（支援者養成研修の対応の検討を含む）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ・家族会の人数を増やす為にイベント開催の実施
- ・地域や家族会へ向けて高次脳講習会や勉強会の開催

《亀田リハビリテーション病院》

- ・当院をハブとして地域支援事業、行政と連携する
- ・地域の福祉、行政へ高次脳機能障害の普及啓発

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

- ・当事者・家族向け交流会の開催
開催頻度を増やす、支援者も交えて情報交換や交流の場としていく
- ・就労支援に関する意見交換会開催
参加施設を拡大し、持ち回りでの事例検討会を企画していく

【その他】

《千葉県千葉リハビリテーションセンター》

- ・高次脳機能障害支援者養成研修についての検討（計画及び実施について）

《旭神経内科リハビリテーション病院》

- ・特になし

《亀田リハビリテーション病院》

- ・行政との連携に向けて資料の作成、計画案を作成する
- ・サポートの可否についてアンケートを行う

《地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院》

- ・研修会や意見交換会については、内容や参加者の利便性、感染症対策などを考慮し、オンライン開催にするなど、状況に応じた開催形式を都度検討していく

高次脳機能障害支援普及事業 令和5年度 実施状況（東京ブロック）

令和6年6月
東京都心身障害者福祉センター

東京都における高次脳機能障害者支援

高次脳機能障害支援普及事業

心身障害者福祉センターを支援拠点機関として、以下の取組を実施

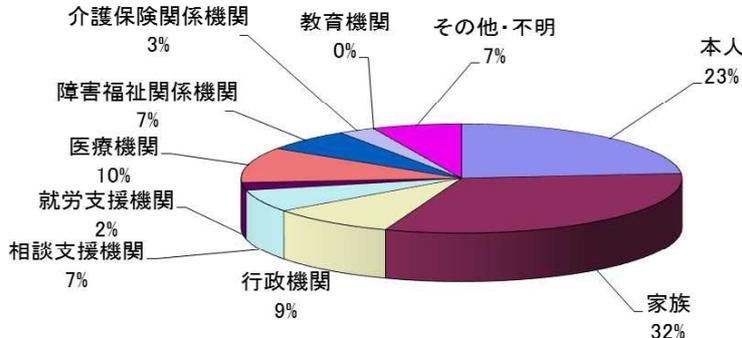
- 1 相談支援（高次脳機能障害専用電話相談）
- 2 支援ネットワーク構築
 - 2-1 二次保健医療圏の支援ネットワークづくり
 - 2-2 区市町村の相談体制づくり
- 3 人材育成・広報普及啓発
- 4 社会生活評価プログラム（4か月通所）
- 5 就労準備支援プログラム（6か月通所）

1 相談支援

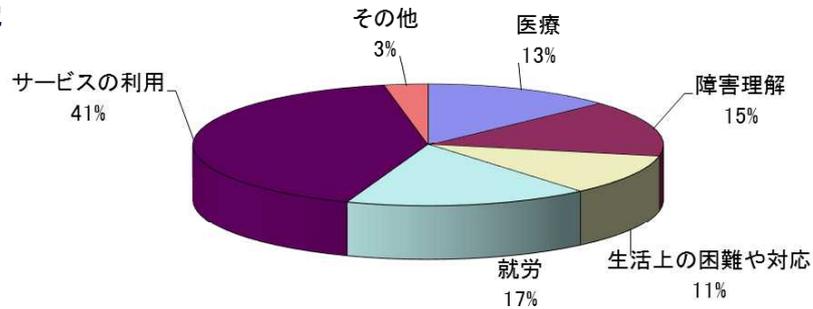
□ 専用電話相談受付件数(令和5年度)
463件 (新規相談259件 継続相談204件)

□ 新規相談の状況

● 相談者



● 相談内容



3

2 支援ネットワーク構築

2-1 二次保健医療圏の支援ネットワークづくり

専門的リハビリテーションの充実事業

・二次保健医療圏の中核医療機関による以下の取組を通じて切れ目のない支援体制の充実を図る。

- ・コーディネーターの配置（理解促進、社会資源の情報共有等）
- ・症例検討会・圏域連絡会等による連携
- ・地域の専門職等を対象とした研修会

実施圏域

<22・23年度> <24年度> <25年度> <26年度> <27年度>
2圏域（モデル実施）⇒ 4圏域 ⇒ 6圏域 ⇒ 9圏域 ⇒ 12圏域（全圏域）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ① 区中央部（慈恵会医科大学附属病院） | ⑦ 区東部（東京都リハビリテーション病院） |
| ② 区南部（荏原病院） | ⑧ 西多摩（大久野病院） |
| ③ 区西南部（日産厚生会玉川病院） | ⑨ 南多摩（永生病院） |
| ④ 区西部（慶応義塾大学病院） | ⑩ 北多摩西部（国立病院機構村山医療センター） |
| ⑤ 区西北部（豊島病院） | ⑪ 北多摩南部（慈恵会医科大学附属第三病院） |
| ⑥ 区東北部（いずみ記念病院） | ⑫ 北多摩北部（国立病院機構東京病院） |

専門的リハビリテーションの充実事業の受託医療機関が発行している社会資源マップ



2-2 区市町村の相談支援体制づくり

区市町村高次脳機能障害者支援促進事業

- 区市町村に支援員を配置して以下の事業を行い、高次脳機能障害者への支援の促進を図る。
 - ・相談支援
 - ・関係機関との連携
 - ・社会資源の把握・開拓
 - ・広報・普及啓発
- 実施区市町村

平成20年度に7区市で始まり、年々増え、令和5年度には45区市町で実施している。

【区部】 22区

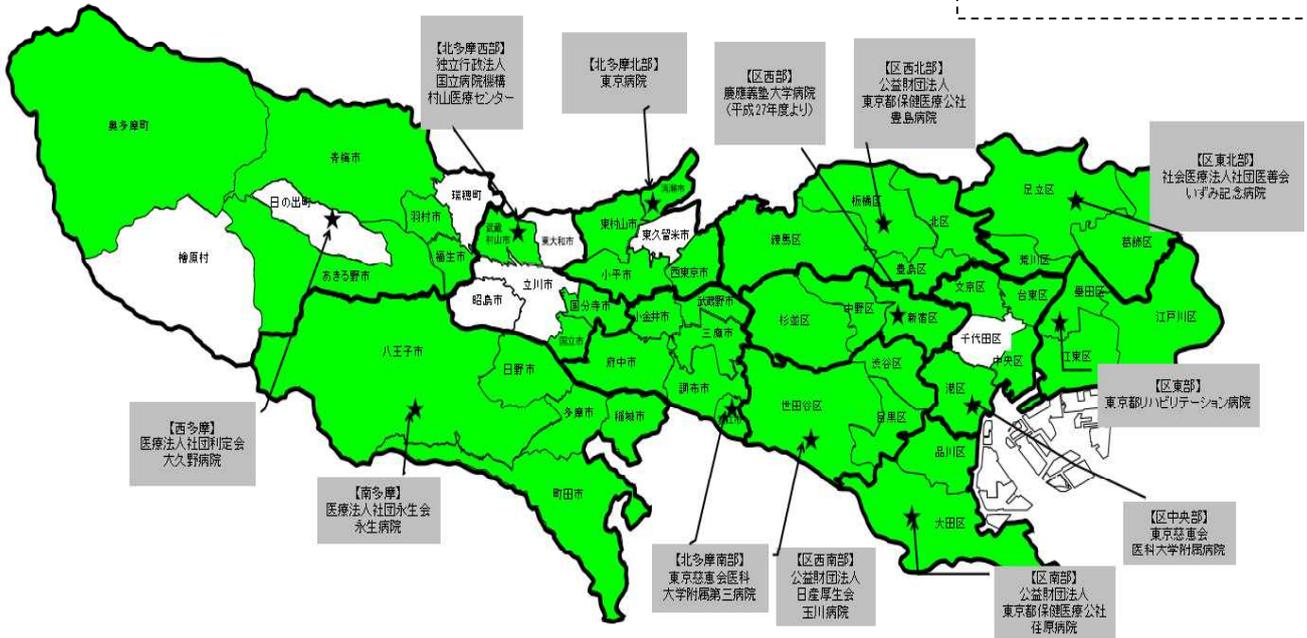
中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区

【市町村部】 23市町

八王子市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、清瀬市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、奥多摩町

専門的リハビリテーションの充実事業受託医療機関 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施自治体（45区市町）

促進事業実施予定自治体(32区市町)
★ 専門的リハ事業受託医療機関
太 枠 二次保健医療圏域(島嶼除く)



3 人材育成、広報・普及啓発

□ 相談支援研修会

区市町村や相談支援機関、医療機関等の職員が対象

- ① 令和5年7月24日 オンライン開催 高次脳機能障害の基礎知識 149名
 令和5年8月4日から8月14日 高次脳機能障害の基礎編 後日視聴 471名
- ② 令和5年10月25日 集合開催 高次脳機能障害者のピアサポートの現状とこれから 103名

□ 小児の高次脳機能障害

教職員研修センター主催の研修にてリーフレット配布 2500枚
 令和5年8月18日～8月31日 WEB配信 高次脳機能障害のある子供の理解
 ～学校、家族、それぞれの立場から、何をどこまで、どうすればいいのか？
 700名定員

□ 相談支援員連絡会

区市町村等の相談支援の実務者間で取組報告や情報交換等を実施

- ① 令和4年6月21日 支援促進事業の取組報告等(WEB開催) 46区市 105名
- ② 令和4年12月6日 区市町村間の情報交換等(集合開催) 39区市町 56名

□ 支援者向けパンフレット及びハンドブックの作成・配布

「もしかしたらお子さまは高次脳機能障害かもしれません」一部改訂 60,000部発行

令和6年度 高次脳機能障害支援普及事業実施方針【支援拠点機関】

1 相談支援

- ◇専用電話相談等の的確な対応
 - ・地域の相談機関と連携し、支援拠点機関として相談支援の質の向上を図る。
- ◇家族会が実施する「医療及び家族相談会」への協力の継続
 - ・東京高次脳機能障害協議会主催の「医療及び家族相談会」に引き続き支援拠点機関として協力

2 支援ネットワーク構築

- ◇専門的リハビリテーションの充実事業のネットワーク構築への支援
 - ・圏域における事業運営や圏域内自治体との調整等への協力
 - ・受託医療機関相互の情報交換を支援（精神保健医療課と連携）
- ◇区市町村の相談支援体制整備への支援
 - ・支援促進事業実施自治体を中心に区市町村の相談支援体制整備を支援
 - ・区市町村相談支援員連絡会等を通じた情報提供等

3 人材育成・広報普及啓発

- ◇地域の支援機関の実践力の向上を支援
 - ・相談支援者向けに、支援拠点機関として特色ある研修を実施
 - ・地域の支援機関等への講師派遣による技術支援
- ◇小児高次脳機能障害の普及啓発
 - ・東京都教育庁が行う教職員対象の研修会でリーフレット配布等を継続実施
- ◇都民・支援機関への普及啓発と情報提供
 - ・ホームページの充実、パンフレット・リーフレットの配布等

4 高次脳機能障害者のための通所プログラム

- ◇社会生活評価プログラム及び就労準備支援プログラム等の実施により、区市町村・関係機関等を支援

令和5年度特に力を入れたこと

- ・教育関係者に小児高次脳機能障害の普及啓発
- ・子どもの福祉関係部署等への普及啓発

小児リーフレットの一部改訂 60,000部発行
 配布先 ①教育関係者の研修会（令和5年度より実施）
 ②保健所、保健センター、子ども家庭支援センター
 児童相談所等
 ③急性期医療機関（三次救急）等

・進学や就労などの子どもの将来の支援につながるためにも、保護者、学校、医療機関、福祉等が連携し、切れ目なく対応していくことが必要です。



今後の課題

- ・教育関係者の研修会で小児高次脳機能障害のリーフレットの配布継続と、説明を行えるようにすること
- ・都内の高次脳機能障害の普及啓発（区市町村支援促進事業）が未実施の地域への働きかけ

関東甲信越ブロック【神奈川県】

・支援拠点機関：神奈川県総合リハビリテーション事業団

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	629	電話	296
来院／来所	744	来院／来所	204
メール／書簡	34	メール／書簡	0
その他	37	その他	10
計	1,444	計	510

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 高次脳機能障害セミナー小児編 R5/7/8 会場開催 参加者 30名
- ② 高次脳機能障害セミナー実務編 R5/12/9 会場開催 参加者 46名
- ③ 高次脳機能障害セミナー就労支援編 R6/1/20 会場開催 参加者 27名

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業

●神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

- ①第1回 R6/2/9 (参加者：支援拠点機関、県、政令市、当事者団体、学識経験者、職域団体、専門支援機関、作業部会など 11名)

●高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会

- ①第1回 R5/7/14 (参加者 20名)
- ②第2回 R6/1/16 (参加者 26名)

●政令市と神奈川県の情報交換会

- ①第1回 R5/6/23 (参加者 19名)
- ②第2回 R5/12/15 (参加者 21名)

(イ) 事例検討会等

①相模原市事例検討会：R5/7/28

参加者 19名（社会福祉士1名、障害者支援施設1名、通所施設1名、相談支援専門員2名、MSW3名、ケアマネジャー8名、施設長2名、事務1名）

②藤沢市事例検討会：R5/9/20

参加者 16 名（ケアマネジャー 7 名、相談支援専門員 4 名、就労支援機関 2 名、MSW 2 名、地域包括支援センター 1 名）

③大和市事例検討会：R6/1/23

参加者 34 名（ケアマネジャー 23 名、相談支援専門員 5 名、障害者施設 2 名、行政 2 名、看護師 2 名）

④ スペースナナ事例検討会：R6/2/2

参加者 7 名（医師 1 名、MSW 1 名、心理 1 名、障害者支援施設 4 名）

⑤相模原市事例検討会 R6/2/16

参加者 15 名（高齢福祉分野社会福祉士 2 名、ケアマネジャー 3 名、MSW 5 名、就労移行支援事業所 1 名、相談支援専門員 2 名、施設長 1 名、PT 1 名）

⑥藤沢市事例検討会 R6/2/28

参加者 22 名（MSW 2 名、PSW 1 名、主任ケアマネジャー 1 名、ケアマネジャー 7 名、相談員 6 名、就労移行支援事業所 2 名、サービス管理責任者 1 名、職業指導員 1 名、障害福祉施設 1 名）

○普及啓発

① 高次脳機能障害セミナー理解編 R5/8/26 会場開催 参加者 65 名

○令和 5 年度特に力を入れたこと等

- ①巡回相談以外の地域での相談会開催
- ②家族会と連携した介護者不在時への対応

○今後の課題等

- ①地域での具体的な高次脳機能障害支援プログラムの策定
- ②家族会と連携した介護者不在時への対応
- ③医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等への研修

【令和 6 年度事業計画】

- ・基本的には前年度同様の事業を予定

【令和 6 年度重点事項】

- ・オンラインでの事業所との情報交換
- ・高次脳機能障害支援者養成研修の企画

【その他】

- ・特になし

関東甲信越ブロック【新潟県】

- ・支援拠点機関：高次脳機能障害相談支援センター（新潟県精神保健福祉センター内）

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	203	電話	173
来院／来所	59	来院／来所	11
メール／書簡	4	メール／書簡	74
その他	4	その他	8
計	270	計	266

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

① 研修名 医療・保健・福祉関係職員研修

開催日 ・令和6年1月20日（Zoomによるオンライン配信）

・令和6年1月29日～2月29日（YouTubeにより録画をオンデマンド配信）

参加者 延べ210名

② 研修名 障害保健福祉圏域別支援従事者研修会（相談支援地域拠点（7か所）が主催）

開催日 令和5年9月～令和6年3月の間に各拠点で1回ずつ開催

参加者 延べ200名

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：会議名

① 新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会

開催日 令和5年11月27日

参加者：医療福祉関係職 12名

③ 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議

開催日 令和5年7月31日、令和6年3月4日

参加者：精神保健福祉相談員等 延べ30名

（イ）事例検討会等

（障害保健福祉圏域別支援従事者研修会において実施）

開催日 令和5年9月～令和6年3月の間に各拠点で1回ずつ開催

参加者 延べ200名

○普及啓発

① リハビリテーション講習会（運営の支援）

開催日 ・令和5年8月26日

参加者 延べ71名

- ② 家族教室 相談支援地域拠点2か所と共催・各1回 参加者 延べ11名
- ③ 家族のつどい（支援拠点）5回 参加者 延べ82名
- ④ 家族のつどい（地域拠点）12回 参加者 延べ46名
- ⑤ 当事者のつどい（支援拠点）4回 参加者 延べ33名

○令和5年度特に力を入れたこと等

- ① 引き続き新型コロナウイルスの感染対策を実施しながら、研修や普及啓発（家族教室、家族や当事者のつどい）事業を行った。
多職種を対象とした研修会については、感染対策と受講しやすくするために休日のオンライン開催とし、後日のオンデマンド配信を併用した。
- ② ケース支援を通じ、県拠点と地域拠点、地域の関係機関の連携強化を図った。

○今後の課題等

- ① 身近な地域でより充実した支援が受けられるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに組み込まれた支援体制整備を進める。
- ② 体制加算研修の実施に向けた準備
- ③ 地域における高次脳機能障害支援の対応力向上のため、ケース支援を通じ人材育成と関係機関の連携強化を進める。

【令和6年度事業計画】

- ・前年度同様の事業を予定（リハビリテーション講習会（R6年度休止）を除く）

【令和6年度重点事項】

- ・医療、福祉、教育等関係職員の障害理解の促進
- ・関係職員の対応力向上に向けた効果的、計画的研修の実施
- ・地域支援ネットワークの構築に向けた関係機関との情報共有・連携の強化
- ・地域拠点の周知とコーディネート機能の充実

【その他】

（特になし）

関東甲信越ブロック【山梨県】

・支援拠点機関：山梨県高次脳機能障害者支援センター(甲州リハビリテーション病院)

【令和5年度（4～3月）実績】

1 相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	231	電話	236
来院／来所	268	来院／来所	32
メール／書簡	157	メール／書簡	28
その他	9	その他	84
計	665	計	380

2 研修、会議等の開催状況

(1) 研修

○「高次脳機能障害の基礎」

開催日 令和5年11月17日(金) オンライン開催

参加者:128名

(2) 事例検討会等

①ネットワーク育成事業：

・「高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会」

開催日 令和5年11月30日(木) ハイブリット開催

参加者 委員17名、オブザーバー4名、事務局8名

②事例検討会等 毎月1回開催

名称	開催日	参加者数
事例検討会(ともに学ぶ会)	4月6日	11名
事例検討会(ともに学ぶ会)	5月11日	12名
事例検討会(ともに学ぶ会)	6月1日	10名
事例検討会(ともに学ぶ会)	7月6日	12名
事例検討会(ともに学ぶ会)	8月3日	11名
事例検討会(ともに学ぶ会)	9月7日	11名
事例検討会(ともに学ぶ会)	10月5日	9名
事例検討会(ともに学ぶ会)	11月9日	10名
事例検討会(ともに学ぶ会)	12月7日	6名
事例検討会(ともに学ぶ会)	1月4日	7名
事例検討会(ともに学ぶ会)	2月1日	7名

事例検討会（ともに学ぶ会）	3月7日	8名
---------------	------	----

3 普及啓発

○リーフレットの配布、ガイドブックの活用、ホームページでの情報発信等。

4 令和5年度特に力を入れたこと等

- ①実態調査（回復期リハビリテーション病棟を対象）の計画、準備。
- ②県民意識調査（県政モニター）
- ③支援拠点機関内で「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキスト」の発行に伴い、国が求める標準的な支援の水準を確保のための共有、勉強会を開催した。

5 今後の課題等

・県民意識調査（県政モニター）の結果で、高次脳機能障害及び高次脳機能障害者支援センターについて、当事者やその家族および医療、福祉関係者など専門職には一定の理解は進んでいる一方、一般市民の高次脳機能害に対する理解が進んでいない現状であった。

【令和6年度事業計画（支援拠点機関）】

・山梨県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要綱に則り、相談支援、普及啓発、研修、支援ネットワークの充実を活動の4本柱とし取り組む。

【令和6年度重点事項】

<支援拠点機関>

- ・普及啓発に注力していく。現在支援を必要としない一般県民に対しての普及啓発。
- ・講演会については広く県民一般が関心を持つテーマを設定し取り組む。
- ・研修事業「高次脳機能障害支援者研修」報酬改定に関わる要件や県の意向なども注視しながら取り組む。

【その他】

・高次脳機能障害支援者研修については、研修委託機関を中心に支援拠点機関の協力を得た円滑な実施を目指していく。

関東甲信越ブロック【長野県】

- ・ 支援拠点機関：佐久総合病院
健和会病院
桔梗ヶ原病院
県立総合リハビリテーションセンター

【令和5年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	359	電話	432
来院／来所	391	来院／来所	38
メール／書簡	3	メール／書簡	16
その他	24	その他	19
計	777	計	505

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

●佐久総合病院

特になし。

●健和会病院

①院内 高次脳機能障害支援委員会 10回 参加者 69名

②院内 作業療法士リーダー会 12回 参加者 67名

③院内 作業療法士学習会 10回 参加者 171名

●桔梗ヶ原病院

・研修名 神経内科 武田克彦医師によるランチョンセミナー

開催 年間9回（開催月 4. 5. 6. 7. 8. 10. 11. 12. 3月）

参加者 156名

●県立総合リハビリテーションセンター

①高次脳機能障害基礎研修会

所内集合研修 令和5年4月26日 参加者 22名

②支援者養成研修会

開催日・配信期間	内容	参加者数
R5.12.9	○ライブ配信 講義:「チームアプローチの重要性」 「家族支援・当事者家族会の活動」 演習 講義:「障がい特性の理解と対応方法」	16

	事例検討	
R5.12.11～R6.1.31	○オンデマンド配信 講義 「チームアプローチの重要性」 「家族支援・当事者家族会の活動」	52

イ 事例検討会等

●佐久総合病院

特になし。

●健和会病院

(ア) ネットワーク育成事業：会議名

特になし

(イ) 事例検討会等

事例検討会 5回 参加者 52名

●桔梗ヶ原病院

特になし

●県立総合リハビリテーションセンター

(ア) ネットワーク育成事業：

①長野県立総合リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援対策協議会

高次脳機能障害支援事業強化に関わるワーキンググループ、事業内容検討のための小委員会及び全体会議

開催日	会議名		参加者数
R5.5.31	ワーキンググループ	第1回	8
R5.7.21		第2回	10
R5.9.1		第3回	8
R5.9.12		第4回	6
R5.11.1		第5回	8
R5.5.10	小委員会	第1回	12
R5.9.27		第2回	12
R6.1.24		第3回	10
R6.2.9	全体会議		17
R6.3.8		追加会議1	10
R6.3.19		追加会議2	17

(イ) 事例検討会等

実施なし

○普及啓発

●佐久総合病院

特になし。

●健和会病院

①研修名 高次脳機能障害に対するスポーツの可能性

高次脳機能障害家族会・当事者会での取組～高次脳機能障害者に対するボッチャの工夫～

開催日 2023年10月21日 参加者 255名

●桔梗ヶ原病院

①病院ホームページでの情報発信

- ・当院における高次脳機能障害支援拠点病院の役割と活動内容について
- ・リハビリテーションの取組（特に自動車運転について）

②県作成のリーフレットの配布

●県立総合リハビリテーションセンター

①高次脳機能障害研修会（北信地域）

開催日	内容	参加者数
R5.11.12	講義 「高次脳機能障害とは」 「高次脳機能障害の症状と対応方法について」 シンポジウム 「就労の取組～当事者の声を受けて～」	56

②患者・家族会の開催 計4回 延べ126名

③ホームページに「高次脳機能障害」に関する情報、当センターの取組を掲載

○令和5年度特に力を入れたこと等

●佐久総合病院

- ①自動車教習所との連携
- ②自動車運転支援の実態把握

●健和会病院

- ①高次脳機能障害専門外来・家族会・当事者会
- ②集合形式での研修会を再開
- ③自動車運転評価
- ④復職支援

●桔梗ヶ原病院

①運転再開に向けた取組を行っている。

当院では、神経心理学的検査結果、ドライブシミュレーター、停止車両による評価・訓練を行い、眼科、自動車学校、免許センターとも連携を図り、自動車運転再開に向けて評価、リハビリテーション、支援を実施している。

これまでの取組等も皆様に閲覧してもらえるようにホームページの更新を行い

動画も掲載している。

②地域内外からの患者様の紹介・相談が増加したこと。

平年以上に、担当地域内外からの相談ケースが増加した。

今後もホームページやリーフレットの配布を通じて、高次脳機能障害・拠点病院としての取組について発信していきたい。

③介護保険・障害福祉サービス事業所・行政機関等との連携を図りながら総合的な患者支援を行うこと

●県立総合リハビリテーションセンター

①小児期発症脳腫瘍患者の高次脳機能障害についての移行期医療の連携体制構築

②支援者養成

③当事者向け研修会（普及啓発）の集合形式での再開

○今後の課題等

●佐久総合病院

・自動車運転支援者のフォローアップ

●健和会病院

①高次脳機能障害専門外来・家族会・当事者会の、更なる周知、内容の充実を図る。

②地域社会や事業所に対し、高次脳機能障害についての理解を広める。関係機関との連携。

③主に若年の、高次脳機能障害を持つ方が利用できる、福祉的就労の場や訓練の場の拡充が必要。

●桔梗ヶ原病院

・患者様の中には課題が複雑化していたり、経済的に困窮した状態になってから支援コーディネーターにつながるケースがある。支援コーディネーターの必要性を感じる一方、支援コーディネーターが他の業務も兼務しているため支援体制を整えることが難しい。

●県立総合リハビリテーションセンター

①支援ネットワーク構築

②拠点機関利用後の長期フォローアップ

③早期発見・早期支援の体制構築

【令和6年度事業計画】

●佐久総合病院

・研修内容は別として、基本的には前年度同様の事業を予定している。

●健和会病院

・基本的には前年度同様の事業を予定している。

●桔梗ヶ原病院

・基本的には前年度同様の事業を予定している。

●県立総合リハビリテーションセンター

- ・前年度同様の事業
- ・障害サービスの「高次脳機能障害者支援体制加算」の条件を満たす支援者養成研修会の開催

【令和6年度重点事項】

●佐久総合病院

- ・特になし。

●健和会病院

- ・高次脳機能障害専門外来・家族会・当事者会の、更なる周知、内容の充実を図る。
- ・地域社会や事業所に対し、高次脳機能障害についての理解を広める。関係機関との連携。

●桔梗ヶ原病院

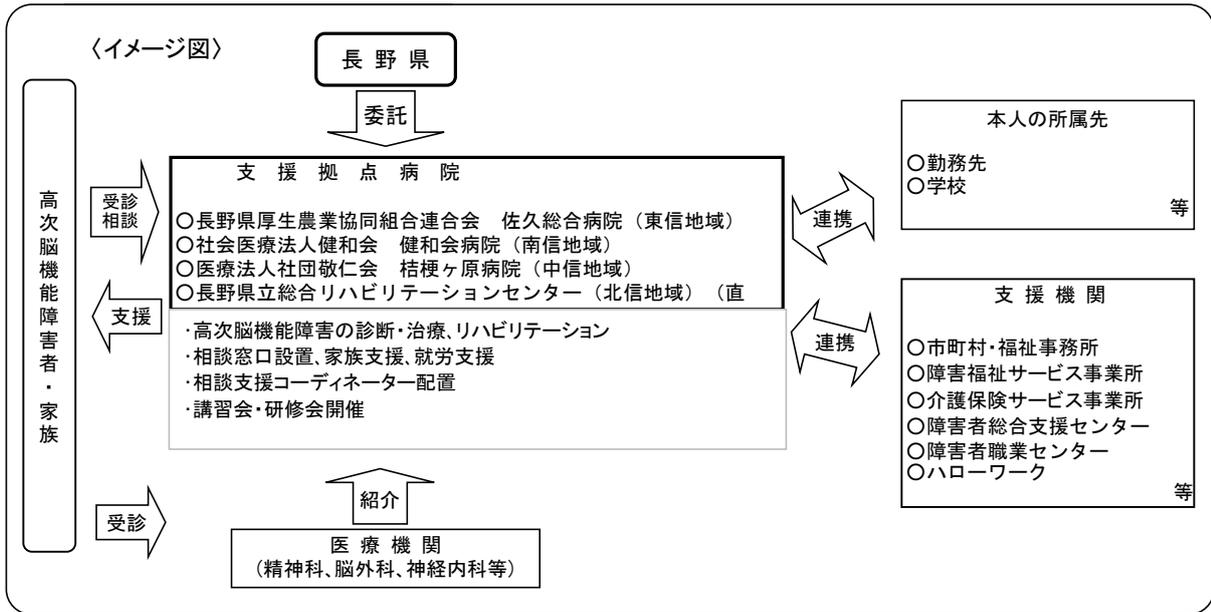
- ・院内での多職種連携や、介護保険・障害福祉サービス事業所・行政機関等との連携を図りながら総合的な患者支援を行う。
- ・運転再開に向けた取組を行う。
- ・啓発活動と情報発信を行う。
- ・社会的行動障害のある患者への精神科との連携を行う。

●県立総合リハビリテーションセンター

- ・障害福祉サービスの「高次脳機能障害者支援体制加算」の条件を満たす支援者養成研修会の開催
- ・全県の支援体制強化検討

【その他】

- ・特になし



岐阜県 令和5年度 高次脳機能障害事業実績

【拠点】

支援拠点機関	岐阜県精神保健福祉センター	TEL : 058-231-9724
支援拠点病院	社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院	TEL : 0574-66-5800
支援コーディネーター	7名（支援拠点病院1名、各圏域に支援コーディネーター6名）	

【拠点別の相談実績】

(件数)

拠点名	電話	来所(院)	メール・書簡	出張相談	計
岐阜県精神保健福祉センター	32	10	0	0	42
中部脳リハビリテーション病院	71	138	22	0	231
計	103	148	22	0	273

【主催・協力した会合等】

	連絡会・協議会	研修会・講習会	ケース会議	家族会・交流会
主催した会合	2回	3回	10回	0回
協力した会合	5回	5回	2回	1回

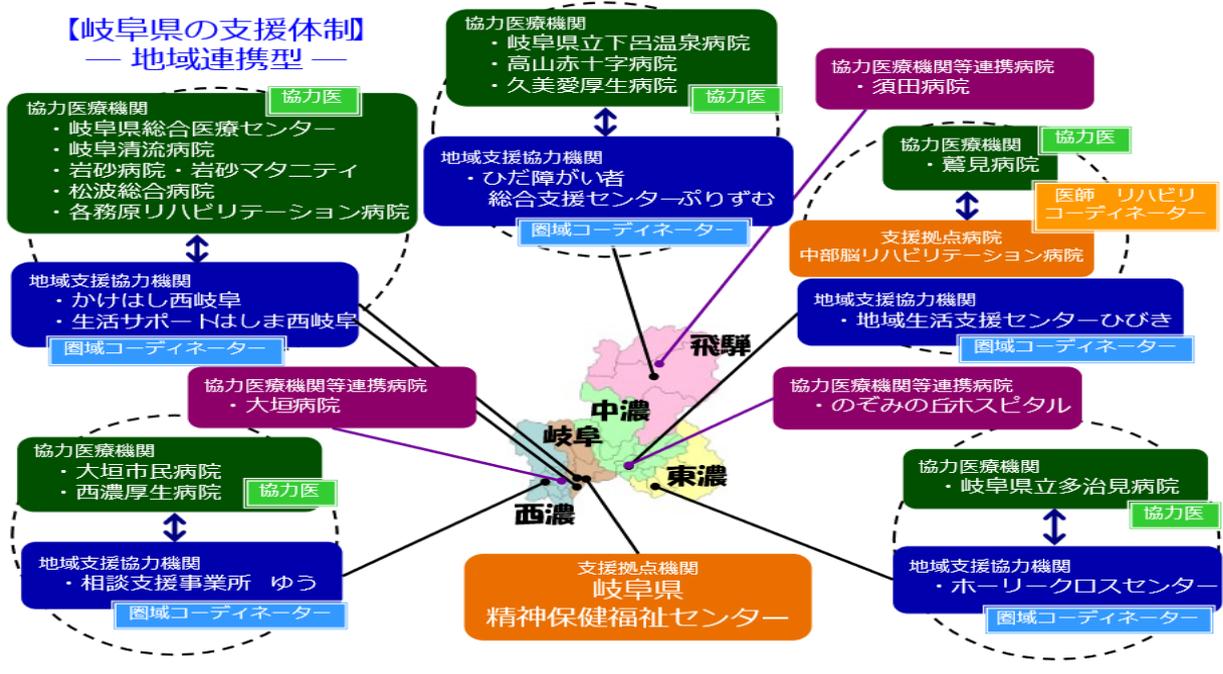
【その他活動】

岐阜県精神保健福祉センターではリーフレット及びホームページで、事業の普及啓発を図った。

【岐阜県における支援体制】

身近な所で医療と相談を連携した体制（「地域連携型」）進めてきた。

- ①高次脳機能障害支援事業協力医療機関（13病院）
- ②高次脳機能障害支援事業協力医療機関等連携病院（3病院）
- ③高次脳機能障害支援事業地域支援協力機関（6ヶ所）



【相談実績】

各圏域の支援協力機関（NPO 法人等 6 団体）へそれぞれ相談業務を委託したほか、岐阜県精神保健福祉センター主催の個別相談会を開催した。

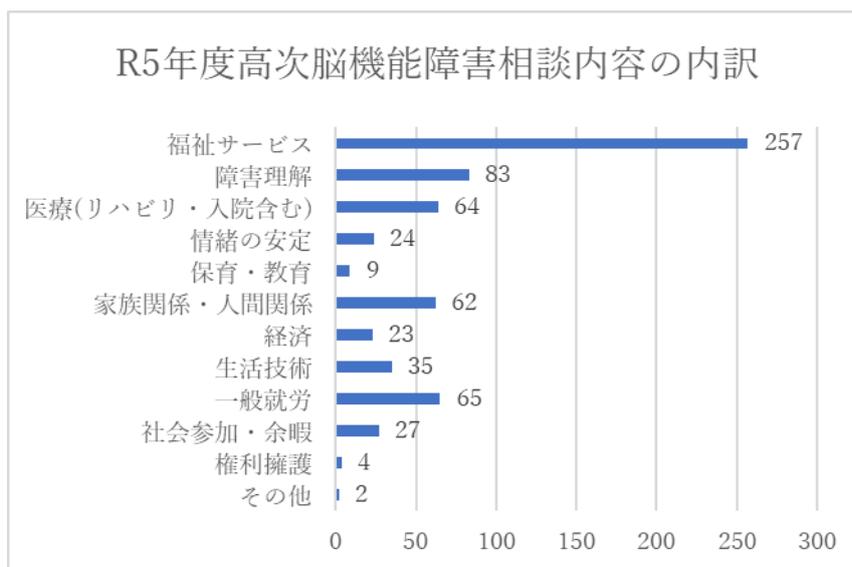
【圏域別の相談実績（R5 年度）】

（単位：件）

圏域名		R5 新規 相談件数	R5 延べ 相談件数
①	岐 阜 1	18	18
②	岐 阜 2	3	80
③	西 濃	5	53
④	中 濃	6	68
⑤	東 濃	2	130
⑥	飛 騨	26	306
	合 計	60	655

【圏域別の相談内容】

主な相談内容としては「福祉サービス」、「障害理解」、「一般就労」、「家族関係・人間関係」、「医療（リハビリ・入院含む）」の順に件数が多かった。



【普及啓発】

高次脳機能障害について広く障害の理解を促すため、以下のフォーラムを開催した。

研修名	主催者	開催日・場所	人数	内容・講師
岐阜 高次脳機能障がい フォーラム	岐阜県 精神保健福祉 センター 中部脳リハビ リテーション 病院	R5.10.21 岐阜商工会議 所	56 人	内 容 第 1 部 岐阜県高次脳機能障がい支援者講演会 第 2 部 岐阜脳損傷リハビリテーション講習会 講 師 第 1 部 社会福祉法人あゆみの家 相談支援事業所ゆう 相談支援専門員 橋本 聖子 NPO 法人ぎふ脳外傷友の会 村松あけみ 第 2 部 中部脳リハビリテーション病院 病院長/中部療護センター センター長 篠田 淳 三重県 TBI ネットワーク 会長 古謝 由美

				対象者 一般県民、県・市町村保健福祉担当者、福祉サービス事業所職員、協力医療機関、協力医療機関等連携病院、その他医療機関、地域支援協力機関の関係者等
--	--	--	--	---

【人材育成】

高次脳機能障がい者支援体制の推進のため、以下の研修会を開催した。

研修名	主催者	開催日・場所	人数	内容・講師
高次脳機能障害支援関係者研修会	岐阜県精神保健福祉センター	R6.1.30 オンライン	89人	内 容：高次脳機能障害のある人の就労生活への取組について 講 師：名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長 稲葉 健太郎 対象者：医療関係者（医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、医療相談員、臨床心理士等）行政職員（保健師、相談員等）障害福祉事業所職員（相談支援専門員、介護支援専門員、支援員等）ほか、高次脳機能障害の支援に携わる者

【令和6年度の実施計画】

- ① 支援拠点病院、各圏域の支援協力機関（NPO 法人など）と業務委託契約を締結し、支援コーディネーターを1名ずつ設置し、県内全域で相談業務を実施する。
- ② 高次脳機能障害普及啓発のため、令和6年8月24日（土）に対面式によるフォーラムを開催する。
- ③ 高次脳機能障害の支援者の資質向上並びに相談支援体制の強化を図るため、支援関係者研修を開催する。
- ④ 各圏域に設置した支援コーディネーターの資質向上及び情報共有を図るため、業務への負担軽減に配慮し、オンライン形式によるコーディネーター会議を開催する。
- ⑤ 高次脳機能障害に関する支援方法や普及啓発を図るため、関係機関を構成員とした支援対策推進会議を開催する。
- ⑥ 地域協力医療機関とのネットワークづくりのための連携会議を開催する。

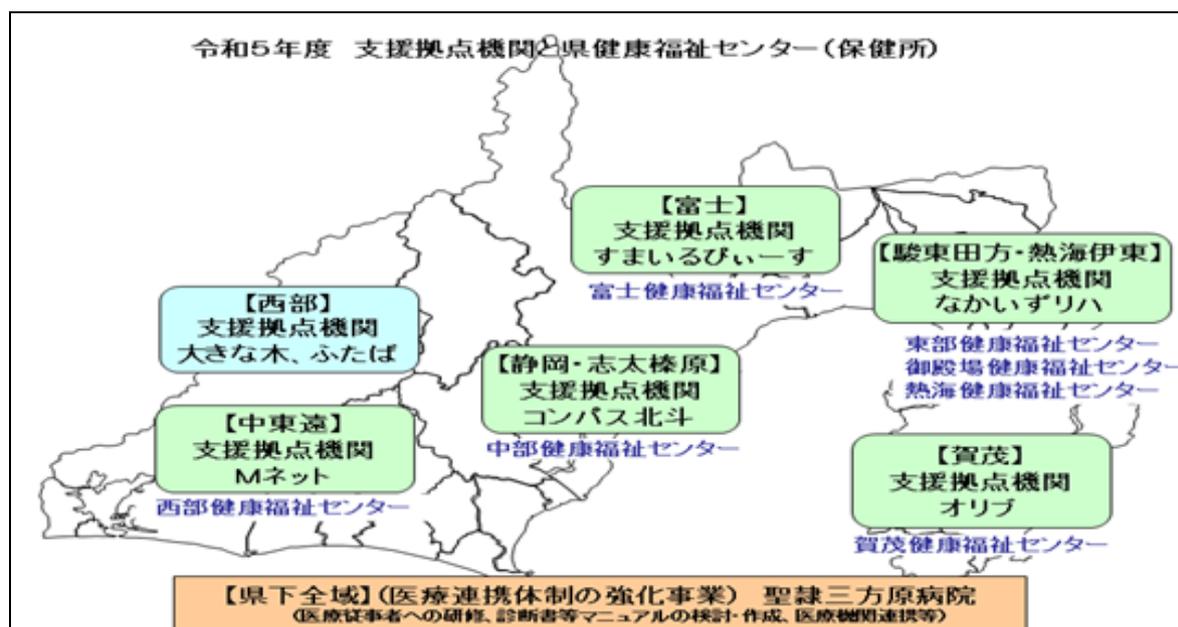
【課題】

高次脳機能障がい者支援体制の推進（医療領域と福祉領域の連携強化）

高次脳機能障がい者の生活における困り事や課題は、退院後、在宅へ移行した日常生活の中から見えてくるケースが多く、急性期医療からリハビリテーション、在宅への一連の中で切れ目のない包括的な支援を行っていく必要がある。しかし現状では、軽症者の中には、医療領域から福祉領域に移行していく中で、支援制度の対象とならない方も相当数いると推測される。

そのため、当事者やその家族が困った時に身近な場所で相談できるよう普及啓発や相談窓口の周知を含めた相談支援体制の整備を行うとともに、支援の狭間を埋めるため、回復期医療、福祉医療及び障害福祉サービスとの連携体制を構築する必要がある。

【静岡県】 令和5年度実績

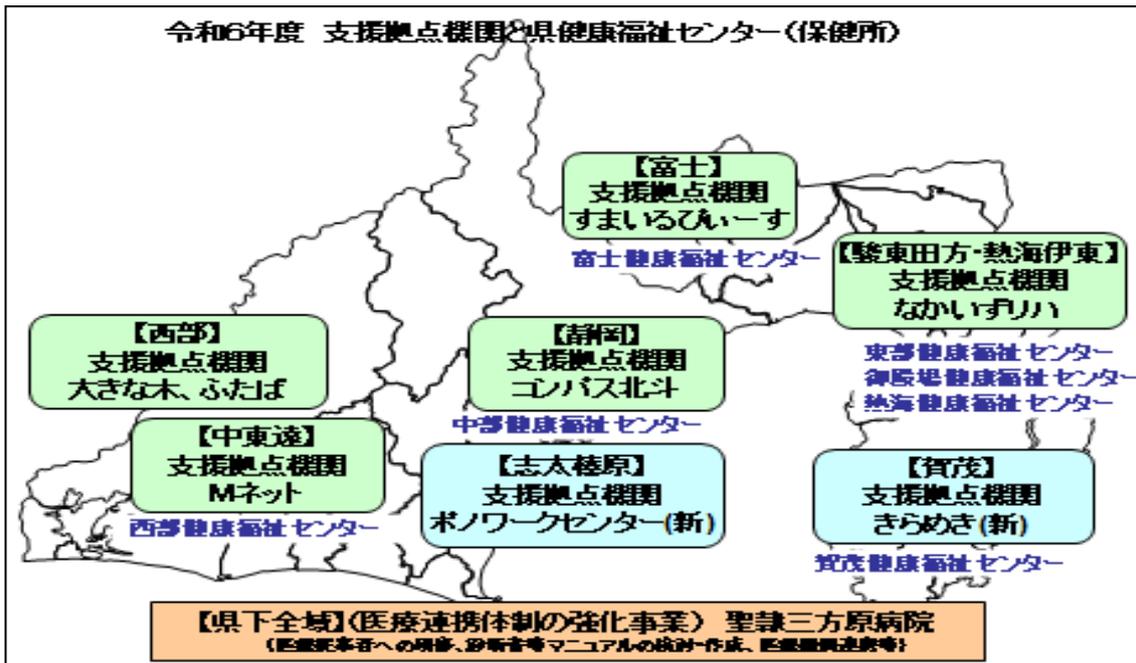


支援コーディネーター数	10名			
支援拠点機関相談数	来所 67件	訪問 263件	連絡等 345件	
支援拠点機関連携数	来所 22件	訪問 32件	連絡等 282件	
支援拠点機関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催	6回	3回	29回
	講師等協力	6回	6回	18回
その他活動	冊子、ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、リーフレットの配布 ・県・健康福祉センターホームページにて医療相談会等広報 		
	情報収集・調査	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関及び市町向け実態調査 		
その他、医療機関対象の研修等を聖隷三方原病院に委託（医療体制連携強化事業）				

<連絡協議会>

- ・高次脳機能障害地域基盤整備事業検討専門家会議
 - ①令和5年7月19日（火）（オンライン） ②令和6年3月13日（水）（オンライン）
- <医療等総合相談>
- ・県健康福祉センター（保健所）において、14回実施、延べ27人参加
- <支援従事者研修>
- ・県健康福祉センター（保健所）による支援従事者研修（対象：医療従事者、福祉関係者等）7回実施、286名参加
- ・支援コーディネーター等連絡会（情報共有等）3回（出席者 延べ46名）（対象：支援拠点機関支援コーディネーター、県健康福祉センター、政令市担当職員）
- ・支援コーディネーター研修
 - 事例検討を上記支援コーディネーター連絡会に併せて実施。その他、相談会、各種研修会への参加（対象：支援拠点機関支援コーディネーター）
- <令和5年度特に力を入れたこと>
- ・高次脳機能障害に係る診断、リハビリ、福祉的支援の現状を把握し、高次脳機能障害者への支援体制の課題を明らかにするとともに、高次脳機能障害に係る検査やリハビリに協力が可能な病院と障害者相談支援事業所等との連携を見直すことを目的とした、実態調査を実施した。

【静岡県】 令和6年度実施計画



【今後の課題】

1 支援体制の充実

本県は、圏域ごとに支援拠点機関と、それぞれに相談支援コーディネーターを配置し、身近な機関で相談支援が受けられるよう体制を整備している。

支援拠点機関は相談支援事業所に加え、令和4年度から実施主体を広げ、就労支援事業所にも支援拠点機関を委託している。平成30年度からは圏域ごとに協力医療機関を設けた。

その上で、支援拠点機関が相談業務に追われ連携等の体制整備に取りかかれない、対応業務の均てん化が図られていない、協力医療機関が空白の圏域がある等の課題がある。

2 県内の医療の均てん化

県健康福祉センター(保健所)が実施している医療等総合相談では、受傷・発症から相談までの期間が「3年以上」と回答する相談者が多い現状にある。高次脳機能障害について診断、治療等を行う医療機関は増えつつあるものの、的確な診断、治療、評価、リハビリテーション、障害認定が可能な医療機関が各圏域にあるとは言えない現状にある。このため、県内の高次脳機能障害の医療の均てん化を図るため、前年度より引き続き、聖隷三方原病院に「高次脳機能障害医療体制連携強化事業」を委託し、医療機関体制の強化・充実を図っていく。

3 高次脳機能障害支援者養成研修の開催

令和6年2月19日に通知された高次脳機能障害支援者養成研修開催に向け、関係機関等と調整し実施していく。県内で当研修受講希望がどれくらいあるかの実態がわからないため、関係者からの聴取や県自立支援協議会人材養成部会等との意見交換により明らかにしていく。可能であれば、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等に調査を行い、支援実態や研修受講希望について確認する。

愛知県 令和5年度実績（4月～3月）

支援拠点機関（電話）	なごや高次脳機能障害支援センター (052)835-3814								
支援コーディネーター数	5名								
支援拠点機関相談数(延べ)	来所	1,747	件	訪問	116	件	連絡等	1,672	件
支援拠点機関連携数(延べ)	来所	727	件	訪問	287	件	連絡等	5,145	件
支援拠点機関 活動実績		連絡会・協議会		研修会・講習会		ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）			
	主催	6	回	16	回	65 回			
	講師等協力(のべ)	2	回	26	回	149 回			
その他活動	リーフレット活用、ウェブサイト、ほか	・リーフレット2種の作成・配布 ・支援機関マップ（福祉版）の作成、周知 ・ウェブサイト（法人、県）での案内 ・普及啓発ポスター作成・掲示 ・メール相談開始（関係機関向け、個人向け）							

(1) 令和5年度の活動実績		★＝医療職が担当	
①高次脳機能障害支援体制連携調整委員会			
第1回	R5. 9. 20	第2回	R6. 3. 27
委員：21名一愛知県、名古屋市、支援拠点機関、当事者団体、社会復帰支援機関、学識経験者			
◇ワーキンググループ(WG)活動			
・委員を4WGに分け、普及啓発に関わる課題解決に向けた検討・活動を開始（R2～）。			
1) 医療機関向け冊子	…急性期病院等に設置する患者・家族向け冊子作成		
2) サポートファイル	…本人が支援をスムーズに受けられるようにするためのツール作成検討		
3) 支援機関マップ	…県内の高次脳機能障害に関する支援機関(医療、福祉)等一覧作成		
4) 高次脳機能障害児支援	…関係機関における情報共有、研修・研究機会の提供(R5～)		
②東海ブロック連絡協議会 R6. 1. 26			
③支援拠点間ネットワーク会議			
支援拠点機関および県所管課との打合せを定期的実施(R5. 6. 16、9. 13、R6. 3. 13)			
④主催・共催による講習会・研修会			参加者(のべ)
★高次脳機能障害セミナー 全5回	R5. 7. 13、8. 28、10. 30、12. 7、R6. 2. 17	※WEB	748 名 申込
①注意障害 ②記憶障害 ③失語・コミュニケーション障害 ④社会的行動障害 ⑤自動車運転再開			
・出張相談：「マイ・ノート」活用研修会(アイ初全体会)	R5. 7. 28		19 名
・出張相談：「蒲郡モデル」個別支援研修会	R5. 9. 15、10. 25、R6. 2. 29	※一部WEB	23 名
・基幹相談支援センター等職員向け研修	R5. 11. 10		30 名
・あいち高次脳機能障害支援フォーラム	R5. 11. 25		184 名 申込
第一部:あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会「必要とする支援とは」 講師:片岡 保憲 氏			
第二部:市民啓発イベント「スーパー座談会」 登壇者:鈴木 大介 氏、柴本 礼 氏、片岡 保憲 氏			
★出張相談事業(シーダーヒルズ※ケアハウス)	R5. 11. 28		8 名
★出張相談事業(ライトハウス光和寮)	R6. 3. 6		20 名
★出張相談事業(AJU自立の家)	R6. 3. 13		13 名
⑤社会生活力向上事業			参加者(のべ)
★内部研修(注意機能グループワーク) 全5回	R5. 6. 28～8. 2		20 名
★若年者のつどい(小中学生・高大学生・保護者)	R5. 8. 3、7、10、14、17		37 名 親子
★ICT講座(失語症者向けLINE活用講座・情報交換会)	R5. 9. 16		12 名
★妻たちの情報交換会	R5. 9. 19		3 名
★内部研修(失語症外出グループワーク1) 全4回	R5. 10. 23～11. 16		12 名
★内部研修(移動拡大グループワーク) 全13回	R5. 11. 7～R6. 3. 5		35 名
★ICT講座(失語症者向けZoom講座・情報交換会)	R6. 1. 27		9 名
★内部研修(失語症外出グループワーク2) 全4回	R6. 3. 6～3. 29		8 名
⑥外部主催研修・勉強会での講師等			
・名古屋市 障害福祉担当職員研修(基礎)	R5. 4. 24	※ハイブリット	10 名
★愛知県 障害者(児)福祉担当職員新任研修	R5. 5. 10		30 名
★失語症者向け意思疎通支援者実務研修①②③	R5. 6. 25、8. 19、12. 23		34 名
・国リハ指導者養成研修実践編	R5. 7. 28		
★第6期失語症者向け意思疎通支援者養成講習①②	R5. 9. 2、R6. 2. 17		19 名

★ドリーム主催 10代から40代の脳卒中障害者向け 講座&交流会	R5. 10. 21	10	名
★半田市障がい者自立支援協議会 現場職員向け研修	R5. 11. 1	34	名
★高次脳ピアサポーター養成研修①②	R5. 11. 7、12. 1	32	名
★愛知県作業療法士会 運転研修会	R5. 11. 18 ※WEB	20	名
★第22期失語症会話パートナー養成講座in岡崎①②	R5. 11. 26、12. 10	35	名
・東京高次脳機能障害協議会（リハビリテーション講習会）	R5. 11. 26		
・千葉県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	R6. 1. 20		

⑦ 関係機関との連携等

・みずほ主催総会・交流会 ファシリテーター参加	R5. 5. 15		
★みずほ主催キッズふらす ファシリテーター参加	R5. 7. 8、12. 2、R6. 3. 23		
★みずほ主催「ミラクル（妻の会）&レディースの会」ファシリテーター参加	R6. 3. 10		
★みずほ主催「働くなかまの集い」ファシリテーター参加	年4回		
・愛知県障害者ピアサポート研修（基礎・応用・フォローアップ）講師・企画委員 研修6日・委員会2回			
★失語症サロンでの出張相談	R5. 4. 22、5. 7、5. 27、6. 17、7. 2、10. 8、R6. 2. 18、3. 3、3. 16		
★あつまれ425（しつご）運営スタッフ	R5. 7		
★失語症会話パートナー養成講座実行委員会	R5. 10		
★JAF企画イベント 運営スタッフ（日本作業療法士協会依頼）	R5. 11. 15		
★ハイリハキッズ定例会見学参加	R6. 1. 21		
★運転と作業療法研究会 事務局	R6. 3. 2、3		
★あいちこうあんフェス2024 運営スタッフ	R6. 3. 16		
★失語症・ジョブカフェオンライン	月1回		
・愛知高次脳機能障害協議会への協力	家族相談会を当センターにて年6回開催		
・メール相談窓口開設（関係機関向けR5. 7月、個人向けR5. 11月）	計11件		
・高次脳機能障害支援マップ（福祉版）作成	R5. 8月データ公開		
・厚労科研（「障害福祉サービス等における高次脳機能障害者の支援困難度の評価指標についての研究」）への協力	R4～R5		
・国土交通省社会復帰促進事業受託	R4～		

⑧ 広報・啓発

・啓発ポスター掲示（県庁（地下鉄駅との連絡通路））	R5. 4. 1～4. 21
・高次脳機能障害 情報コーナー設置（名古屋リハセンター1F）	R5. 10月設置
・「ご存じですか？高次脳機能障害」（市民向けちらし）作成（R5. 8月）	1876機関に配布
・なごや高次脳機能障害支援センター関係機関向けパンフレット作成（R5. 11月）	1717機関に配布
・研修教材用DVDレンタル	2件

パンフレット

市民向けちらし



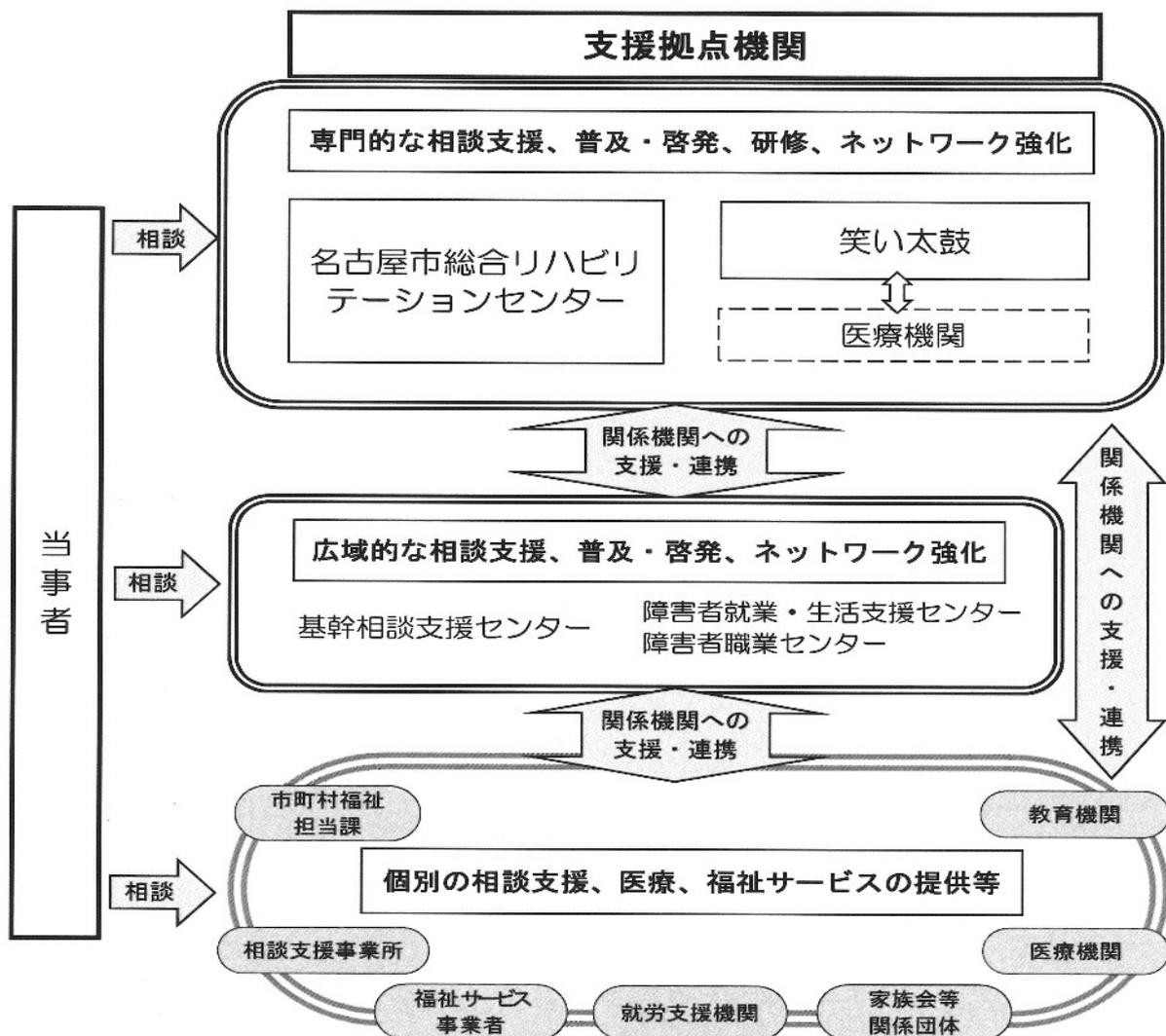
(2)R5年度特に力を入れたこと

R5年度は新たに取組んだ事業が多かった。
 社会生活力向上事業として、若年者のつどい、グループワーク、ICT講座などを主催し、当事者へのグループでの働きかけおよび家族の情報交換の場を設定した。
 ネットワーク強化事業として、出張相談、医療機関向けミニセミナーを開催した。
 広報・啓発事業として、メール相談窓口の開設、啓発イベントの開催、情報コーナー設置、支援機関マップ（福祉版）の公開などに取組んだ。
 また、R4に引き続き国土交通省社会復帰促進事業を受託し、医療や福祉サービスにつながりにくい層への相談を行うことで、早期診断、適切な支援開始につながるような取組みを試行的に開始している（計12名相談、5名と退院後フォローアップ契約）。

(3)今後の課題

今年度の実施状況を踏まえて、次年度以降対象や開催方法などを検討して、継続していく。新たに高次脳機能障害のある児童のワーキンググループを立ち上げ、地域ニーズの調査、勉強会などに取組む予定としている。

愛知県における高次脳機能障害者の支援体制図(2019.4～)



愛知県 令5年度実績（4月～3月）【笑い太鼓】

支援拠点機関（電話）	愛知県東部支援センター笑い太鼓（0532-34-6098）		
支援コーディネーター数	1名		
支援拠点機関相談数（延べ）	来所 40件	訪問 607件	連絡等 1006件
支援拠点機関連携数（延べ）	来所 44件	訪問 657件	連絡等 1215件
支援拠点機関活動実績	連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催・共済・協力	11	3回 185回 (うちケース会議143回)
	講師等協力	1	2回 -
その他活動	リーフレット活用、ウェブサイト、ほか	・広報活動・・・行政、医療、関係機関を訪問またはリーフレット・チラシを郵送 ・法人ホームページにて事業案内、コンタクトフォームの設置 ・ネットワーク構築促進事業(新事業)の広報活動と協力依頼	

(1) 活動実績

<支援体制連携調整の実施状況>

1. 令和5年度 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（第1回：R5.6.28）（第2回：R6.2.16）※①
2. 令和5年度 コーディネーター全国会議（第1回：R5.6.28）（第2回：R6.2.16）※②
3. 高次脳ネットワーク会議（支援拠点間および県所管課との打ち合わせ）（R5.6.9）（9.13）（R6.3.13）
4. 令和5年度 愛知県相談支援体制連携調整委員会（第1回：R5.9.20）（第2回：R6.3.27）
5. 令和5年度 高次脳機能障害 東海ブロック連絡協議会（R6.1.16）

※①、※②、は Web 開催

<主催・共済・協力した講習会・研修会等> ※（ ）内参加者数

【外部主催研修・勉強会での講師、アドバイザー等】 ※（ ）内研修参加者数

- ◇ファミリークラブ R5.4.1（10名）、6.3（18名）、7.1（13名）、8.5（11名）、9.2（10名）、10.7（13名）11.4（5名）、12.2（11名）、2.3（14名）、3.2（7名）
- ◇幸田町 若年性認知症の方・高次脳機能障害の方とその家族の集い R5.4.1（11名）、5.13（10名）、7.1（8名）8.5（9名）、9.2（11名）、10.7（11名）、11.4（11名）、12.2（8名）、1.6（9名）
- ◇サポートセンター事例検討会 R5.4.27（9名）、6.22（8名）、8.24（9名）、9.28（9名）、10.26（7名）11.30（6名）、12.21（7名）
- ◇豊田市高次脳機能障害のある人の家族の教室 R5.6.21（16名）、8.23（8名）、11.22（6名）2.28（10名）
- ◇岡崎市 友愛の家 家族の集い R5.6.29（14名）9.29（11名）、11.30（9名）3.29（9名）
- ◇ぬくもり福祉会主催 高次脳機能障害勉強会 第2回（R5.4.26 20名）、第3回（5.24 24名）
- ◇名古屋市 昭和区介護保険事業所研修会 9.14（19名）
- ◇名古屋市 天白区介護保険事業所研修会 10.24（20名）
- ◇豊田市 足助地区 高次脳機能障害を介護する家族の会 10.27（16名）
- ◇リハビリテーション講習会 R5.11.25（185名）
- ◇碧南市社協主催交流会 R6.2.27（28名）
- ◇LITALICO ワークス 高次脳機能障害勉強会 R6.3.6（11名）
- ◇なるほど！なっとく!!高次脳機能障害「好きなことがもつパワー」 配信期間：R6.2.1～2.29（385名）

<連携>

- ◇昨年、安城市内の福祉事業所より研修依頼があり、昨年度末から今年度5月にかけて3回研修を行いました

た。1回目は高次脳機能障害についての勉強会、2回目は障害症状に対する対応についての勉強会、3回目は事例に基づいた検討会を行い、高次脳機能障害者支援についての理解を深めていただけたと思います。今回の研修では安城市内の他事業所の支援員または相談員も参加し、3日間で総勢67名の参加となりました。

また、現在、医療機関及び就労移行事業所からの職員研修依頼もあり、実施に向けて調整中。

- ◇《ファミリークラブ》笑い太鼓名古屋事業所では毎月第1土曜日に当事者やご家族の方々が集まり、話ができる機会を設けております。最近では静岡・岐阜・三重など隣接県からの参加者もあり、同じ障害を持つご家族が日頃の悩みや不安を気兼ねなく相談できる貴重な交流の場となると同時に自然な形でピアサポートの役割も果たしています。また、来所が物理的に困難な当事者の方に対してはオンラインで参加できるように対応しています。

(2) 現在の取り組み

<令和5年4月～3月の活動報告>

◇ケース会議

困難事例について、他事業所、企業などから支援協力の依頼や相談があり、コーディネーターがアドバイザーとしてケース会議に参加しています。(143回)

◇家族交流会

各市町が主催している家族交流会に行政等から依頼を受けて参加しています。ピアカウンセリングまたは情報交換の場として家族が集まる交流会の意義や必要性は大きいと認識しているため、笑い太鼓の名古屋事業所で毎月開催されているファミリークラブにもアドバイザーとして参加し家族相談に応じています。

◇ネットワーク構築促進事業

ここ数年、西三河南部西圏域（安城、刈谷、知立、西尾、碧南、高浜）からの新規相談件数が伸びていました。そこで当該圏域の行政、急性期と回復期の医療機関、基幹相談支援センター、社協、就業・生活支援センターを訪問し令和5年度より取り組みを開始した本事業の説明と地域ネットワークへの協力を依頼いたしました。

医療機関を訪問の際には、患者が退院後にどのような経緯を経て福祉サービスなどに繋がり、その後どのような生活を送っているのかの事例がまとまった資料を持参しました。切れ目のない支援によって、高次脳機能障害者やそのご家族の希望する社会生活に近づく可能性が高まっているという現状をご説明したところ、多くのMSWの共感をいただきました。結果、令和5年4月から令和6年1月までに同地域の医療機関より23名の新規相談をいただきました。うち11名は東部支援センター笑い太鼓が障害福祉もしくは介護保険などといった地域サービスにつながるお手伝いをし、現在も継続した支援が実施されるよう注視しています。

またJA愛知厚生連 安城厚生病院 川上医師、小口医師が本事業内容に賛同くださり、令和6年2月2日『第1回 あいち高次脳支援ネットワークを考える会』を開催いたしました。今回は地域支援ネットワーク構築の足掛かりとなる重要な会と位置づけ、今後の定期開催を見据えて、基本的な内容を中心とした構成のプログラムにいたしました。各関係機関同士が《顔の見える関係づくり》を確立し、更に高次脳機能障害支援に力点をおいた地域ネットワーク構築の必要性を一緒に考えていただく機会づくりを目的としました。参加者は総勢50名以上となり、ご参加いただいた皆様からのアンケートで会全体を通しておおむね高い評価をいただいています。今後の開催については事例検討を要望する声が複数件ありました。

参加者

愛知県	講師	行政	病院関係 ※	職安	就業・生活 支援センター	基幹相談	福祉	名古屋リ ハ	笑い太鼓 関係者
1	1	5	19	3	4	5	1	2	9

※安城厚生病院関係含む

(3)今後の取り組み課題

各医療機関を訪問した際、社会人というバックグラウンドを持つ方が多い高次脳機能障害者とそのご家族が希望する社会生活に近づくためには「切れ目ない支援」が必要である、という事例について多くの方の共感を得、それにより例年より多くの相談をいただくことができました。

しかしながら実際に「切れ目ない支援」を実現するため障壁となっているのは主に下記の点です。

1. 高次脳機能障害の個別性の高さ
2. 困っていない本人への支援提供
3. 高次脳機能障害の診断書依頼や評価依頼の困難さ
4. 福祉サービス利用時の相談支援専門員を見つける困難さ
5. サービス提供事業所を始めとする本人を取り巻く環境の未整備（本人の利用継続を困難にしている）

そこで昨年までの活動とともに、今年度は各市内のネットワークを活用して特に相談支援事業所へのアプローチを強化します。またネットワーク構築促進事業では引き続き高次脳機能障害への対応を一緒に考えていくための事例検討を取り入れた内容等のプログラムを検討していく所存です。

以上

三重県 令和5年度実績（4月～3月）

支援拠点機関（電話）		三重県身体障害者総合福祉センター（059-231-0037）		
支援コーディネーター数		1.5人		
支援拠点機関相談数		来所 39件	訪問 191件	連絡等 269件
支援拠点機関連携数		来所 4件	訪問 50件	連絡等 658件
支援拠点機関活動実績		連絡会・圏域検討会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催・圏域協力	13回	1回	5回
	講師等協力	2回	4回	27回
その他活動	冊子、ウェブサイト、執筆ほか	・パンフレット「高次脳機能障害の理解のために」「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害の制度活用の手引き」、・チラシ「もしかしたら高次脳機能障害かもしれません」「高次脳機能障がいで、なあに？（小児用）」・「高次脳機能障害支援経過手帳」の普及、配布		

1 令和5年度の実績

<連絡会、圏域検討会>

- ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 R5.6.28、R6.2.16
- ・高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 R5.6.28、R6.2.16
- ・三重県高次脳機能障がい支援委員会 ①R5.8.4 ②R6.3.15
- ・鈴鹿亀山圏域高次脳機能障害事例検討会 R5.11.8
- ・津圏域高次脳機能障害事例検討会・相談会 R5.12.12
- ・東海ブロック連絡協議会 R6.1.26

<主催・共催による講習会・研修会>

研修会名	開催日	開催方法	参加者	内容
第37回地域支援セミナー	R6.2.1～ R6.2.29	オンライン配信 (申込者限定) 視聴回数 248回	視聴回数 248回	高次脳機能障害者の8050問題 ～親亡きあとについて考える～ 講師：神奈川リハビリテーション病院 総合相談室 室長 瀧澤 学 氏

<講習会協力>

- ・高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会 R5.10.14

<研修会・勉強会講師>

- ・三重産業保健センター産業保健研修会 講師 ①R5.9.22、②R6.2.19
- ・障害者職業センター障害者職業生活相談員資格認定講習 講師 ①R5.10.24、②R5.12.19
- ・鈴鹿亀山圏域事例検討会 講師 R5.11.8
- ・津圏域事例検討会・相談会 講師 R5.12.12

<関係機関への会議出席等>

- ・三重県障害者自立支援協議会 R5.10.19、R6.2.6

- ・津市を障害者雇用で輝かせる会議 R5.12.1
- ・三重県障がい者就業・生活支援事業連絡協議会 R6.2.9

<定期訪問>

- ・拠点病院（松阪中央総合病院、七栗記念病院、済生会明和病院、菰野厚生病院）
- ・県内の各圏域障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワーク等
- ・障害者相談支援センター（基幹相談、一般相談）

<相談支援、就労支援>

- ・高次脳機能障害の疑いのある相談者に対して拠点病院と連携を図り、診察や検査などを受けてもらえるよう迅速に対応している。
- ・基幹相談支援センターや障害者就労・生活支援センターと連携を図ることで生活面や就労についての関わりを強化している。
- ・今年度から津圏域では、基幹相談支援センターと共に事例検討会・相談会を新たに開催することで、地域の介護支援専門員や相談支援専門員などの支援力向上につなげることができた。

<拠点病院について>

- ・県内の人口の 47%を占める北勢地域について、今まで拠点病院として指定している病院がなかった令和 5 年 8 月より菰野厚生病院にも拠点病院として加わってもらい、北勢地域の医療体制の強化にも繋がった。

2 今後の課題

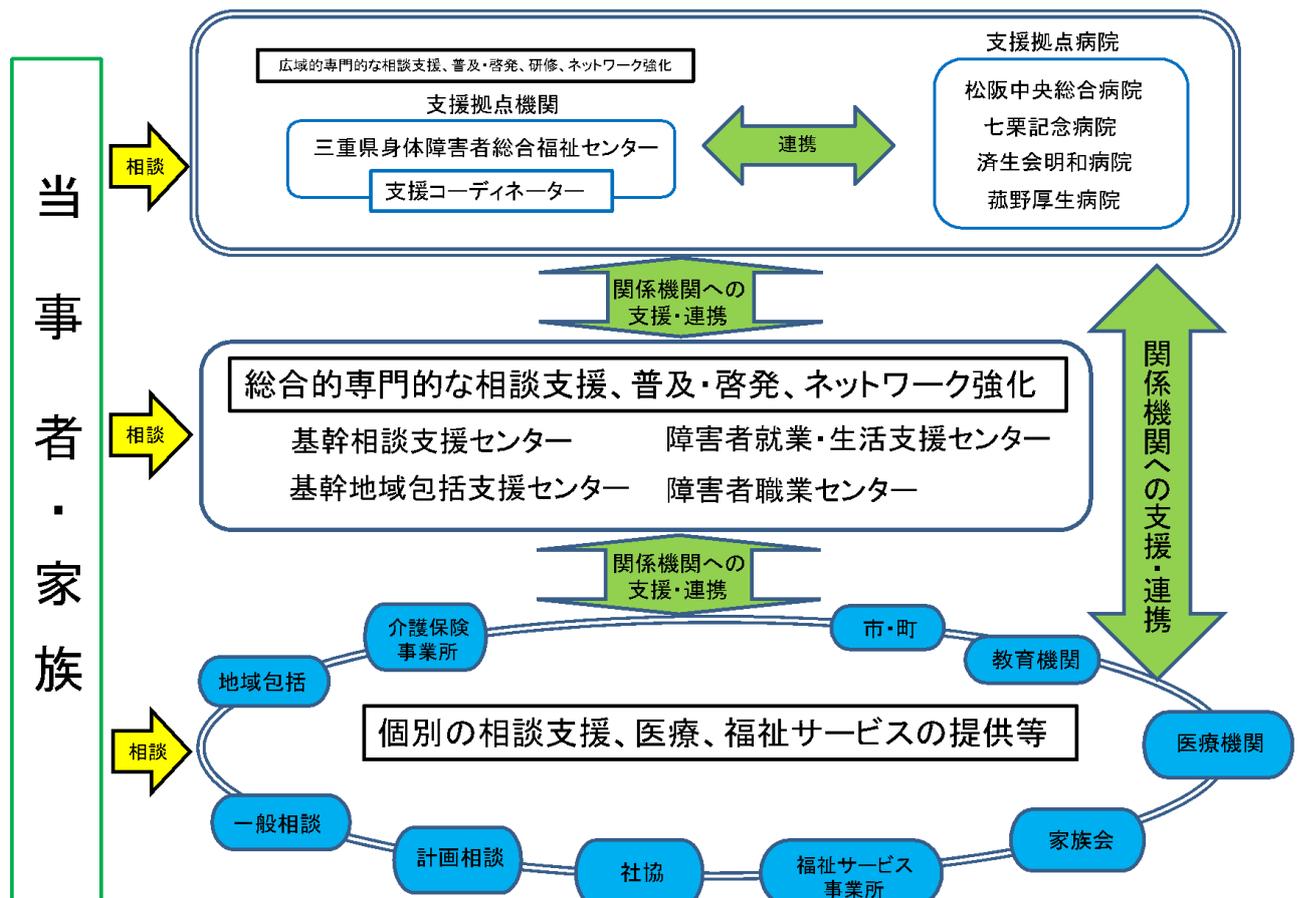
- ・支援コーディネーター1.5名で相談支援からイベント開催や研修会講師、普及啓発活動、その他の業務を行っていることから、個別ケースの対応に支障が出始めている。
- ・県民から「家族が脳血管障害になったとき拠点機関をもっと早く知っていれば就労などの支援をスムーズに受けることができたと思う」という声があったため、各圏域の関係機関や行政機関における拠点機関の認知度の向上を図る必要がある。
- ・コロナウイルスが第5類に分類されて以降、個別相談件数が増加傾向にあり、各圏域の関係機関などを訪問して普及・啓発活動ができていないのが現状であるため、拠点機関について広く県民の皆様に周知する方法を考える必要がある。
- ・若年で脳血管疾患等により介護保険第2号被保険者となった方の就労支援を行うにあたっては介護保険制度の活用も重要になるため、介護支援専門員との連携を図る必要がある。
- ・行動障がいのある対象者については、福祉サービスの利用に繋がるだけではトラブルが解消しないケースもあるため、医療との連携も強化して支援に取り組む必要がある。
- ・相談件数が少ない南勢地域に対しての普及・啓発活動の取り組み方を考える必要がある。
- ・支援コーディネーターが少ないため、各圏域の基幹相談支援センターや障害者就業・生

活支援センター、地域包括支援センターなどと連携強化を図ることで、各地域での相談支援体制を強化する。それに伴い、各圏域で事例検討会や相談会等も開催できるよう協力依頼する。

3 令和5年度特に力を入れたこと

- ・県内の各圏域の支援力向上を目的に、基幹相談支援センターと共同で研修会を開催した。
(鈴鹿亀山圏域の他に、津圏域の基幹相談支援センターとも共同開催)
- ・多様な職種への啓発活動。(今年度より三重産業保健センター主催の研修会にて講師を務める)
- ・基幹相談支援センターや障害者就労・生活支援センターとの連携強化。
- ・拠点病院の追加(令和5年8月より菰野厚生病院も加わる)
- ・成年後見制度の活用の推奨。
- ・復職支援に関する会議への積極的な参加。

三重県における高次脳機能障害の相談支援体制 2023.8.4



北陸ブロックでは、富山県、石川県、福井県の3県に設置された地方支援拠点機関および地方自治体との北陸ブロック連絡協議会を開催し、各県の高次脳機能障害支援普及事業の円滑なる実施を図った。

A. 北陸ブロック連絡協議会の目的

北陸3県における高次脳機能障害者への専門的な相談支援のあり方、関係機関との連携のあり方などの支援ネットワークの構築を議論するとともにそれらの実行にあたっての円滑な運用を行うことを目的に活動を行う。

B. 北陸ブロックの活動内容

1. 令和5年度北陸ブロック連絡協議会の開催

日程：令和5年8月5日(土) 13:30~16:00 形式：集合+オンライン開催 (福井県主催)

出席者：国立障害者リハビリテーションセンター1名、各県行政機関3名、各県支援センター18名
計22名

内容：1) 令和5年度第1回全国連絡協議会の報告

2) 北陸3県 相談実績報告

令和3年度ブロック会議にて定めた3県共通項目に沿って昨年度実績報告を行った。

3) 各県の現状報告

令和4年度の事業報告と令和5年度の活動計画、予定について意見交換を行った。

4) 各県報告「ピアサポート養成事業、地域支援ネットワーク構築促進事業について」

各県のピアサポート養成事業について報告及び意見交換を行った。地域支援ネットワーク構築促進事業については、3県ともに他県の取り組みを参考にし内容は今後検討予定。

2. 令和5年度高次脳機能障害者支援事業の実績

別表

C. 各県における活動のまとめ

令和5年度の各県活動の特徴と課題について考察する。

1. 富山県

1) 県内に存在すると思われる“潜在的な高次脳機能障害児”（高次脳機能障害と診断・支援されないまま悩んでいる児）の掘り起こしのために「こどもの高次脳機能障害の理解と支援」「復学支援」をテーマに講演会を開催し、普及啓発を行った。

2) 県内の高次脳機能障害領域のピアサポーター・ファシリテーターの意識づけと育成を行うため、「障害者ピアサポート研修」へ当事者の参加を促した。また、ピアサポーター・ファシリテーターが活躍できる場を増やすため、関係機関への宣伝や高次脳機能障害支援センターへの依頼講演にピアサポーターの語りを含む等、積極的に行った。

3) 社会的行動障害における明確な指標や評価方法を導入・確立するため、症例数は増えつつあるが、まだまだ症例数を増やす必要がある。

2. 石川県

1) 地域実態の把握について

県内の高次脳機能障害者の実数及び生活状況等を把握するため、実態調査を実施した。

2) 地域の支援体制の構築について

協力医療機関の確保・明確化に取り組むため、医療機関へ実態調査を実施した。

また、例年基本的知識の習得及び実践力向上を目的とした支援者への研修会を継続開催しており、昨年度も基礎編として介護支援専門員や相談支援専門員などを対象に研修を行った。

※リハ専門職向けの技術研修については、令和6年能登半島地震のため中止

3) ピアサポーターについて

令和5年度より新たに実施された石川県障害者ピアサポート研修の企画会議に参加した。また、当事者に研修の講師として協力してもらい、ピアサポート活動の現状について報告してもらった。

当センターで実施した研修会においても、当事者に話をしてもらう機会を設けた。事後アンケートでも「当事者の話を聞いてよかった」との声が多くあり、見えない障害である高次脳機能障害の実態を参加者に伝えることができた。

3. 福井県

1) 支援の均霑化・質の向上

支援の均霑化には「支援・リハに必要な情報への気づきを促す」「多職種同士の繋ぎ合わせをイメージしてもらう」ための多職種事例検討会の実施が有用である。R5年度は集合形式による多職種事例検討会を再開し、地域ネットワーク体制構築の一躍を担った。

また、拠点機関内における「支援の質の向上」を図るべく、入院・外来部門のそれぞれに高次脳支援キーパーソンを設置し、人材育成₈₀入院~外来までの一貫した連携、高次脳支援コーデ

ネーター業務の効率化・分散化の継続を図った。「学術性の質の向上」は福井神経心理臨床研究会を継続し、県内の高次脳機能障害や神経心理学に対する学術性・専門性の向上を図った

2) 医療リハビリの充実

R5 年度より復職・就労を目的とした集団リハビリテーションを再開した。高次脳機能障害の症状や対応方法などの講義、課題を通じたグループワークを行い、自己理解の向上や社会的コミュニケーション能力などの向上を図った。

また、福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会では、県内の脳損傷者における自動車運転再開支援の現状についてシンポジウムを行い、自動車運転評価の流れや評価内容などを議論し、医療機関同士の連携構築に努めた。

3) 家族会支援

R5 年度より従来通りの家族会活動に戻った。例会や様々なイベントに参加したり、医療機関から家族会への参加促しなど、後方支援を実施した。

2. 令和 5 年度高次脳機能障害者支援事業の実績

県名	富山県	石川県	福井県
支援拠点 機関名	富山県高次脳機能障害支援センター - (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内) TEL076-438-2233 平成 19 年 1 月 15 日開設	石川県高次脳機能障害相談・支援センター (石川県リハビリテーションセンター内) TEL076-266-2188 平成 19 年 4 月 15 日開設	福井県高次脳機能障害支援センター -福井総合クリニック内) TEL0776-21-1300 平成 20 年 5 月 15 日開設
支援コネクター(職種)	医師、看護師、社会福祉士、公認心理師、作業療法士、言語聴覚士	医師、保健師、作業療法士、理学療法士、看護師	言語聴覚士、作業療法士、公認心理師
当事者・ 家族からの 直接相談 (延べ件数)	電話：488 件 来院/来所：372 件 メール・書簡：187 件 その他(訪問・出張・同行等)：14 件 合計 1061 件	電話：330 件 来院/来所：309 件 メール・書簡：128 件 その他(訪問・出張・同行等)：70 件 合計 837 件	電話：338 件 来院/来所：642 件 メール・書簡：100 件 その他(訪問・出張・同行等)：99 件 合計 1179 件
機関・施設等からの 間接相談 (延べ件数)	電話：208 件 来院/来所：18 件 メール・書簡：64 件 支援パス：25 件 その他(訪問・出張・同行等)：11 件 合計 326 件	電話：334 件 来院/来所：19 件 メール・書簡：21 件 その他(訪問・出張・同行等)：17 件 合計：391 件	電話：811 件 来院/来所：102 件 メール・書簡：114 件 その他(訪問・出張・同行等)：20 件 合計：1047 件
主催した 会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室 (5 回) 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ 38 名 ・こどもの家族グループ (希望者が集まらず、実施なし) ・キッズプログラム (希望者が集まらず、実施なし) ・ピアカウンセリング (5 回) 対象者：当事者・家族 参加人数：延べ 6 名 ・支援計画策定会議 (ケース会議 46 回/週 1 回) 対象者：支援センター構成員 参加者人数：実 16 名 ・小児の支援計画策定会議 (ケース会議 8 回/月 1 回) 対象者：支援センター構成員 参加者人数：実 9 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者・家族向け講座 (4 回) 対象者：当事者、家族、支援関係者 参加人数：延べ 76 名 ・生活支援教室 (週 1 回 延べ 48 回) 対象者：当事者 参加人数：延べ 220 名 (実 12 名) ・支援担当者研修会 (2 回) 対象者：支援関係者 参加人数：延べ 72 名 * オンライン開催 ・石川県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 (1 回) 対象者：一般、当事者・家族、支援者等 視聴回数：136 回 参加人数：90 名 * オンデマンド配信 ・ケース会議 (15 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害勉強会(7 回) 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：延べ 82 名 * Zoom オンライン開催 ・高次脳機能障害支援センター運営会議(6 回) 対象者：運営委員 参加人数：延べ 99 名 * オンライン Zoom にて開催 ・ケース会議(54 回) 対象者：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：延べ 303 名 ・福井県神経疾患セミナー(1 回) 対象者：関係者 参加人数：68 名 * Zoom オンライン開催 ・高次脳機能障害に対する多職

	<ul style="list-style-type: none"> ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会 対象者：一般 参加人数 計：105名（オンライン；54名、集合；51名） ・2023年度 高次脳機能障害専門研修会 対象者：関係機関職員 参加人数：32名 ・2023年度 高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員 参加人数：39名 ・北陸ブロック連絡協議会（年1回） 対象者：北陸三県高次脳機能障害支援事業関係者職員、行政担当者、助言者 参加人数：22名(Zoom オンライン実施) ・運営会議 参加者：運営委員 21名 	<p>対象者：医療・福祉等の支援関係者、センター職員 参加人数：延べ 137名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援担当者連絡会(2回) 対象者：医療機関、支援関係者 参加人数：延べ 72名 * オンライン開催 ・パソコン・タブレット教室(1回) 参加人数：1名 	<p>種事例検討会（3圏域で開催） 対象者：関係者 参加人数：延べ 26名</p>
<p>協力・出席した会合</p>	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」ピア・サポート研修会「ピア・サポーターの基礎—家族の物語を聴く(1)—」「家族の物語をもとに語らう—退院後の生活、本人への思い—」「家族の物語をもとに語らう(続)～高次脳機能障害ピア・サポートの最前線」(オンラインにて) ・令和5年度富山県看護教育振興会講演会「高次脳機能障害と共に」「高次脳とは」「親の思い」「当事者の思い」 ・脳卒中センター高次脳機能障害の就労支援・就学支援に係る講演会「富山県の高次脳機能障害のある方への支援～包括的な支援を目指して～」 ・令和5年度心の健康ボランティア講座(第3回)「当事者の語り」 ・令和5年度富山県障害者ピ 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉担当者研修会 <p>その他会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議 ・令和5年度北陸ブロック連絡協議会 ・令和5年度精神保健福祉担当者連絡会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 17回 	<p>講師協力した会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県言語聴覚士会令和5年度新人教育研修「高次脳機能障害の診かたと考え方」 ・令和5年度福井県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会「失語症とは」「コミュニケーション支援技法・実習Ⅰ」 ・福井市障がい者基幹相談支援センター【人材育成研修】「高次脳機能障害支援について」 ・第7回日本安全運転医療学会学術集会「運転とパーソナリティ」 ・精神保健福祉連絡会研修会「高次脳機能障害の支援について」 ・トゥモローズリハビリテーショングループ研修会「高次脳機能障害支援センターの役割・連携連携方法」

	<p>アサポート研修【基礎研修】</p> <p>その他研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議(Zoom オンラインにて参加) ・令和5年度第1回富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・令和5年度第2回富山圏域就労支援ネットワーク会議 ・令和5年度第1回高岡圏域就労支援ネットワーク会議 ・令和5年度第1回高次脳支援研修会 「交通事故、労災事故後の補償について」 ・リハビリテーション心理職会研修会 「発症から3年以上経過した支援困難な高次脳機能障害」 ・リハビリテーション心理職会 事例検討会 「高次脳機能障害者支援について」 ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会～市民公開講座～ ・兵庫県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・第66回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 ・リハビリテーション心理職会 運営委員会 ・自主シンポジウムリバイバル研修 ・リハビリテーション心理職症例検討会 ・令和5年度第2回高次脳機能障がい支援研修会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数7回 		<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 支援者向けスキルアップ研修会 「WAIS-IV(ウェクスラー成人知能検査)のみかた、解釈」 <p>その他研修・会合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・福井県神経疾患セミナー ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・令和5年度北陸ブロック連絡調整会議 ・令和5年度福井障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和5年度嶺南障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和5年度福井市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 <p>ケース会議への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼で56回参加 参加人数：延べ316名
--	---	--	---

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、リーフレット、漫画冊子、ガイドブックの配布 ・ホームページの掲載 ・その他機関からの掲載等の依頼に協力 ・書籍の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（1回） 対象者：一般、支援者等 参加人数：11名 ・ホームページ掲載 ・リーフレットの作成・配布 ・センターニュース発行 ・書籍・DVDの貸出 ・神経心理検査用具レンタル 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリストの配布、使用 ・パンフレット、リーフレット配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル
<p>調査・情報収集活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の自動車運転に関する研究の継続 ・PCRSによる病識評価の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害実態調査 ・医療機関実態調査 	
<p>診断評価・リハビリテーション等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにて診断評価実施 ・働くためのグループ訓練（心理療法、月3回）実5名 ・いきいき生活グループ訓練（作業療法、月2回）実3名 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価を石川県リハビリテーションセンターにて実施 18件 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・情動・モラル、視覚認知・視空間認知に対する評価バッテリーの運用 ・復職・就労を目的とした集団リハビリテーション（14：00～16：00、毎週） 1クール：6ヶ月 実人数：4名
<p>その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者会 6月、9月、12月、3月実施 計61名（脳外傷友の会高志主催、企画・運営協力） 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会活動支援（定例会、講習会開催に係る協力、普及啓発等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害友の会「福笑井」（福井県高次脳機能障害者と家族の会）運営協力 当事者・家族が中心となり定期開催
<p>その他（学会発表等）</p>	<p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本社会学理論学会第18回大会シンポジウム「〈臨んで聴く〉から始まる対話—一生（ライフ）の現場と社会学理論（2）」 		<p>【論文・書籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井医療科学雑誌（Vol.19, p24-29） 道徳観の違いによって道徳的判断課題中の脳活動は異なるのか—近赤外分光法を用いた予備的研究— ・法医看護学（南山堂 p.41-46）「高齢者の生理学」 ・Journal of Clinical Rehabilitation(Vol.32, 1172-1174) 高次脳機能障害者に対するリハビリテーション活動の地域差 <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第47回日本高次脳機能障害学会学術総会 「視覚性注意障害患者の視覚探索—単一症例からの仮説—」 ・第7回日本安全運転医療学会学術集会 「高齢ドライバーの運転動画視聴時における注視特性」 <p><シンポジウム></p>

			<ul style="list-style-type: none">・「地域と運転～地域特性を考慮した安全運転へのアプローチ～」・「脳損傷により記憶障害をきたす2 症例の運転評価および運転再開状況について」
--	--	--	--

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業
令和6年度 北陸ブロック各県の活動予定と概要

1. 富山県

今年度の重点的な取り組みは以下の通りである。

1. 小児の高次脳機能障害支援における支援機関との連携体制作り（継続）

コロナ禍に入り、県内の急性期医療機関からの紹介数が減少し、教育機関との連携の機会も少なくなった。小児期高次脳機能障害支援として行っていた「こども家族グループ」や「キッズプログラム」も開催できず、停滞した状態が続いている。今年度は改めて小児期発症の高次脳機能障害児・者の早期発見、早期支援に繋がるよう普及啓発を行うこと、併せて繋がった当事者家族への支援プログラムの活性化に取り組みたい。

2. ピアサポート事業の継続と体制の強化（継続）

県内の高次脳機能障害領域のピアサポーター・ファシリテーターの育成を図りつつ、ピアサポーター・ファシリテーターが活躍できる場の発掘を引き続き、行っていく。また、ピアサポートの得られる効果の種類や測定方法についても検討していきたい。

3. 社会的行動障害に関する評価方法の検討（継続）

昨年度に引き続き、社会的行動障害における明確な指標や評価方法を導入、確立していくため、症例数を増やし検討していく。

2. 石川県

1. 地域の支援体制の構築について

高次脳機能障害者に対する早期からの適切で切れ目のない支援体制構築を目的に、当センターで整備している「高次脳機能障害に対応できる医療機関一覧」を更新し、協力医療機関の確保・明確化に取り組む。併せて、関係機関との地域支援ネットワークの構築及び充実を図る。

また、地域で相談・支援を実施できる人材の育成のため研修会を実施し、地域の支援者の技術の習得を目指す。

2. ピアサポーターについて

当県には、高次脳機能障害の当事者のピアサポーターが少なく、また活躍の場も少ないことが課題となっている。当事者・家族の会と連携しピアサポーターの養成に取り組むとともに、当センター事業にピアサポーターとして協力を依頼するなど活躍の場を開拓していく。

3. 普及啓発

広く県民に高次脳機能障害への理解を深めてもらうため出前講座を実施しているが、申し込みが少ない状況である。そのため、県立図書館でのチラシ設置、ほっとあんしんの家の見学団体への案内等、積極的な周知を図る。

3. 福井県

1. 当事者・家族の支援に向けて

入院～退院後において家族会の存在を知らず、生活の困り事や悩みをどこに相談したらよいか分からないという当事者・家族が多い。そのような方を対象に座談形式で話し合い、共感・安心できる場所作りとして「福つなぎ」を新たに開催する。福つなぎでできたコミュニティーを、当事者・家族会「福笑井」へとつなぎ合わせ、家族会活動を継続させていきたい。

また、2025年10月には日本高次脳機能障害友の会全国大会を福井で開催する予定である。家族会と協力し、企画・運営を行い、全国大会開催に向けた準備を進めたい。

2. 支援の均等化・質の向上に向けて

引き続き「多職種事例検討会」を各圏域で開催し、地域支援ネットワーク体制構築を目指す。また、拠点機関内での高次脳支援キーパーソンの意義を確立し、入院から外来までの一貫した支援体制をより強固なものとし、支援の質の向上・人材育成に努める。

3. 医療リハビリの充実

復職・就労を目的とした集団リハビリテーションを継続し、自己理解の向上、社会的コミュニケーション能力などの向上を図る。また、県内の自動車運転再開支援に向けた均等化を目的に、公安委員会や警察、自動車学校などの関連職種を交えた連絡協議会(仮)の設立を目指す。

県名	富山県	石川県	福井県
支援拠点機関名	富山県高次脳機能障害支援センター (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内) TEL076-438-2233 平成19年1月15日開設	石川県高次脳機能障害相談・支援センター (石川県リハビリテーションセンター内) TEL076-266-2188 平成19年4月15日開設	福井県高次脳機能障害支援センター (福井総合クリニック内) TEL0776-21-1300 平成20年5月15日開設
支援コーディネーター(職種)	医師(リハ科・脳神経内科・脳神経外科・小児神経科・児童精神科)、看護師、社会福祉士、	医師、保健師、作業療法士、理学療法士、看護師 86	言語聴覚士、作業療法士

	公認心理師、作業療法士、言語聴覚士、生活支援員		【北陸ブロック】
主催会 合予定	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（年6回） ・こども家族グループ(年1回) ・キッズプログラム(年1回) ・ピアカウンセリング(月1回) ・支援計画策定会議（週1回） ・小児支援計画策定会議（月1回） ・高次脳機能障害支援センター運営会議（年1回） ・高次脳機能障害就労・生活支援ネットワーク会議(年1回) ・相談支援体制連携調整会議（年1回） ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会（年1回） ・富山高次脳機能障害専門研修会（年1回） ・令和6年度北陸ブロック連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（年4回） ・生活支援教室（週1回） ・就労に関するつどい 教えて先輩（年2回） ・支援者研修（年2回） ・支援計画会議（月2回） ・支援関係者連絡会（年3回） ・令和6年度北陸ブロック連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県神経疾患セミナー（年1回） ・高次脳機能障害教室（一般の方向け） ⇒R6年度～現地開催へ ・高次脳機能障害勉強会（1回/2週） ・多職種事例検討会（3回/年） ・福井神経心理臨床研究会（3回/年） ・高次脳機能障害支援センター運営会議（1回/2ヶ月） ・相談支援体制連携調整会議（1回/年）
協力・ 出席会合 予定	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会、高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・日本脳外傷友の会全国大会、高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 ・キッズネットワーク宿泊イベント開催協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議 ・令和6年度精神保健福祉事業担当者連絡会 ・就労支援連絡会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会、高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・日本高次脳機能障害友の会全国大会、高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 ・令和6年度北陸ブロック連絡調整会議 ・令和6年度福井障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和6年度嶺南障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和6年度福井市障害者地域自立支援協議会就労支援部会
北陸ブ ロック連 絡協 議会	県担当者、支援センター出席予定	県担当者、支援センター出席予定	県担当者、支援センター出席予定
広報・ 啓発活動 予定	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、パンフレット、ポスター、ガイドブック等の作成、改訂、配布等 ・書籍、DVDの貸出等 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・ホームページ掲載 ・リーフレット配布 ・センターニュース発行 ・書籍・DVD貸出 ・認知機能検査用具貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新 ・高次脳機能障害チェックリスト配布、使用 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル ・リーフレット改訂・配布
調査・ 情報収集 活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価に関する研究の継続 ・高次脳機能障害者の自己認識(PCRS)に関する研究の継続 		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害患者数実態調査

<p>診断・評価・リハビリテーション、その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県リハビリテーション病院こども支援センターにて診断評価、外来リハビリ実施 ・いきいき生活グループ訓練（作業療法 月2回）、働くためのグループ訓練（心理療法 月3回） ・生活版ジョブコーチ事業の継続 ・PCRS、生活健忘チェックリストによる病識評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議 ・家族会支援 ・自動車運転能力評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックでの評価・リハビリテーション －医療リハ…特異な症状に対する評価パッケージの運用 －生活リハ…生活リハアプリ、気づきに合わせた生活指導プログラム作成・運用 －集団リハ…1回/週実施（復職・就労目的、） －職業リハ…MWS を活用した職業評価、職業リハの標準化 －自動車運転…自動車運転再開に向けた均霈化、連絡協議会の設立 ・支援の均霈化（各地域単位で支援できる体制作り） －多職種事例検討会の実施（3圏域） ・福井県高次脳機能障害友の会「福笑井」運営協力 ・日本高次脳機能障害友の会全国大会 in 福井 2025 の企画・準備 ・当事者・家族支援「福つなぎ」の運営
<p>今年度の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の高次脳機能障害支援における支援体制の見直し <ul style="list-style-type: none"> －コロナ禍における紹介や連携数の減少、イベント等の停滞 2. 高次脳ピアサポーター養成のシステムがない <ul style="list-style-type: none"> －高次脳ピアサポーター・ファシリテーターが少ない、活躍の場が少ない、継続していく不安がある、ピアサポートの効果が不透明 3. 社会的行動障害を測定する評価が明確にない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> →当県には特定の協力医療機関がない。高次脳機能障害の特性に応じた支援サービスの提供を行う協力医療機関を確保・明確化する必要がある →地域支援ネットワーク構築促進事業に基づき関係機関とのネットワークを構築する必要がある。 2. ピアサポーター <ul style="list-style-type: none"> →当事者のピアサポーターが少なく、活躍の場も少ない。 3. 普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> →一般県民向け出前講座の申し込みが少ないため、周知方法を検討する必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県内支援体制見直し・強化 <ul style="list-style-type: none"> －退院後、医療的なフォローアップがないままの方がいる －支援拠点機関内の支援スキルを担保する 2. 協力医療機関が少ない <ul style="list-style-type: none"> －診断・評価・外来リハビリの実施、またそれらにもとづき各種診断書を記載できる医療機関が少ない －中核医療機関への負担が大きい －自動車運転再開に向けて対応できる医療機関が限定。また、評価内容なども様々 3. 地域の実態把握について <ul style="list-style-type: none"> －患者数や地域での支援体制について、現状を把握する必要がある 4. 家族会会員数減少、高齢化 <ul style="list-style-type: none"> －就労年齢、就学年齢の方が少ない －社会的行動障害が強い当事者家族の方の相談窓口がない

<p>今年度の 取り組み 方針</p>	<p>1. 小児の高次脳機能障害支援体制の充実（継続） ・高次脳機能障害児への早期支援介入のため、啓発活動 ・イベント等の支援体制の見直し</p> <p>2. ピアサポート事業の強化（継続） －ピアサポーター養成の継続と活躍の場を広げる</p> <p>3. 社会的行動障害に関する評価方法の検討（継続）</p>	<p>1. 地域の支援体制の構築 －「高次脳機能障害に対応できる医療機関一覧」の更新 －関係機関とのネットワーク構築 －地域の支援者向けの研修の実施</p> <p>2. ピアサポーター －ピアサポーターの養成（県が実施する研修会への協力） －当センター事業にピアサポーターとして協力を依頼</p> <p>3. 普及啓発 －出前講座の実施 －県立図書館でのチラシ設置、ほっとあんしんの家見学団体への案内等で積極的な周知を図る</p>	<p>1. 支援の均霑化、質の向上 －「多職種事例検討会」の開催 －高次脳支援キーパーソンを確立し、支援拠点機関内の支援体制をより強固に －福井神経心理臨床研究会にて学術性・専門性の向上を図る</p> <p>2. 特異な高次脳機能障害について －評価パッケージを運用し、適宜ブラッシュアップを行う</p> <p>3. 家族会活動について －例会や行事に参加し、家族会活動を支援</p> <p>4. 休止中の事業再開に向けて －集団リハ、キッズ・ヤンググループの再開を行う</p>
-----------------------------	---	---	---

【滋賀県】令和5年度 事業実績

【近畿ブロック】

拠点支援機関	滋賀県高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター	精神保健福祉士・公認心理師 常勤専任
	臨床心理士・公認心理師 常勤専任
	相談支援員 非正規専任（週5日）

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	1035	電話	1302
	来院/来所	199	来院/来所	69
	メール/書簡	439	メール/書簡	336
	訪問/同行等	535	訪問/同行等	392

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	高次脳機能障害支援体制ネットワーク構築（圏域ネットワーク事業）の継続。3圏域（甲賀、大津、湖東）は、主となって事業展開する圏域の後方支援、残り4圏域（東近江、湖北、湖西、湖南）については、センターが主体となって事業を推進した。
		高次脳機能障害専門相談支援員との連携
		県立リハビリテーションセンターとの連携（講師派遣、ネットワーク会議）
		滋賀県立むれやま荘との連携（事例検討会・家族交流会）
	普及啓発	高次脳機能障害公開研修会（県内全域対象）WEB開催 「長期的な支援の必要な高次脳機能障害について～地域生活に必要なケアやサービスとは～、～脱抑制の症状を掘り下げる～ 講師：船山 道隆 氏（足利赤十字病院 神経精神科）
		高次脳機能障害支援専門研修（初任者）（フォローアップ研修）の実施
		支援ガイドブック作成（関係機関に掲載の可否の確認）

研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ○高次脳機能障害公開研修会（県内全域対象） ○高次脳機能障害専門相談支援員養成研修（初任者）およびフォローアップ研修 ○圏域単位での研修会の企画立案・開催 【甲賀圏域】・失語症のある高次脳機能障害のケースを通じて学ぶ ・同じことを聞いてくる、やったことを忘れるなど記憶にまつわる対応 【大津圏域】・地域で高次脳機能障害の方の暮らしを支えるとは ～当事者の声、家族の声～ 【湖東圏域】・高次脳機能障害と認知症の違い
--------------------	---

その他主な取り組み	高次脳機能障害支援専門チームを設置し定例会議の開催、アウトリーチ事業実施
	厚生労働科学研究（深津班）への協力
	SSTの実施

令和5年度特に力をいれたこと	<ul style="list-style-type: none"> ○三次機関としての機能の強化 ・圏域ネットワーク事業（圏域単位の高次脳機能障害勉強会の開催、医療・福祉・介護連携のネットワークの構築）の継続。特に新規展開の圏域（湖南圏域）における医療機関への「地域移行支援に関する医療機関調査」アンケート実施、医療と行政機関との意見交換会の開催 ○支援ガイドブック作成
----------------	---

今後の課題	高次脳機能障害専門相談支援員との連携とさらにスキルアップを目指した人材育成 高次脳機能障害圏域支援体制整備事業の全圏域での継続した展開 →支援ガイドブックを活用した高次脳機能障害支援の広がり
-------	---

拠点支援機関	滋賀県高次脳機能障害支援センター	
支援コーディネーター	精神保健福祉士・公認心理師 常勤専任	
	看護師 常勤専任	
	社会福祉士 非正規専任（週5日）	
相談支援事業等 （実施要綱第3-1）	○高次脳機能障害者（児）等や家族、または行政や支援者等からの専門相談を行う。 相談内容に対して必要な調整を図り、関係機関と連携して対応する。	
普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	高次脳機能障害支援体制ネットワーク構築（圏域ネットワーク事業）の継続→3 圏域（東近江、湖北、湖南） 主となって事業展開する圏域の後方支援→4 圏域（甲賀、大津、湖東、湖西）
		高次脳機能障害専門相談支援員との連携
		滋賀県立むれやま荘との連携（家族会・事例検討等）
		滋賀県立リハビリテーションセンターとの連携 （普及啓発研修会、ネットワーク構築）
	普及啓発	高次脳機能障害支援養成研修（基礎研修）（実践研修）の実施
		支援ガイドブックの配布と啓発 掲載の承諾を得た医療機関、 各圏域ネットワーク会議委員へガイドブックの狙いを伝えながら配布 その他高次脳機能障害にかかわる支援者に配布
研修事業 （実施要綱第3-3）	高次脳機能障害専門相談支援員養成研修基礎研修・実務研修（2回実施予定） 圏域単位での研修会の企画立案・開催	
その他 取り組み	高次脳機能障害支援専門チームを設置し定例会議の開催、アウトリーチ事業実施 委員に加えて協力委員を設置し、さらにアウトリーチ支援を強化する	
令和6年度 主に取り組む 事業	○人材育成：高次脳機能障害支援養成研修（基礎・実践）の開催 ○高次脳機能障害圏域支援体制整備事業の全圏域での継続した展開 ・圏域単位の高次脳機能障害勉強会の開催、医療・福祉・介護連携のネットワーク会 議の継続、支援ガイドブックを活用した高次脳機能障害支援 ○専門チーム事業強化：圏域の支援者からアウトリーチができる体制を目指す	

【京都府】令和5年度 事業実績

【近畿ブロック】

拠点支援機関	京都府リハビリテーション支援センター (京都府北部リハビリテーション支援センター)
支援コーディネーター	リハビリテーション支援センター 公認心理師/臨床心理士 常勤専任 公認心理師/臨床心理士 非常勤専任 (週 28 時間)
	北部リハビリテーション支援センター 保健師 非常勤専任 (週 28 時間)

相談支援事業等 (実施要綱第 3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	290	電話	415
	来院/来所	74	来院/来所	3
	メール/書簡	52	メール/書簡	47
	訪問/同行等	138	訪問/同行等	20

普及啓発事業 (実施要綱第 3-2)	連携	ネットワーク会議・事例検討会 (北部地域の就労・復職支援体制の強化を目的としたもの)
		高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議(府市共催)
	普及啓発	啓発漫画増刷(1,000部)

研修事業 (実施要綱第 3-3)	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者等研修会(令和5年8月19日実施) 自動車運転再開支援をテーマに新潟県の取り組みを紹介し、京都府の現状から一歩進むために何が出来るかを考える研修を実施 精神障害者保健福祉手帳の診断書作成セミナー(令和6年1月26日実施) 医療と福祉をつなげていくための取組として、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科等の医師向けに、精神障害者保健福祉手帳の診断書を作成する際のポイントをレクチャーするセミナーを実施
---------------------	--

その他主な取り組み	京都府内における自動車運転再開支援の体制づくりのためのミーティング
	高次脳機能障害者グループワーク (4月~8月/10月~2月...全15回のプログラム)
	循環器病対策に係る両立支援コーディネーターとの情報交換会の開催
	京都労働局への研修協力

令和5年度特に力をいれたこと	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉総合センターとの連携強化 自動車運転再開支援の体制づくりのための京都府作業療法士会、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室との情報交換、協議
----------------	---

今後の課題	自動車運転再開支援における連携体制の構築 北部地域における生活期移行のためのシステムを構築
-------	--

拠点支援機関	京都府リハビリテーション支援センター (京都府北部リハビリテーション支援センター)	
支援コーディネーター	リハビリテーション支援センター 公認心理師/臨床心理士 常勤専任 公認心理師/臨床心理士 非常勤専任 (週 28 時間)	
	北部リハビリテーション支援センター	保健師 非常勤専任 (週 28 時間)
相談支援事業等 (実施要綱第 3-1)	支援コーディネーターによる、電話・来所等による専門支援を行う。	
普及啓発事業 (実施要綱第 3-2)	連携	ネットワーク会議・事例検討会
		高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議(府市共催)
		府内行政機関への支援体制調査
	府内家族会との情報交換会	
普及啓発	ホームページ、パンフレット、リーフレット改訂	
研修事業 (実施要綱第 3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度京都府高次脳機能障害支援養成研修(令和6年7月~11月) オンデマンド/対面方式にて実施予定 ・医療関係者等研修会(令和6年11月16日開催予定) 自動車運転再開支援をテーマに和歌山県の取り組みから京都府下での支援体制を考える。 ・精神障害者保健福祉手帳の診断書作成セミナー 脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科の医師向けに、精神障害者保健福祉手帳の診断書を作成する際のポイントをレクチャーするセミナーを実施 	
その他 取り組み	自動車運転再開支援のための勉強会(京都府作業療法士会と協力して開催)	
	高次脳機能障害者グループワーク (通年実施:利用者がその症状に合わせて必要な科目を受講する方式へ変更)	
令和6度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府内における運転再開支援の体制づくり ・北部地域の就労・復職支援体制の形成を目的とした会議(ネットワーク会議と合わせて実施) ・京都府立心身障害者福祉センターとの連携強化、事例検討会実施 ・北部地域の生活期移行のための体制づくり ・コロナ禍で中断していた家族会等への支援(あり方の検討を含む) ・高次脳機能障害支援養成研修の令和6年度の開催に向けた準備・調整(研修を一過性のものにせず、受講事業所等との連携体制づくりをどう進めるかも今後検討) 	

【京都市】

令和5年度 活動実績

拠点支援機関	京都市高次脳機能障害者支援センター (京都市地域リハビリテーション推進センター高次脳機能障害支援課内)
支援コーディネーター	保健師1名、看護師2名、心理判定員1名、作業療法士1名 (常勤専任)

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	755	電話	822
来院/来所	465	来院/来所	27	
メール/書簡	90	メール/書簡	115	
訪問/同行等	94	訪問/同行等	10	

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	・高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議 (府市共催):参加者数66名(32機関)
		・出張型研修等による各機関や地域支援者との連携強化
	普及啓発	・入門講座(当事者、家族、支援者、市民等対象/集合型+オンライン): 6テーマ 年2クール 参加者数延べ2396名
		・ホームページ、Facebook、YouTubeを利用した情報発信
		・損保リハビリテーション講習会実行委員会への参加

研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座(当事者、家族、支援者、市民等対象):再掲 ・小児高次脳機能障害研修(教職員対象):参加者数45名 ・医療機関研修(オンライン):参加者数87名 ・お出かけ講座(関係機関等へのお出張研修):13回 参加者数151名 ・よくわかる高次脳機能障害セミナー(介護保険事業所職員等対象/オンライン): 参加者数96名
--------------------	---

その他 取り組み	・作業体験プログラム(就労支援):50回 参加実数16名 延べ94名
	・当事者・家族交流会:11回 参加者数延べ175名
	・診療事業:嘱託医による診察44回 延べ126名、神経心理学的検査3名(8回)

令和5年度 特に力をいれたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座を会場での集合研修とYouTubeを活用したオンライン研修とを併せて開催しており、参加者数が増加している。 ・認知系三障害(高次脳、認知症、発達障害)をテーマにした支援者向け研修実施 ・お出かけ講座(出張研修)は、支援機関のニーズに応じ内容を検討し実施した。
今後の課題	支援者養成のための研修、アウトリーチ支援の充実

【京都市】

令和6年度 活動計画（案）

拠点支援機関	京都市高次脳機能障害者支援センター （京都市地域リハビリテーション推進センター高次脳機能障害支援課内）	
支援コーディネーター	保健師2名、看護師1名、作業療法士1名（常勤専任）	
相談支援事業等 （実施要綱第3-1）	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者、家族、関係機関等に対し、電話、来所相談、訪問等による相談支援を実施。 ・継続支援の必要のある方には個別担当制をとり、関係機関とも連携の上、就労や復学、日常生活に関する支援、調整を行う。 	
普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議（府市共催） ・出張型研修等による各機関や地域支援者との連携強化 ・各地域の支援ネットワークや会議等への参加
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座（当事者、家族、支援者、市民等対象） ・お出かけ講座（市民等への出張研修） ・ホームページ、Facebook、YouTube を利用した情報発信 ・損保実行委員会、リハビリテーション講習会への協力 ・その他の普及啓発事業
研修事業 （実施要綱第3-3）	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座（当事者、家族、支援者、市民等対象） ・よくわかる高次脳機能障害セミナー（介護保険事業所職員等対象） ・小児高次脳機能障害研修（教職員対象） ・医療機関研修 ・お出かけ講座（関係機関等への出張研修） 	
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・作業体験プログラム：模擬的な職場場面で就労に関する能力や課題の評価を行い、今後の方向性を検討する。 ・当事者・家族交流会 ・専門医（嘱託医）による診察、神経心理学的検査 	
令和6年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者養成のための研修 ・小児高次脳障害に関する支援者（教職員含む）向け研修 	

【大阪府】令和5年度 事業実績

【近畿ブロック】

拠点支援機関	障がい者医療・リハビリテーションセンター		
	大阪急性期・総合医療センター	大阪府立障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター
支援コーディネーター	ケースワーカー 非常勤専任	ケースワーカー 常勤兼務	ケースワーカー 常勤専任 心理職 常勤専任

相談支援事業等	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	1,069	電話	1,740
	来院/来所	487	来院/来所	88
	メール/書簡	67	メール/書簡	54
	訪問/同行等	2	訪問/同行等	4

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会 2回開催 障がい福祉サービス事業所へのコンサルテーション等の実施 府内当事者・家族会、堺市高次脳機能障がい支援拠点機関と連携した普及啓発の実施
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの情報発信、リーフレット・冊子の配布 医療機関等掲示用ポスターの配布 イオンモールでの普及啓発イベントの実施（リーフレット配布の他、障がい福祉事業所の作品等の展示や啓発グッズの配布、相談ブースの設置） 当事者・家族会の活動等の周知 大阪リハビリテーション講習会への協力（実行委員として参画）

研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村職員向け研修 75名 医療機関等職員向け研修 76名 地域支援者養成研修 58名 相談支援従事者研修 60名 支援拠点機関職員向け研修 1回目14名 2回目49名
--------------------	---

その他 主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転評価モデル事業の継続実施 行政書士・社会保険労務士・家族会による無料相談会2回開催 子どもの高次脳機能障がい家族講座・交流会の実施（第1回）
---------------	---

令和5年度 特に力を入れたこと	<ul style="list-style-type: none"> 啓発動画制作に向けた意見交換会の実施2回 啓発動画の制作2本 地域別実践研修の実施（2圏域）
--------------------	--

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 支援者養成研修（加算対象の研修）の運営 診断・治療が可能な医療機関の開拓 発症後に医療、福祉に結び付いていない方を顕在化するための「高次脳機能障がい」の認知度の向上（府民向け普及啓発及び人材育成） 高次脳機能障がいのある子どもに対する支援
-------	--

【大阪府】令和6年度 事業計画

【近畿ブロック】

拠点支援機関	障がい者医療・リハビリテーションセンター		
	大阪急性期・総合医療センター	大阪府立障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター
支援コーディネーター	ケースワーカー 非常勤専任	ケースワーカー 常勤兼務	心理職 常勤専任 ケースワーカー 常勤専任

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者医療・リハビリテーションセンターにおける当事者・家族、支援機関、医療機関等に対する相談支援の実施。 市町村や事業所など地域の支援者が支援に困っている事例についてのコンサルテーションの実施。
-----------------------	---

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会の開催 障がい福祉サービス事業所等へのコンサルテーション等の実施 府内当事者・家族会、堺市高次脳機能障がい支援拠点機関と連携した普及啓発の実施
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの情報発信 「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～」、「支援ハンドブック」、啓発リーフレット、医療機関等掲示用ポスター等の配布、ホームページ掲載 啓発動画の制作 当事者・家族会の活動等の周知 高次脳機能障がいについての普及啓発イベントの実施 大阪リハビリテーション講習会への協力（実行委員として参画）

研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障がい支援者養成研修（加算対象の研修） 市町村職員向け研修 医療機関等職員向け研修 支援拠点機関職員向け研修 地域別実践研修
--------------------	---

その他 主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転評価モデル事業の継続実施 行政書士・社会保険労務士・家族会による無料相談会の実施 子どもの高次脳機能障がい家族講座・交流会
---------------	--

令和6年度 主に取り組む事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域別実践研修：府内二次医療圏域のうち、2圏域にて研修会（及び研修企画会議）を行い、市町村障がい福祉担当課や相談支援事業所、医療機関等の連携強化を図る。次年度実施予定の圏域については、市町村や関係機関を訪問し調整を図っていく。 啓発動画の制作：R5年度より数年かけて7本制作予定。検討会（意見交換会）を実施し、今年度制作予定の2本の動画を完成させるとともに、次年度制作予定の内容について検討する。
-------------------	---

【堺市】

令和5年度 活動実績

拠点支援機関	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
支援コーディネーター	社会福祉士 常勤専任 2名

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話		電話	
		816		1,572
	来院/来所	317	来院/来所	84
	メール/書簡	45	メール/書簡	241
	訪問/同行等	57	訪問/同行等	102

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	障害者自立支援協議会（堺市・各7区）
		大阪府高次脳機能障がい支援普及事業
		堺市障害者就業・生活支援センター連絡会議・運営会議
		大阪府障がい者医療・リハビリテーションセンター 高次脳機能障がい支援コーディネーター会議
		生活リハビリテーションセンター運営委員会
	普及啓発	施設だより発行・配布
		高次脳機能障害のある方とその家族向けハンドブックの配布
		高次脳機能障害の理解や支援方法などに関するチラシ配布
		令和5年度堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第3回「行動障害の理解と支援～発達障害・高次脳機能障害から認知症まで」（参加者：146名）
		ホームページ掲載
		市の広報紙への掲載
		医療機関向け啓発ポスターの作成、配布
		自立訓練利用者の家族懇談会（毎月開催）（11回開催 参加者延べ18名）
		学習懇談会『はばたきの会（センターを退所した当事者・家族会）との交流会』の開催（4回開催 参加者延べ76名）

研修事業 (実施要綱第3-3)	第1回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「脳損傷による後遺症のある方の就労～雇用企業の立場から～」(ハイブリッド開催 参加者98名)
	第2回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「神経心理学的検査からみる高次脳機能障害の支援～認知リハビリテーションをどう 組み立てるか～」(ハイブリッド開催 参加者87名)

	第4回 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 「明日から使える！失語症の基礎知識とコミュニケーションの工夫」（ハイブリッド開催 参加者 76名）
その他 取り組み	医療機関・福祉機関等の関係職員を対象とした出張勉強会の開催（会場・オンライン開催含む）（13回開催 参加者延べ 299名）
	堺市内関係機関にて自動車運転技能評価事業の実施
	堺市中堅教諭等資質向上研修プログラム「子どもの高次脳機能障害、リハビリ体験等」（5回開催 参加者 44名）
令和5年度 特に力をいれたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者・家族の交流会の実施 ・教育機関への普及啓発研修の実施 ・地域医療機関との連携強化（医療機関向け研修の実施、自立訓練サービス紹介リーフレットの作成） ・精神科医療機関との連携強化（運営委員への参画・出張勉強会の開催） ・災害に備えた支援継続体制の整備（研修の実施・防災プログラムの実施） ・全国障害者リハビリテーション研究集会 2023 への協力
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の高次脳機能障害に対する支援体制の構築 ・自動車運転再開支援（評価実施可能件数が限られている） ・主に介護保険2号被保険者に対する障害福祉サービスの啓発 ・令和6年度報酬改定における高次脳機能障害者支援に関する地域支援事業所への情報提供

【堺市】

令和6年度 活動計画（案）

拠点支援機関	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	
支援コーディネーター	社会福祉士 常勤専任 2名	
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	支援コーディネーター2名体制にて、電話・来所・訪問による相談を随時受け付ける。入院中の病院・自宅・就労先等への訪問を行い、早期からの介入に取り組む。支援者会議等に積極的に参加し、関係機関と連携し、きれめのない支援を行う	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	障害者自立支援協議会（堺市・各7区）
		大阪府高次脳機能障がい支援普及事業
		堺市障害者就業・生活支援センター連絡会議・運営会議
		大阪府障がい者医療・リハビリテーションセンター 高次脳機能障がい支援コーディネーター会議
		生活リハビリテーションセンター運営委員会
	普及啓発	施設だより発行・配布
		高次脳機能障害のある方とその家族向けハンドブック配布
		高次脳機能障害の理解や支援方法などに関するチラシ配布
		自立訓練サービス紹介リーフレットの配布
		ホームページ掲載
		令和6年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第3回「よくわかる！てんかんのお話～知っておきたい大切なこと～」
		自立訓練利用者の家族懇談会（毎月開催）
		学習懇談会『はばたきの会（センターを退所した当事者・家族会）との交流会』の開催
		大阪府内の当事者・家族会との連携（大阪府リハビリテーション講習会の開催協力）
		医療機関、障害福祉事業所、介護保険事業所向け出張勉強会開催
研修事業 (実施要綱第3-3)	令和6年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第1回「障害のある方のこれからの就労を考える」	
	令和6年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第2回「自動車運転再開について（仮）」	
	令和6年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第4回「明日から使える！日常生活動作の工夫（仮）」	

その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 自動車運転技能評価事業の実施・ 地域の相談機関、就労支援機関などとの連携・ 地域の医療機関との連携強化
令和6年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none">・ 小児の高次脳機能障害に対する支援体制の構築・ 自動車運転再開支援（評価実施機関の拡大）・ 主に介護保険2号被保険者に対する障害福祉サービスの啓発・ 令和6年度報酬改定における高次脳機能障害者支援に関する地域支援事業所への情報提供

【兵庫県】令和5年度 事業実績

【近畿ブロック】

拠点支援機関	兵庫県立総合リハビリテーションセンター
支援コーディネーター	社会福祉士・介護支援専門員（常勤専任）
	介護支援専門員・介護福祉士（常勤専任）

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	604	電話	805
	来院/来所	192	来院/来所	73
	メール/書簡	276	メール/書簡	62
	訪問/同行等	103	訪問/同行等	42

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体連絡会
		神戸市西区自立支援協議会、神戸市垂水区自立支援協議会、兵庫県自立支援協議会（相談支援部会）
		姫路市基幹相談支援センター、西宮市基幹相談支援センター 神戸市障害者相談支援センター センター長会議
		障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 広島県・香川県拠点、来所受け入れ
	普及啓発	・高次脳機能障害に関するリーフレットやパンフレットの配布
		・ホームページの掲載と更新
・家族会定例会への参加と意見交換、窓口の紹介		

研修事業 (実施要綱第3-3)	<p>【主催研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害における職業準備と職場定着まで」 ・「高次脳機能障害ってどんな障害なの？」～高次脳機能障害の理解と兵庫県における支援について～
--------------------	---

その他主な取り組み	・損保協会助成事業リハビリテーション講習会「社会的行動障害を考える」
	・総合リハビリテーションセンター高次脳機能障害事業推進ワーキング

令和5年度特に力をいれたこと	・ネットワーク体制構築に向けた取り組み (二次医療圏域ごとに関係機関に訪問、各種会議への参加)
----------------	--

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・二次医療圏域における各支援機関との連携、ネットワーク構築の継続 ・支援者養成
-------	--

拠点支援機関	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	
支援コーディネーター	公認心理師・臨床心理士（常勤専任）	
	介護支援専門員・介護福祉士（常勤専任）	
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	電話・メール・来所面談等で当事者及びその家族や医療機関、行政、福祉、介護等の事業所からの相談に対応。関係機関との連携を図りながら社会生活を支援。ケースによっては、関係事業所の訪問や支援会議を実施。	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体連絡会の開催
		兵庫県自立支援協議会（相談支援部会）、神戸市西区自立支援協議会
		神戸市垂水区自立支援協議会
		圏域訪問（尼崎市、三木市）
	普及啓発	・高次脳機能障害に関するリーフレットやパンフレットの配布
		・ホームページの掲載と更新
		・各圏域の家族会定例会への参加と意見交換、窓口の紹介
		・相談支援コーディネーター出張研修の開催
研修事業 (実施要綱第3-3)	【主催研修】年2回程度実施予定 【依頼研修】支援コーディネーター出張研修	
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・損保協会助成事業リハビリテーション講習会 ・総合リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援推進ワーキング 	
令和6度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク体制構築に向けた取り組みの継続 （二次医療圏域ごとに関係機関を訪問） 	

【奈良県】

令和5年度 活動実績

【近畿ブロック】

拠点支援機関	奈良県障害者総合支援センター 高次脳機能障害支援センター	
支援コーディネーター	社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師（常勤専任）	1名
	精神保健福祉士（令和5年10月～保健師）（常勤専任）	1名

相談支援事業等 （実施要綱第3-1） 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
		電話	489	電話
	来院/来所	248	来院/来所	26
	メール/書簡	134	メール/書簡	94
	訪問/同行等	14	訪問/同行等	4

普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	県内各圏域での支援会議出席、専門相談のコンサルテーション機能充実
		奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会での専門委員からの意見聴取
		奈良県総合リハビリテーションセンター・外来との連携
		地域医療・福祉・就労等の機関への普及啓発と支援連携強化
	普及啓発	ホームページでの情報発信
		高次脳機能障害の理解を促すパンフレット・リーフレット配布
高次脳機能障害リハビリテーション講習会開催協力		

研修事業 （実施要綱第3-3）	<p>○高次脳機能障害当事者、家族及び高次脳機能障害支援機関職員を対象とした高次脳機能障害研修会開催（令和5年11月4日）奈良県産業会館 「高次脳機能障害とは～高次脳機能障害の基礎理解～」 京都府リハビリテーション支援センター センター長 近藤 正樹先生 「高次脳機能障害の回復のために『整えよう、注意機能』」 奈良県障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 溝口 昌代様</p> <p>○高次脳機能障害当事者、家族及び高次脳機能障害支援機関職員を対象とした高次脳機能障害研修会開催（令和6年3月8日開催）オンライン開催 「失語症とコミュニケーション」 国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援者養成テキスト利用 「奈良県の失語症者支援について 意志疎通支援の現状」 西大和リハビリテーション病院（奈良県言語聴覚士会 会長）道上 千智先生</p>
--------------------	--

その他 取り組み	高次脳機能障害の検査・診断 嘱託医師（脳神経外科・脳神経内科・リハビリテーション科・精神科医師4名）のよる月4回の診察と心理士の行う神経心理学的検査実施
	高次脳機能障害当事者家族会と協働して高次脳機能障害家族会の開催
	オンライン利用（ZOOM）による個人面談（事前申込制）

令和5年度取り組んだ主な事業	高次脳機能障害の運転再開支援（ワーキング開催、運転再開までの流れのパンフレット配布、自動車教習所との連携のため訪問・調整）
今後の課題	高次脳機能障害運転再開支援の連携機関構築 高次脳機能障害支援者養成講座の開催

拠点支援機関	奈良県障害者総合支援センター 高次脳機能障害支援センター	
支援コーディネーター	社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師（常勤専任）	1名
	保健師（常勤専任）	1名
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員2名体制にて、高次脳機能障害当事者・家族からの個別相談、病院や支援機関からの専門相談に対応 ・高次脳機能障害支援センターへの相談内容・実績の分析、今後の支援に繋げる 	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	県内各圏域での支援会議への出席、専門相談のコンサルテーション機能充実
		奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会での意見聴取
		奈良県総合リハビリテーションセンター外来・病棟との連携
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等での情報発信 ・高次脳機能障害の理解を促すパンフレットの配布
研修事業 (実施要綱第3-3)	<p>高次脳機能障害当事者・家族及び高次脳機能障害支援機関職員を対象とした普及・啓発のための研修会開催</p> <p>講師：和歌山県立医科大学 幸田剣先生、当事者 北島麻衣子様</p> <p><令和6年9月14日 奈良県産業会館 現地開催></p> <p>○高次脳機能障害の事例検討会開催 <令和7年1月頃オンライン開催予定></p>	
その他 取り組み	高次脳機能障害の検査・診断事業	
	<p>嘱託医師（脳神経外科・脳神経内科・精神科・リハビリテーション科4名）による診察と心理士による神経心理学的検査実施</p> <p>高次脳機能障害当事者・家族会と協働して高次脳機能障害支援相談会の開催（相談者のニーズに応じた開催場所・担当者を柔軟に対応）</p>	
令和6年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの特性やニーズに応じた相談連携体制の整備 総合相談支援センター内難病サポートセンターとの連携 ○感染症対策に考慮すると共に、高次脳機能障害当事者家族の参加しやすい研修会企画運営 <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害研修会の開催（現地開催とオンライン開催の併用） ・ホームページ等での情報発信（ホームページを閲覧・年間研修会予定等） ○高次脳機能障害自動車運転評価体制の構築 奈良県福祉医療部障害福祉課、奈良県作業療法士会と協働して高次脳機能障害者の運転再開支援体制づくり ○高次脳機能障害支援者養成講座開催への取り組み 	

【和歌山県】

令和5年度 活動実績

拠点支援機関	和歌山県障害児者サポートセンター
	4月～3月：社会福祉士・保健師 非常勤専任（週5日）
	4月～6月：社会福祉士 非常勤専任（週5日） 3月：看護師 非常勤選任（週5日）

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	334	電話	193
来院/来所	12	来院/来所	3	
メール/書簡	1	メール/書簡	1	
訪問/同行等	281	訪問/同行等	11	

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	地域支援ネットワーク研修会（対面） 紀南地域における高次脳機能障害に対する普及啓発及び支援に関する支援の向上のため ・テーマ「高次脳機能障害とは」
	普及啓発	高次脳機能障害研修会（県内全域対象・対面集会とオンライン） ・テーマ「高次脳機能障害とは」 「突然、妻が倒れたら～家族はどう高次脳機能障害に伴走すべきか～」
		家族会と合同での街頭啓発（和歌山市・田辺市）
		家族会交流会参加、協力
		リーフレット配布、ホームページ掲載

研修事業 (実施要綱第3-3)	高次脳機能障害支援・指導者養成研修会（基礎・実践）ーオンライン
--------------------	---------------------------------

その他 取り組み	和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション科との連携 (受診同行・医療相談など)
	広報活動：一般県民向けに啓発物品配布 県広報およびメールマガジンの活用

令和5年度 特に力をいれたこと	・高次脳機能障害の普及啓発を目的とした啓発動画を作成して、県のホームページに掲載した。
今後の課題	各圏域の機関との連携、コーディネーターの常時2人体制

【和歌山県】

令和6年度 活動計画（案）

拠点支援機関	和歌山県障害児者サポートセンター	
	看護師 非常勤専任（週5日）	
相談支援事業等 （実施要綱第3-1）	支援コーディネーターによる電話・訪問・来所による相談支援の実施。 医療機関との調整や地域の関係機関との連携を図り、支援に関する情報提供を行う。	
普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	地域支援ネットワーク研修会および事例検討会を実施
	普及啓発	高次脳機能障害研修会（県内全域対象）
		リハビリテーション講習会（損保）実行委員会参加
		家族会と合同での街頭啓発
		家族会交流会参加、協力
		リーフレット配布
研修事業 （実施要綱第3-3）	・高次脳機能障害支援・指導者養成研修会 予定	
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション科等との連携（受診同行・医療相談など） ・広報活動：県民向けに啓発物品配布 県広報およびメールマガジンの活用 	
令和6年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築強化および家族会との協働 ・各関係機関との連携・調整 	

【中国ブロック】

令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施状況並びに
令和6年度同事業実施計画

県名	鳥取県
事業名	高次脳機能障がい者支援普及事業
拠点及びネットワーク	鳥取県高次脳機能障がい支援拠点機関 野島病院 高次脳機能センター
支援コーディネーター	1名（精神保健福祉士）
令和5年度事業実施状況	<p>【個別相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断・評価・治療（外来・病棟） ・患者、家族、医療機関及び県内支援機関、行政等からの各種相談への対応。 <p>令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）相談対応件数：345件（のべ） （直接相談：201件、間接相談：144件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の利用支援（各種診断書の作成、利用・手続支援） ・ドライビングシミュレーターを活用した自動車運転再開評価を実施。 <p>令和5年度（R5.4.1～R6.3.31）評価件数：18件（実数）</p> <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転再開に繋がった・・・9件 ・運転再開に繋がらなかった・・・2件 ・評価継続中・・・1件 ・その他・・・6件 <p>【支援連携体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援における各機関との連携 個別支援会議等への出席：3回 ・圏域の保健所との連携 圏域における意見交換会等への出席：2回 ・家族会への出席：5回 <p>【普及啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信。 ・ハイブリッド形式での研修会の開催。（2回） <p>【高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国会議・コーディネーター会議への出席 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査等への協力。 ・鳥取県地域両立支援推進チームへの参加。（R元年～） ・鳥取産業保健総合支援センターの実施する「両立支援相談窓口」の出張窓口を設置。（R4.12～） ・各種勉強会等での講師。

【中国ブロック】

<p>令和6年度実施計画</p>	<p>【個別相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診断・評価・治療（外来・病棟） ・ 患者、家族、医療機関及び県内支援機関、行政等からの各種相談への対応。 ・ 社会保障制度の利用支援。 ・ ドライビングシミュレーターを活用した自動車運転再開評価の実施。 ・ 引き続き、自動車学校と連携し公道での実車運転評価の実施。 <p>【支援連携体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援における各機関との連携。 ・ 圏域の保健所との連携。 ・ 研修会の開催。 <p>【高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国会議・コーディネーター会議への出席。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種調査等への協力。 ・ 鳥取県地域両立支援推進チームへの参加。 ・ 鳥取産業保健総合支援センターの実施する「両立支援相談窓口」の出張窓口を設置。
<p>令和5年度特に力を入れたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社会福祉協議会が実施する「令和5年度あいサポーターステップアップ研修」において講師を務めた。 ・ 鳥取障害者職業センターの職員研修で講師を務めた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高次脳機能センターの相談支援後の本人や家族への継続的なフォローの実施。 ・ 本人や家族同士が話し合える心理的・精神的なケアの場が不足。 ・ 医療機関、各種機関、支援者の高次脳機能障がい及び社会保障制度の理解の促進。 ・ 支援者及び周囲（家族、友人等）の子どもの高次脳機能障がいへの理解や対応が不十分。 ・ ドライビングシミュレーターを含めた、蓄積したデータや事例の学会発表。
<p>その他</p>	<p>野島病院高次脳機能センター ホームページ https://nojima-hospital.jp/publics/index/204/ 鳥取県高次脳機能障がい支援サイト https://www.pref.tottori.lg.jp/koujinou/</p>

【中国ブロック】

県名	島根県
事業名	高次脳機能障がい者支援事業
拠点及びネットワーク	地域支援拠点：県内に3拠点 圏域相談支援拠点：県内に7拠点 ※県全体を3地域（東部、中部、西部）に分けてコーディネーターを配置。圏域相談支援コーディネーターをサポート
支援コーディネーター	地域支援コーディネーター：4名（精神保健福祉士、看護師） 圏域相談支援コーディネーター：7名（精神保健福祉士、社会福祉士、言語聴覚士、相談支援専門員）
令和5年度事業実施状況	<p>【活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7圏域に相談支援拠点を設置し、各圏域でネットワーク会議、ケース検討会議、研修会を開催。3地域ごとに連絡会議を開催。 ・専門相談会の開催（隠岐の島） ・高次脳機能障がい支援普及啓発リーフレットの作成・配布 ・島根県主催の研修会をオンラインで開催
令和6年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7圏域に相談支援拠点を設置し、各圏域でネットワーク会議、ケース検討会議を開催 ・地域支援拠点と各担当圏域拠点において、地域連絡会議を開催 ・支援機関職員を対象とした派遣研修の実施 ・専門相談会の開催（隠岐の島） ・研修会の開催（全県、圏域単位） ・島根県障がい者自立支援協議会高次脳機能障がい者支援部会において、今後の取り組みについて検討
令和5年度特に力を入れたこと	・圏域ネットワーク会議において、高次脳機能障がいの普及啓発についての意見交換を行った
今後の課題	・先進的な高次脳機能障がいのリハビリテーションを実施している県外の機関に現場の職員を派遣し研修を受けてもらう制度があるが、R2年度以降コロナ等の影響で派遣できていないため、今後派遣の再開や制度自体の見直しを検討していく必要がある。
その他	

【中国ブロック】

県名	岡山県
事業名	岡山県高次脳機能障害支援及びその関連障害に対する支援普及事業
拠点及びネットワーク	川崎医科大学附属病院 社会福祉法人旭川荘
支援コーディネーター	川崎医科大学附属病院 1名（言語聴覚士） 社会福祉法人旭川荘 1名（精神保健福祉士）
令和5年度事業実施状況	<p>1 診察・相談の実績</p> <p>(1) 川崎医科大学附属病院</p> <p>①直接相談 507件 間接相談 80件</p> <p>②高次脳機能障害外来、集団訓練、家族支援の実施</p> <p>(2) 社会福祉法人 旭川荘</p> <p>①直接相談件 129件 間接相談 21件</p> <p>2 普及啓発事業の実績</p> <p>(1) 岡山県高次脳機能障害支援研修会、岡山リハビリテーション講習会の開催</p> <p>(2) ワーキンググループ（医療、地域連携、福祉、小児）活動実施</p> <p>(3) 研修会講師派遣</p> <p>(4) ホームページ、パンフレットでの情報発信</p> <p>(5) 支援体制連携調整委員会、ワーキンググループ活動、個別支援をととした地域ネットワークの構築</p>
令和6年度実施計画	<p>(1) 診断・評価等及び相談支援</p> <p>(2) 支援ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制連携調整委員会の開催 ・個別支援、WG活動、普及啓発等を通じた支援ネットワークの構築、充実を図る <p>(3) 普及啓発活動</p> <p>講習会や研修会の開催、ホームページでの情報発信等</p> <p>(4) ワーキンググループ（WG）の活動</p> <p>医療、地域連携、福祉、小児の各WG活動継続。</p> <p>(5) 高次脳外来にて、社会復帰支援を行った方を対象とした、雇用継続に関する調査の実施</p>

【中国ブロック】

<p>令和5年度特に力を入れたこと</p>	<p>実態調査の実施 「岡山県内の就労継続・移行支援事業所における高次脳機能障害者に対する支援状況」 岡山県内の就労継続支援 A 型事業所 127 カ所、就労継続支援 B 型事業所 272 カ所、就労移行支援事業所 42 カ所 合計 441 カ所を対象に高次脳機能障害パンフレットを同封の上、調査を実施。 同意を得た 114 カ所を対象にとりまとめを行った。</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転支援のニーズが増加傾向にあり、外来を中心とした体制をより強化していく。 ・診断のついていない方、離職した方等、広く相談ができるよう相談窓口の普及啓発を継続。
<p>その他</p>	<p>令和6年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業） 高次脳機能障害の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究参加</p>

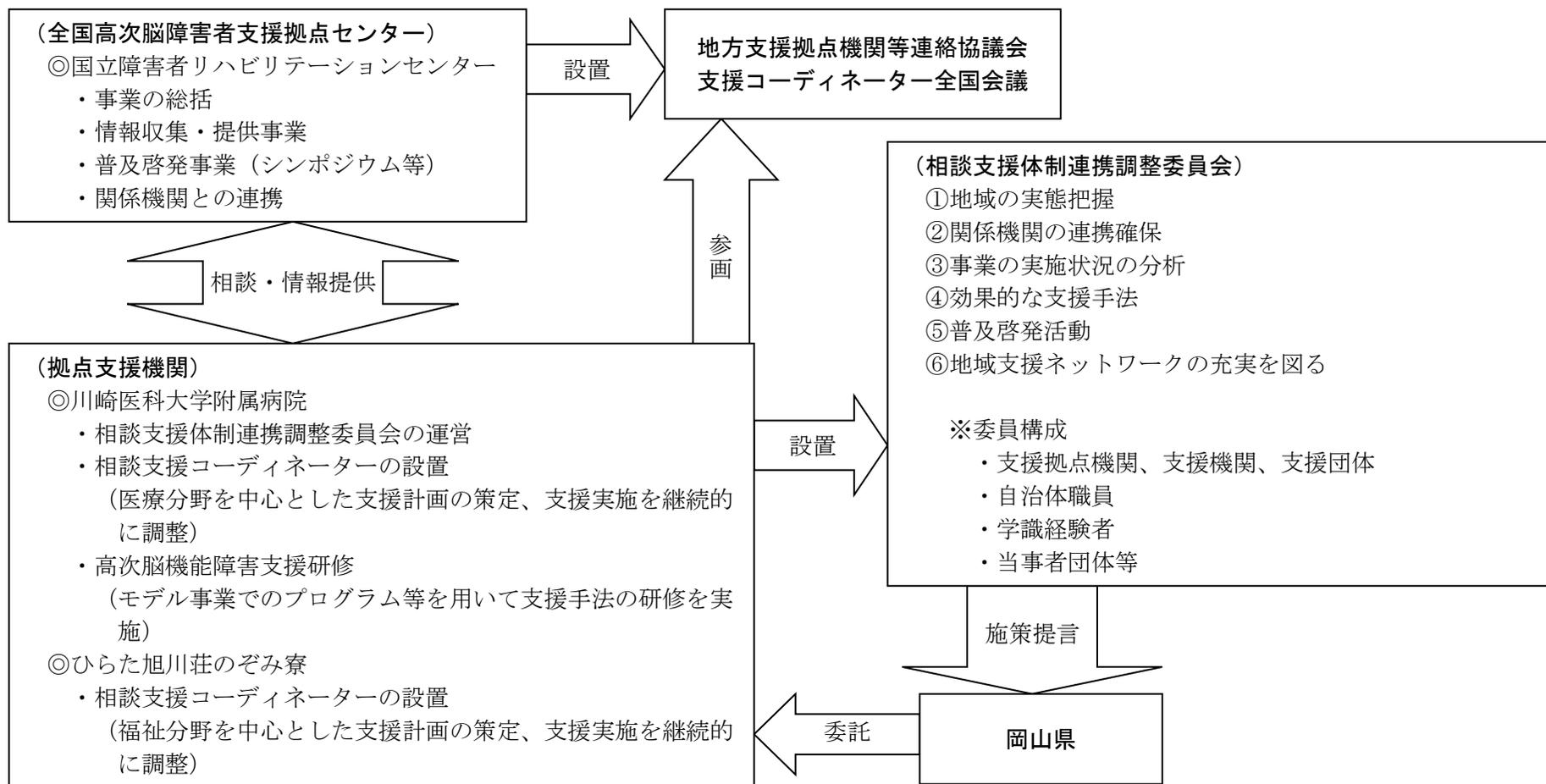
高次脳機能障害等支援事業

(事業の概要)

交通事故や病気によって脳を損傷し、記憶障害、注意障害、遂行機能障害などの後遺症を有する高次脳機能障害について、平成14年度より支援事業を実施し、川崎医科大学附属病院及びひらた旭川荘を支援拠点施設に指定し、県内における支援体制を整備してきた。

そして、平成23年度には全都道府県へ支援拠点施設が整備され、その成果を地域に定着させるため、平成24年度以降も国庫補助事業が継続されたところである。岡山県においても引き続き事業を実施し、高次脳機能障害者への支援をより充実させていく。

(高次脳機能障害等支援事業概念図)



【中国ブロック】

県名	広島県
事業名	広島県高次脳機能障害支援体制整備事業
拠点及びネットワーク	<p>広島県立総合リハビリテーションセンター 広島県高次脳機能センター 電話番号 082-425-1455 【地域支援センター】 (広島) 広島市立リハビリテーション病院 082-848-8001 (広島西) 廿日市記念病院 0829-20-2300 (呉) 呉中通病院 0823-22-2510 (広島中央) 井野口病院 082-422-3711 (尾三) 尾道市公立みつぎ総合病院 0848-76-1111 (福山・府中) 脳神経センター大田記念病院 084-931-8650 福山リハビリテーション病院 084-916-5500 (備北) 三次地区医療センター 0824-62-6328</p>
支援コーディネーター	<p>4名 (相談支援専門員, 介護支援専門員, 介護福祉士, 社会福祉士)</p>
令和5年度事業実施状況	<p>相談支援延べ件数 2,936名 (実人数) 1,489名 新規相談件数 (実人数) 229名 新規受診者 (実人数) 88名 高次脳専門病棟入院患者延べ人数 8,873名 " (実人数) 79名 外来患者延べ人数 7,378名 就労支援実績 新規就労 17名 " 復職 10名 高次脳機能障害研修会の開催 研修会への講師派遣 広島県高次脳機能障害連絡協議会の開催</p>
令和6年度実施計画	<p>(1) 専門的な診断, 医療リハビリテーションの提供 ・専門的な医療・リハビリの提供 ・利用者・家族・関係機関に対する, 相談支援や情報提供 (2) 地域生活支援の充実 ・診断, 評価, リハビリ, 相談支援等, 社会復帰までの一貫したサービスの提供とネットワークづくり ・家族会との連携 (3) 普及啓発活動 ・研修会や家族セミナー, 機関紙発行, リフレット作成配布等による高次脳機能障害への理解促進・普及啓発 ・県内の病院, 基幹相談支援センター, 包括支援センターとの連携 ・サポートファイルの活用を促進</p>
令和5年度特に力を入れたこと	<p>・関係機関の訪問。 ・連絡協議会を対面開催し、情報交換や課題について直接意見交換を行った。</p>

【中国ブロック】

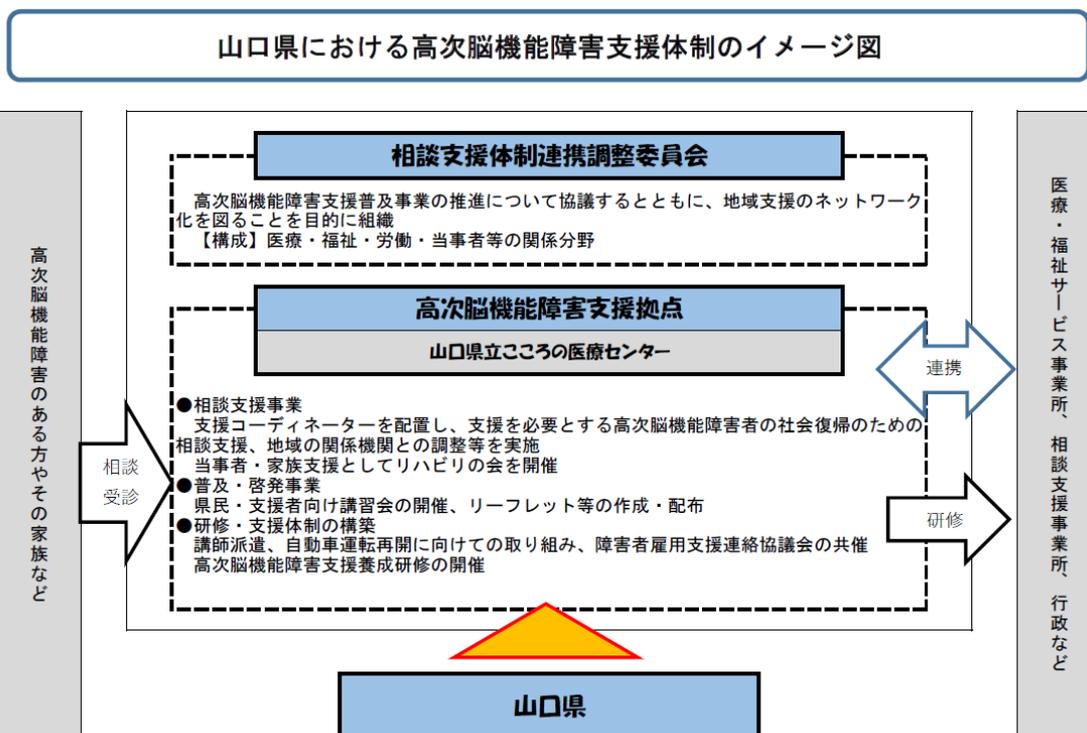
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・地域支援センターとの連携強化・地域の社会資源の開拓（地域包括支援センター及び相談支援事業所との連携など）・小児への支援（発達障害児支援機関や教育機関との連携）
その他	<ul style="list-style-type: none">・一般社団法人めぐみ高次脳機能障害サポートネットひろしまとの連携・いでした高次脳機能デイケアとの連携（高次脳機能障害専門精神科デイケア）

【中国ブロック】

県名	山口県
事業名	山口県高次脳機能障害支援普及事業
拠点及びネットワーク	地方独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立こころの医療センター 高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター	精神保健福祉士1名、公認心理師1名
令和5年度事業実施状況	<p>(1) 相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援検討会議（1回/週）、運営会議（1回/年）の開催 ・相談、評価、支援 ・専門外来 ・やまぐちリハビリの会（当事者会・家族会との共催）（6回/年） ・りあんの会（当事者・家族会交流会）（1回/年） ・高次脳機能障害専門外来作業療法実施（12回/1クール） <p>(2) 普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会（1回/年:WEB形式） ・山口県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（WEB形式） ・「高次脳機能障害支援センターだより」発行（1回/年） <p>(3) 研修・支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援アセスメント研修会（WEB形式） ・地域連携会議（下関圏域） ・研修会講師派遣 ・自動車運転再開に関する連携システムの構築のための会議への出席 ・障害者雇用支援連絡協議会（山口障害者職業センターとの共催） <p>(4) 高次脳機能障害普及全国連絡協議会等の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国会議・コーディネーター会議 ・第2回全国会議・コーディネーター会議 ・高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会
令和6年度実施計画	<p>1) 相談支援事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談 評価 支援 ・当事者・家族会交流会の開催 ・関係機関とのケース会議、拠点機関内での支援会議 ・専門外来 診断 治療 各種診断書の作成 ・高次脳機能障害専門外来作業療法実施（12回/1クール） <p>(2) 普及・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会開催 ・関係機関との協議会や連絡会への参加 ・県民対象の講習会の開催（損保助成事業） ・センターだよりやリーフレットの作成・配布、ホームページ更新 <p>(3) 関係機関向け研修及び支援体制構築に関わる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の講師派遣

【中国ブロック】

	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転再開に係る連携システム構築に向けての取り組み ・障害者雇用支援連絡協議会（山口障害者職業センターとの共催） ・研修会開催（高次脳機能障害支援養成研修基礎編及び実践編） <p>（４）高次脳機能障害普及全国連絡協議会等への参加</p>
令和5年度特に力を入れたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「研修会講師派遣」新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、講師派遣の依頼が増加した。令和5年度は、障がい者就業支援機関や障害者職業センター等からの依頼で計3回講義した。 ・「障害者雇用支援連絡協議会～高次脳機能障害者の就労・復職支援の現状と課題～」山口障害者職業センターとの共催で、高次脳機能障害者に対する、医療・福祉・就労支援機関の効果的な連携方法の構築を目的に、年2回開催した。 ・「地域連携会議」高次脳機能障害支援の連携強化と支援体制の確立を目的に、圏域の医療、福祉、行政等の関係機関を対象とした会議を開催した。3年ぶりに集合形式で開催し、事例検討等を通して、顔の見える関係づくりに努めた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援の地域ネットワーク作りへの取り組み ・手帳や年金の診断書を作成する医療機関の充実 ・相談支援機関におけるアセスメントの充実、専門性の確保 ・自動車運転再開に係る支援体制作り
その他	



四国ブロック高次脳機能障害支援普及事業

令和5年度実施報告(3月末時点)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
①支援拠点機関名	徳島大学病院 (高次脳機能障害支援センター) 連絡先:患者支援センター 電話:088-633-9107	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内に令和5年11月13日に設立)	松山リハビリテーション病院 (高次脳機能障害支援拠点機関) 高次脳機能障害支援室 電話:089-975-7427(直通) e-mail:matsuriha.hp-koujino@jikyokai.or.jp	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空 (近森リハビリテーション病院内) 電話:090-6535-6370 FAX:088-855-6710 email:hbd-support@blue-sky-kochi.com
拠点機関の役割	診断の確立、相談支援、普及啓発、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加。	高次脳機能障害者への支援を行うための支援拠点機関を置き、専門的な相談支援、地域支援ネットワークの構築、支援手法等に関する研修等を行い、高次脳機能障害者に対する支援体制の整備を行う。	診断、相談援助・社会復帰支援、当事者活動支援(普及啓発)、講習会/研修会の企画・運営・開催、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡会・四国ブロック会議等への参加、地域育成支援	相談支援・医療相談、家族教室、講演会・勉強会開催、高次脳機能障害支援拠点職員等の専門研修会開催及び参加、広報・啓発活動、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加
②支援Co.の配置	2名配置 ①言語聴覚士 ②社会福祉士	専従Co1名、兼務Co3名を配置。	4名配置 ・医師(兼務)1名 ・社会福祉士2名 ・作業療法士1名	4名配置 ①作業療法士、相談支援専門員(兼務) ②理学療法士、相談支援専門員(兼務) ③理学療法士、相談支援専門員(兼務) ④公認心理士(兼務)
Co.の主な任務	相談窓口業務、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象として講演会開催、研修・勉強会への参加	・相談支援(相談方法については、来所・電話・メール・訪問による) ・普及啓発 ・支援ネットワーク構築	相談援助業務全般(当事者・家族支援、地域支援)、講演会・研修会等の企画・運営・開催、各種研修会・連絡会等への参加、講師派遣、広報・普及啓発活動、実績の管理、当事者活動への支援	相談窓口業務、医療相談、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象とした講演会・勉強会開催及び参加、教育委員会などへの広報・啓発活動
③協力機関ネットワーク	<p>■四国ブロック会議への参加</p> <p>□徳島県高次脳機能障がい支援連絡協議会の開催</p> <p>■徳島県高次脳機能障がい支援ネットワークづくり検討会の開催</p> <p>■徳島大学病院 患者・家族からの相談 来院相談 115件 電話・メール相談 12件 訪問相談 71件 病院、その他からの相談 来院相談 4件 電話・メール相談 16件 訪問相談 3件</p> <p>□保健所・精神保健福祉センター 面接相談 5件、電話相談 17件</p>	<p>(1)機関コンサルテーション 医療機関からの退院相談が増加し、カンファレンス等に参加する機会も増加。相談支援専門員やケアマネージャーを巻き込んだ支援を実施。</p> <p>(2)研修会や勉強会への講師派遣(13回、176名参加)</p> <p>①高松市障がい者機関相談支援センター職員向け研修会(11名)</p> <p>②香川県立中部支援学校(5名)</p> <p>③たまも園(20名)</p> <p>④高松市障がい者基幹相談支援センターエリアミーティング(たかまつ:11名)</p> <p>⑤高松市障がい者基幹相談支援センターエリアミーティング(ほつと:11名)</p> <p>⑥高松市障がい者基幹相談支援センターエリアミーティング(りゅうん:11名)</p> <p>⑦就労継続支援B型事業所 咲く屋(3名)</p> <p>⑧ライブサポートセンター(15名)</p> <p>⑨SCC昭和町(30名)</p> <p>⑩老人保健施設 渡し屋(25名)</p> <p>⑪大川圏域自立支援協議会(14名)</p> <p>⑫香川県ソーシャルワーカー協会(8名)</p> <p>⑬普通寺市民生児童委員協議会(12名)</p> <p>(3)当事者・家族会「高次脳機能障害者友の会」への支援 毎月の定例会に参加。講習会の企画運営を協働。</p> <p>(4)令和5年度香川県高次脳機能障害支援普及事業関係機関連絡協議会の開催(3月25日)</p>	<p>(県内ネットワーク)</p> <p>愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会委員及び関係機関との連携</p> <p>愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関(6病院)との連携</p> <p>愛媛県内6保健所及び愛媛県心と体の健康センターとの連携</p> <p>当事者家族会 愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」との連携</p> <p>(県外ネットワーク)</p> <p>全国連絡会、Co研修会、四国ブロック会議参加機関との連携</p>	<p>(県内ネットワーク)</p> <p>脳損傷友の会「青い空」(当事者家族会)</p> <p>高知県内の職能団体・行政・司法関係者で構成する高知県高次脳機能障害支援委員会</p> <p>(県外ネットワーク)</p> <p>全国連絡協議会、コーディネーター研修等</p>

令和5年度実施報告(3月末時点)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
④相談支援 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> ■面接相談、電話相談 □精神保健福祉センターと保健所における相談支援 ■□関連協力機関での相談支援件数を集計し、支援状況の把握を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談実人数:139名(うち新規:109名) ■相談延件数:1021件 ■相談方法 来所:109件(うち間接相談:55件) 電話・メール:729件(うち間接相談:633件) 訪問:177件(うち間接相談:43件) ■相談者の状況(139名) 男性:94名 女性:35名 不明:10名 10歳未満:1名 10歳代:3名 20歳代:6名 30歳代:12名 40歳代:19名 50歳代:45名 60歳代:20名 70歳以上:22名 不明:11名 脳卒中:70名 頭部外傷(交通事故):28名 頭部外傷(転倒転落・暴行等):11名 脳炎・脳症・その他脳の病気:18名 その他の病気:8名 不明:4名 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関 面接相談 延べ2006件 電話相談 延べ3077件 訪問 延べ110件 メール・書簡 延べ1704件 ケース会議 延べ77件 □相談支援協力機関(県内6か所) 面接相談 延べ43件 電話相談 延べ24件 リハビリ訓練 実人数 105件 □保健所(県6保健所) 相談状況 ・電話相談 延べ282件 ・来所相談 延べ12件 ・訪問 延べ21件 ・ケース会議 延べ2件 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関 相談延べ件数:682件 内訳) 電話相談:469件 メール相談:29件 訪問相談:51件 来所相談:105件 ケース会議:28件 相談者分類 当事者:268件 家族:107件 支援者:307件
⑤普及啓発 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> □パネル展示 □広報誌へ啓発記事の掲載 ■講習会開催支援 ■ポスター等情報掲示 ■啓発リーフレット・パンフレットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■(1)日本損害保険協会助成事業 「香川脳外傷リハビリテーション講習会」:1月21日(会場参加:40名、WEB:73アカウント) ■(2)図書館啓発 11月11日:香川県立保健医療大学 2月6日~3月3日:香川県立図書館 ■□(3)かがわ高次脳機能障害支援センター開所イベント(11月13日) 講演会:86名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関主催講習会 ■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ ■ポスター、リーフレット配布 ■メディア協力(愛媛新聞、無料ペーパー等) ■ホームページ等、掲示・掲載 ■当事者活動支援 ■年報作成 □広報誌等への情報掲載 □各種イベント等を活用したパネル展示、パンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■家族教室(当事者家族) ■啓発リーフレットの配布 ■家族会への協力(おしらせの送付とメールの発信) ■高次脳機能障害者支援地域研修会 □高知県のメンタルヘルス総合サイト「高知県メンタルヘルスサポートナビ」にて情報発信
⑥研修 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> ■徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会の開催支援(web配信+来場)11/18(土) □研修会及び座談会の開催(保健所にて実施) ・当事者、家族対象 ・行政職員、保健福祉関係者対象 ・民生児童委員対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■(1)高次脳機能障害支援関係職員研修会 9月4日、9月25日(参加者合計:47名) ■(2)事例検討会 2月18日(参加者合計:15名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関主催講習会 ■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ □県保健所(6保健所)研修会 等 □当事者・家族交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域研修会 参加者:47名 ■医療従事者向け研修会 参加者:77名 ■心理士を対象にした高次脳機能障害支援研修会 参加者:3名 ■要望があった施設、団体への支援技術向上のための研修会
⑥調査・研究 その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ■□関連協力機関における相談支援の実績調査 ■高次脳機能障害支援センター会議 ■高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ■成人支援施設が実施している社会復帰促進事業(国土交通省)と共同して地域への普及啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■連携会議参加、意見交換等、講師派遣 ■自動車教習所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■「高次脳機能障害リハビリテーション講習会2023高知」への協力 □高知県高次脳機能障害支援委員会の開催 ■高知県高次脳機能障害支援委員会への協力

令和5年度実施報告(3月末時点)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
令和5年度特に力をいれたこと	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度から書面開催となっていた「ネットワークづくり検討会」を対面で開催するとともに、関係機関の円滑な連体制の構築を図るため、高次脳機能障害支援の窓口担当者一覧を作成した。</p>	<p>「かがわ高次脳機能障害支援センター」の開所(11月13日)により、拠点機関の整備を行った。</p>	<p>・普及啓発のためのリーフレット作成を行った。 ・講習会について、感染対策のうえ対面開催で実施した。 ・当事者活動支援において、当事者とともに広報紙の作成を行った。</p>	<p>・【高知県メンタルヘルスサポートナビ】を構築。 ・安芸圏域における高次脳機能障害者への支援会議の開催</p>
今後の課題	<p>・普及啓発活動の更なる拡充、相談支援員の確保、活動のための予算確保。 ・高次脳機能障害支援養成研修の円滑な実施、予算確保。</p>	<p>・地域訪問に関する人員配置の問題(アウトリーチ型の充実を実現する人員数が足りない) ・報酬改定で位置づけられた機能強化加算に伴う「高次脳機能障害支援者養成研修」の実施に向けた人員・予算の準備が不確定。</p>	<p>・医療機関退院後も地域で安心して生活できるよう、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施できる支援者を地域で増やしていく必要がある。高次脳機能障害支援者養成研修の実施に向け、準備を進めていく。</p>	<p>・幡多圏域での治療体制の構築。</p>

四国ブロック高次脳機能障害支援普及事業

令和6年度実施計画〔※新規事業には下線〕

計 画	徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県
①支援拠点機関名	徳島大学病院 (高次脳機能障害支援センター) 連絡先: 患者支援センター 電話: 088-633-9107	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内) 電話: 087-883-8200 FAX: 087-883-8201	松山リハビリテーション病院 (高次脳機能障害支援拠点機関) 高次脳機能障害支援室 電話: 089-975-7427(直通) e-mail: matsuriha.hp-koujino@jikyokai.or.jp	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空 (近森リハビリテーション病院内) 電話: 090-6535-6370 FAX: 088-855-6710 email:hbd-support@blue-sky-kochi.com
拠点機関の役割	診断の確立、相談支援、普及啓発、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加。	高次脳機能障害者への支援を行うための支援拠点機関を置き、専門的な相談支援、地域支援ネットワークの構築、支援手法等に関する研修等を行い、高次脳機能障害者に対する支援体制の整備を行う。全国連絡会・四国ブロック会議等への参加。	診断、相談援助・社会復帰支援、当事者活動支援(普及啓発)、講習会/研修会の企画・運営・開催、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡会・四国ブロック会議等への参加、地域育成支援	相談支援・医療相談、家族教室、講演会・勉強会開催、高次脳機能障害支援拠点職員の特設研修会開催及び参加、広報・啓発活動、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加
②支援Co.の配置	2名配置 ①言語聴覚士 ②社会福祉士	専従Co1名、兼務Co2名を配置。	4名配置 ・医師(兼務) ・作業療法士(兼務) ・社会福祉士(専従) ・社会福祉士(専従) ・社会福祉士(専従)※6月退職予定	4名配置 ①作業療法士、相談支援専門員(兼務) ②理学療法士、相談支援専門員(兼務) ③理学療法士、相談支援専門員(兼務) ④公認心理士(兼務)
Co.の主な任務	相談窓口業務、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象として講演会開催、研修・勉強会への参加	・相談支援(相談方法については、来所・電話・メール・訪問による) ・普及啓発 ・支援ネットワーク構築	相談援助業務全般(当事者・家族支援、地域支援)、講演会・研修会等の企画・運営・開催、各種研修会・連絡会等への参加、県連絡協議会への参加、講師派遣、広報・普及啓発活動、実績の管理、当事者活動への支援	相談窓口業務、医療相談、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象とした講演会・勉強会開催及び参加、教育委員会などへの広報・啓発活動
③協力機関ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ■□四国ブロック会議への参加 □徳島県高次脳機能障がい支援連絡協議会の開催 ■徳島県高次脳機能障がい支援ネットワークづくり検討会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> (1)機関コンサルテーション 関係する各機関からの要請に応じ、コンサルテーションを行う。 ・病院や地域で行われるカンファレンスやケア会議に参加 (2)香川県高次脳機能障害支援連絡協議会 ・県内の主要な支援機関から意見聴取し、事業に活かす。 ・ネットワークの構築等について確認や協議を行う。 (3)研修会や勉強会等への講師派遣 ・県内の関係機関からの依頼に応じ、テーマに沿った講師を派遣する。 ・福祉センターの出前教室を利用。 (4)県内の支援ネットワーク構築 ・各関係機関との定期的な連絡会等を視野に入れた取り組みを行う。 (5)各種会議等への参加 ・全国連絡協議会、支援コーディネーター研修会、四国ブロック会議、環瀬戸内ネットワーク等に参加し、支援者間のネットワークの構築。 (6)支援検討会の開催 ・連携支援についての検討 ・研修会の内容検討 ・自動車運転再開支援に関するアンケート調査 ・事例検討会 	<ul style="list-style-type: none"> (県内ネットワーク) 愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会委員及び関係機関との連携 愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関(6病院)との連携 愛媛県内6保健所及び愛媛県心と体の健康センターとの連携 当事者家族会 愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」との連携 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会、Co研修会、四国ブロック会議参加機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> (県内ネットワーク) 脳損傷友の会「青い空」(当事者家族会) 高知県内の職能団体・行政・司法関係者で構成する高知県高次脳機能障害支援委員会 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会、コーディネーター研修等

令和6年度実施計画〔※新規事業には下線〕

計 画	徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県
④相談支援 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> ■面接相談、電話相談 □精神保健福祉センターと保健所における相談支援 ■□関連協力機関での相談支援件数を集計し、支援状況の把握を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談支援 ・来所、電話、訪問、メール等に対応 ・当事者、家族、支援者、地域住民等からの相談に対応 ・福祉センター(専従1名、兼務2名)にコーディネーターを配置 □保健所(4か所) ・相談(電話・来所・訪問) 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関 面接相談、電話相談、訪問、メール・書簡、会議 □相談支援協力機関(県内6か所) 面接相談、電話相談 □保健所(県6保健所) 相談(電話相談、来所相談)、訪問 ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談支援(支援コーディネーター) 面接相談・電話相談・訪問相談・カンファレンス。 ■医療相談支援(公認心理士) 面接・電話・訪問相談・カンファレンス・検査等の形態で実施する。 ※支援コーディネーター・臨床心理士ともに、当事者・家族、医療機関、支援者などが対象。
⑤普及啓発 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> □パネル展示 □広報誌へ啓発記事の掲載 ■講習会開催支援 ■ポスター等情報掲示 ■啓発リーフレット・パンフレットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■(1)一般県民対象講演会(2回) ①当事者の体験を発表してもらう形 ②日本損害保険協会助成講習会 ■(2)図書館啓発 ・地域の図書館1～2か所で開催 ・障害についてのパネル展示と参考図書閲覧コーナーの設置 ■□(3)ポスター、パンフレット、啓発カード配布・設置 ・各種啓発物の修正、増刷の実施 ・病院、公共機関等を訪問し、PR・役割説明を行う ■(4)家族学習会 ・高次脳機能障害児者の家族を対象とした基礎講座や体験談(概ね発症から1年未満～2年程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関主催講習会 ■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ ■ポスター、リーフレット配布 ■メディア協力(愛媛新聞、無料ペーパー等) ■ホームページ等、掲示・掲載 ■当事者活動支援 ■年報作成 □広報誌等への情報掲載 □各種イベント等を活用したパネル展示、パンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■家族教室(当事者家族) ■啓発リーフレットの配布 ■家族会への協力(おしらせの送付とメールの発信) ■要望があった施設、団体に対しての研修 ■高次脳機能障害者支援地域研修会 □高知県のメンタルヘルス総合サイト「高知県メンタルヘルスサポートナビ」にて情報発信
⑥研修 ■拠点機関 □県	<ul style="list-style-type: none"> ■徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会の開催支援 □研修会及び座談会の開催(保健所にて実施) ・当事者、家族対象 ・行政職員、保健福祉関係者対象 ・民生児童委員対象 	<ul style="list-style-type: none"> ■高次脳機能障害支援関係職員研修会 ①基礎コース 同内容を2回 内容:事業説明・障害の基礎と検査・関わり方 案内先:行政機関、医療機関、福祉機関、介護保険期間、司法関係者、教育関係者、就労支援関係者等 ②事例検討会 年1回以上 会場に集合して、小グループで事例検討や情報交換を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援拠点機関主催講習会 ■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ □県保健所(6保健所)研修会 等 □当事者・家族交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■高次脳機能障害支援養成研修(基礎研修) ■高次脳機能障害支援養成研修(実践研修) ■高次脳機能障害支援研修会(医師・医療従事者) ■関係機関の支援技術向上のための研修会
⑥調査・研究 その他の活動	<ul style="list-style-type: none"> ■□関連協力機関における相談支援の実績調査 ■高次脳機能障害支援センター会議 ■高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ■当事者・家族会への支援 ・定例会に参加し、会の活性化促進 ・新規の入会者の紹介、会員増に協力 ・当事者部会(仮称)設置に向け、検討する機会を持ち、ピアサポート活動に繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ■連携会議参加、意見交換等、講師派遣 ■自動車教習所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ■高次脳機能障害リハビリテーション講習会への協力 ■高次脳機能障害者支援体制資源調査(市町村・地域包括支援センター、医療機関、福祉サービス提供機関向け)

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

県名		福岡県			
支援拠点機関名		福岡県障がい者 リハビリテーションセンター	産業医科大学病院	久留米大学病院	福岡市立 心身障がい福祉センター
相談支援 (延件数)	直接相談	466件	680件	173件	610件
	間接相談	37件	580件	177件	584件
令和5年度の目標		・相談支援事業(継続) ・普及啓発事業(高次脳機能障害 支援ガイド、リーフレットの配布) ・研修会及び講演会の実施、会 議等への参加 ・利用者への就労支援の強化 ・家族会との連携強化	・自動車運転再開に向けて医療 機関での評価の統一、自動車教 習所との連携の強化 ・失語症患者の自動車運転再開 における高次脳機能評価 ・高次脳機能障害者の就労支援	・相談支援事業の継続 ・支援ガイド等の製作 ・研修会および講習会、会議等へ の協力	・退院後に支援が途切れないよう にするための医療機関への啓発 訪問 ・支援者だけでなく、当事者家 族、一般市民も参加できるコー ジネット研修会の開催
普及啓発活動		・ホームページにて情報発信 ・高次脳機能障害支援事業の リーフレット、支援ガイドを活用し 関係機関へ訪問し広報・普及啓 発 ・近隣県拠点機関へ訪問し当事 者の情報交換及び連携強化(宮 崎・鹿児島) ・医療・福祉・行政従事者向け研 修会の実施、行政的高次脳機能 障がいに関する広報啓発 ・当事者・家族など広く県民を対 象とした研修会の開催 ・当機関主催の出席講座の開催 ・講師依頼への積極的な受託	・高次脳機能障がい支援事業の リーフレット及び関係者向け支援 ガイドの配布 ・福岡県リハビリテーション講習会 の開催 ・研修講師派遣 ・脳卒中中両立支援事業の情報発 信	・高次脳機能障がい支援事業の リーフレット及び関係者向け支援 ガイドの配布 ・研修講師派遣	・ホームページによる情報発信 ・福岡コージネット研修会(3回) ・出席講座、研修講師派遣(随 時) ・近隣の急性期、回復期病院連 携室への啓発訪問及び脳神経外 科へのリーフレット配布
就労支援		・利用者の企業での体験実習(随 時) ・障害者職業センターとの連携強 化 ・障がい理解のため幅広く研修を 実施(随時)	・就労支援事業所等との連携(随 時)	・就労支援事業所等との連携(随 時)	・就労者交流会(2回)
家族支援		・家族支援相談会(年12回) ・家族者交流会の実施	・出張家族支援相談会(田川保健 福祉事務所、京築保健福祉事 務所)	・出張家族支援相談会(北筑後保 健福祉環境事務所)	・福岡地区家族交流会の実施 ・家族会主催行事等への協力 ・高次脳機能障がい児家族会「つ ばさジュニア」の支援、九州キッ ズ家族交流会の開催
施設等支援			・施設からの高次脳機能障害者 に関する相談に対応し連携を行う (随時)		地域活動支援センター「翼」との 連絡会(4回) 施設訪問及び出席講座の実施
研究			・高次脳障がい者の自動車運転 再開評価に関する研究 ・高次脳障がい者の就労に関す る研究 ・外傷性脳損傷者の社会復帰に 関する評価法の開発	・認知症と高次脳機能障害者に おける運転適性評価の検討	
調査			福岡県内の脳損傷者(高次脳機 能障害者)の社会参加に関する 実態調査		
会議	主催	・高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会:委員数23名 年1回開催 ・ネットワーク会議:年5回 ・高次脳機能障がい支援家族交流会開催			
	協力		福岡県安全運転医療連絡協議会 (年2回)		福岡コージネット支援連絡会(2 回)
その他		・神経心理ピラミッドに則した訓練 プログラムの実施 ・高次脳機能障がい・発達障がい 外来診療(毎週水曜日) ・講師依頼(3件)	毎週月・水に開設 ・高次脳障害専門外来 ・自動車運転再開評価の実施	・精神神経科での外来診療 ・精神科デイケアでのリハビリ テーションの実施	・高次脳機能障がい者への通所 による自立訓練 ・自動車運転評価の実施
令和5年度特に力を 入れたこと		・就労系機関との連携強化 ・利用者の復職や新規就労に関 して積極的な関与 ・家族支援相談会の充実 ・県下家族会との連携強化 ・他県拠点機関との情報交換と関 係強化	・高次脳機能障害者の自動車運 転再開評価 ・福岡県安全運転医療連絡協議 会を当院が中心になり運営。新し くHPを開設した。実車教習を実施 する教習所が使用する「脳障害 者用実車教習採点表」を作成し、 医療機関への情報共有を統一し た。各自動車学校の教習車の装 備一覧を作成した。	・新規ケースの相談対応と継続 ケースへの再評価等を含めた定期 フォローアップ ・自動車運転再開に関わる支 援 ・復職および就労定着に関わる ケースの対応 ・基幹相談支援センターや就労支 援事業所等、関係機関との連携 強化	・福岡市及び近郊の急性期、回 復期48病院の連携室を訪問し資 料集を渡した。市内脳外科クリ ニックにリーフレットを配布した。 ・福岡コージネット特別編研修会 で一般市民を対象とした映画と トークショーを開催した。
今後の課題		・高次脳機能障がい者の就労支 援 ・家族支援 ・小児の高次脳機能障がい者支 援(就学相談含む) ・社会的行動障害への対応 ・自動車運転の再開について ・医療機関との連携	・自動車運転再開に向けて医療 機関での評価の統一、自動車教 習所との連携の強化 ・脳卒中中両立支援の啓発	・併存障害のあるケースや鑑別 診断が必要なケースへの対応 ・画像所見陰性のケースへの対 応 ・小児のケースの対応や支援	・社会的行動障がいのある人の 対応 ・退院後適切な支援につなぐた めの医療機関との連携
COVID-19感染拡大 の事業計画への影響 と対応		(影響) ・相談を受ける際に入手できる情 報量の減少(家族面会の制限を 受けて) (対応) ・基本会議はWEB形式に変更(集 合形式での会議にも参加) ・講演会等は集合形式で開催とし たが、参加者へは感染予防への 協力の呼びかけを行った	・研修会はweb開催を継続した。 ・相談事業はコロナ禍以前と同様 の対応をした。	・今の状況が平常となってきてい るため大きな影響は感じないが、 コロナ禍以前に戻ってはいない	・緩和されてきたものの入院中 の面会・外出制限によって、本人家 族の理解や退院後の生活準備が 進みにくい状況が続いている。 ・5類になったことで、対面での研 修会や会議ができるようになった。 そのため内容や参加者など によって、オンラインと対面を選ん で開催している。

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

県名		佐賀県		長崎県	熊本県
支援拠点機関名		佐賀大学医学部 附属病院	佐賀県高次脳機能障害者 相談支援センター ぶらむ	長崎こども・女性・障害者支援セ ンター	熊本託麻台リハビリテーション病 院
相談支援 (延件数)	直接相談	501件	201件	95件	431件
	間接相談	554件	170件	100件	212件
令和5年度の目標		・相談支援事業 ・関係機関の連携による支援ネッ トワーク体制の充実(特に地域支 援拠点機関との連携の推進) ・高次脳機能障害者連携支援 ツールの活用	・相談支援の充実 ・多職種との連携強化 ・家族支援	①ガイドブックの普及・活用を図 る。 ②支援者の資質向上を図る。 ③小児家族会への支援 ④関係機関の連携強化	①相談支援事業の充実 ②関係機関と支援体制の調整が 図れる(継続) ③就学・就労支援を強化する ④メールの「問い合わせフォー ム」の運用 ⑤くまもと県脳卒中ノートを利用し 高次脳機能障害の普及啓発を行 う
普及啓発活動		・高次脳機能障害リハビリテー ション講習会の開催 ・情報誌の発行	・高次脳機能障害研修会(1回) ・リーフレット、会報誌発行 ・ホームページ掲載	・各種リーフレット配布、ホーム ページ、広報誌への掲載、相談 支援における医療機関一覧の活 用 ・マスコミからの取材対応	・相談窓口の周知(相談支援実績 の増加) ・各種パンフレットの配布、ホーム ページの活用 ・研修会の実施し、研修会を通じ て普及啓発 9月6日:「熊本県内の高次脳機能 障害者の就労支援ネットワークに ついて」 3月13日:「熊本県内の精神科領 域での高次脳機能障害者への対 応等」
就労支援		障害者職業センター等への協力	・障害者職業センターや就労支援 事業所との連携強化 ・就労・復職に関するケース会議 等への参加 ・就労定着の為の治療の継続支 援	・障害者職業センター、医療機 関、職場との連携	・仕事と治療の両立支援の促進 ・在宅ワークを含めた多様な働き 方 ・就労事業所との連携支援
家族支援		・家族会(1回)	・支援会議(3回) ・家族会(3回) ・勉強会(5回) ・同行支援	・家族教室(3回) ・懇談会(成人:3回、小児:1回) ・他県小児家族会との交流会(1 回) ・小児家族会への支援(4回) ・医療、福祉、行政等を対象とし た研修会の開催	家族会の設立支援2年目 交流の場の提供 定期開催の支援
施設等支援		連絡会・ケース会議への開催、参 加	・高次脳機能障害者への対応や 支援方法の助言 ・担当者会議・地域ケア会議参加 ・連絡会・ケース会議への開催、 参加		・高次脳機能障害者への対応や 支援方法の助言 ・地域ケア会議への参加
研究		高次脳機能障害者支援ツールの 開発			
調査		医療機関における高次脳機能障 害に係る評価、検査及び診断実 施状況等調査		・市町における高次脳機能障害 相談支援体制の課題把握を目的 に市町アンケートを実施。	
会議	主催	・高次脳機能障害者支援連絡会 議(2回)		・高次脳機能障害者支援連絡協議 会(年1回) ・保健所担当者会議(年1回)	・高次脳機能障害者支援普及事業 九州ブロック会議
	協力	・全国高次脳機能障害者支援連絡協議会等(年2回) ・高次脳機能障害者支援普及事業九州ブロック会議(年1回) ・佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会(年2回)		・全国高次脳機能障害者支援連絡 協議会等(年2回) ・高次脳機能障害者支援事業九州 ブロック会議(年1回)	・高次脳機能障害者支援普及全国 連絡協議会 ・熊本県精神障害者雇用支援連 絡協議会 ・熊本市障がい者自立支援協議 会 ・嘉島町在宅医療連携会
その他		・定例会・支援会議・ケース会議 の開催 ・連携支援ノート「わたしのノート」 利用	・就労定着支援 ・関係機関への啓発 ・困難ケースへの対応	・高次脳機能障害者支援会議(年2 回) ・高次脳機能障害者支援・指導者養 成研修会(1回) ・研修会協力(保健所、リハ専門 職団体)	・支援会議の開催
令和5年度特に力を入れたこと		・相談支援事業(診断、治療、リハ ビリテーション等) ・地域拠点機関との連絡・相談	・相談者や当事者の正確な生活 状況や状態を把握し継続支援に 努めた ・同居家族のメンタルケア	・市町における高次脳機能障害 相談支援体制の課題把握を目的 に市町アンケートを実施。 ・相談支援体制整備を目的とした ガイドブックの普及啓発	・「治療と仕事の両立支援」を意 識して取り組み
今後の課題		・地域支援拠点機関との連携強 化 ・行政職員等に対する高次脳機 能障害の普及啓発	・相談支援におけるスーパーバイ ザーが不在 ・復職・就労支援の多職種連携強 化	・各圏域、各市町における相談支 援体制整備を図ることが必要。	・家族交流会の開催 ・熊本県高次脳機能障害者支援委 員会の開催、県内のネットワー ク作り ・両立支援の実施
COVID-19感染拡大 の事業計画への影響 と対応				研修会や家族支援などをオンライ ンで開催。	当事者の職場との面談、関係機 関との会議、研修会等をWEB会 議をツールを用いて開催

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

県名		宮崎県		大分県	
支援拠点機関名		宮崎県 身体障害者相談センター	宮崎大学医学部 附属病院	諏訪の杜病院	社会福祉法人 農業共済別府 リハビリテーションセンター
相談支援 (延件数)	直接相談 間接相談	114件 30件	9件 15件	132件 173件	167件 48件
令和5年度の目標		①高次脳機能障がい理解と支援について、当事者・家族・一般の方や支援者等を対象とした啓発活動の継続 ②2か所で開設する「通所教室」の運用	①講演会の広報活動 ②地域の多種多様な支援者間のネットワーク構築 ③支援機関連携の実績の増加 ④家族会支援の継続	①高次脳機能障がいの発生状況把握 ②専門的な相談支援の充実 ③関係機関との支援ネットワークの推進 ④住民および関係機関への普及・啓発事業 ⑤公安委員会との連携	
普及啓発活動		①高次脳機能障がいに関する研修会の開催(2回) ②県内公共図書館等におけるパネル展による啓発 ③他機関や自センターの情報紙への記事掲載による啓発 ④リーフレットや情報紙の改定 ⑤会議の場や出前講座等を活用した啓発	高次脳機能障害に関する講演会の開催(1回)	①市町村窓口、回復期病院、相談支援事業所等へ挨拶回り ②支援ハンドブック、ポスター、リーフレット等の配布、改定 ③相談窓口の周知 ④地域の支援者向け研修会の実施	
就労支援		①就労支援機関連絡会等への参加と情報発信 ②当事者家族・支援者に対する就労上の相談・支援 ③支援協力機関への訪問時の情報共有及び支援	—	・情報提供及び職場上司等との面談(情報提供) ・障害者職業センター等、関係機関との連携 就労支援マップの活用 就労支援ハンドブック作成	相談支援専門員との連携
家族支援		①家族会活動の支援(定例会参加・相談支援) ②「通所教室」参加家族の支援	家族会定例会への参加	・家族会の紹介 ・高次脳機能障害友の会「おおいだ」定例会への参加	家族会の紹介
施設等支援		①相談支援員に対する相談・支援 ②施設支援員対象の出前講座	—	・情報提供及び担当者会議への参加 ・支援方法等の指導、助言	
研究調査		—	宮崎県高次脳機能障がい者通所教室の効果に関する研究	未実施	未実施
会議		主 催	①宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会 1回	大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会(年1回) 大分県高次脳機能障がい支援拠点機関会議(毎月) 大分ドライブサポート会議(年1回)	
		協 力	①宮崎県高次脳機能障がい支援連絡会議 ②高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ③高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 ④高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議 ⑤宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会	①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(Web) 1回 ②R5年度高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(Web) 1回 ③R5年度九州ブロック会議(Web) 1回 ④高次脳機能障害者通所事業検討会議	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(年2回) 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(年2回) 高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター九州ブロック会議(年1回) 高次脳機能障がい支援事業所ネットワーク運営会議(年1回)
その他		—	高次脳機能障害者通所事業運営協力	大分県自立支援協議会(年2回) ピアサポーター養成準備研修	大分県自立支援協議会(年2回)
令和5年度特に力を入れたこと		R5年度県政の重点施策情報発信事業の実施 (パネル作成、展示9か所) 高次脳機能障がい通所関連事業の実施 リーフレット作成	①宮崎県高次脳機能障害者通所事業の検討・運営の協力に力を入れた。 ②宮崎県高次脳機能障がい者通所教室の効果に関する研究に力を入れた。	①家族会の支援 ②支援者の研修会 ③自動車運転再開支援 ④ハンドブック改訂	①免許センターとの連携 ②支援者の研修会
今後の課題		教育機関への啓発と就学生徒への支援	高次脳機能障がい支援に関心を寄せ協力している機関と支援者は固定している。支援体制の継続と拡大には、もっと分かりやすく、取り組みやすい支援モデルを示す必要がある。	①医療機関の障害福祉分野に関する制度の理解不足 ②自動車運転再開支援	①支援者養成研修の開催 ②拠点機関以外での高次脳に関する相談対応及び診断書や手帳の作成支援 ③第2号被保険者の障害サービス利用の調整(医療機関、行政等)
COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応		2回啓発セミナーに関して、ハイブリット形式で実施	会議等については、Web形式や感染状況に合わせた対面形式で行った。	①研修会をハイブリットにて開催	外来診療は特に制限もなかった。

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

県名		鹿児島県	沖縄県	
支援拠点機関名		鹿児島県精神保健福祉センター	沖縄リハビリテーションセンター病院	平安病院
相談支援 (延件数)	直接相談	222件	50件	394件
	間接相談	69件	96件	486件
令和5年度の目標		①相談支援の充実 ②普及・啓発の推進 ③各圏域におけるネットワーク体制の充実 ④家族会支援の充実	高次脳機能障害ハンドブック「就労支援編」を沖縄労働局・沖縄障害者職業センターと共同作成する。	①従来の医療福祉資源を活用した支援体制の推進 ②コロナ感染症対策を実施した普及啓発活動(本島、宮古、石垣) ③地域主催の研修会、カンファレンスへの協力による地域完結型支援体制の整備 ④精神科医療機関への普及啓発研修
普及啓発活動		・研修会(一般県民)(専門職)(圏域)開催 ・高次脳機能障害者支援ガイドやリーフレットの配布 ・「高次脳機能障害者支援センター便り」の作成及び配布	・高次脳機能障害セミナー(就労) ・失語症セミナー ・各種支援情報冊子の制作・配布	①高次脳機能障害支援普及事業講演会の開催(本島・宮古・八重山) ②実習生や研修生、研修医への研修 ③精神保健福祉士への地域連携のための高次脳機能障害研修 ④ジョブサポーター養成研修(1コマ)
就労支援		・就労支援機関主催の連絡会への参加 ・就労支援機関との連携強化	・沖縄県障害者雇用連絡会議へ参加し、関係機関と連携	・ジョブサポーター養成研修への参加 ・就労支援事業所とのカンファレンス ・ハローワークとの面談同席
家族支援		・家族会活動への支援 ・高次脳機能障害(小児期)の子どもを持つ家族交流会の開催	・失語症当事者・家族プログラムの新設	今期は中止
施設等支援		・障害者支援施設「ゆすの里」、通所介護事業所「リハステーションゆす」への随時支援(*高次脳機能障害者支援に特化した施設)	・各専門領域の支援者とのケース検討会	・モニタリングへの参加
研究調査		外部機関のアンケート調査等への協力		
会議	主催		①拠点機関連絡会議(年12回) ②高次脳機能障害支援普及事業院内会議(年12回)	①拠点機関連絡会議(年6回) ②高次脳機能障害支援普及事業院内会議(年12回)
	協力	・全国高次脳機能障害支援連絡協議会等(web会議年2回) ・高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(web会議年2回) ・九州ブロック会議(web会議年1回) ・就業・生活支援センター連絡会議出会(web会議年4回) ・就労支援ネットワーク会議(Web会議年2回、参集型年1回)	沖縄県障害者雇用支援連絡会議	・ケース会議参加(8回) ・ケアリングコミュニティ実行委員会(8回)
その他		・自動車事故対策機構交流会への参加 ・県内4大学 心理学、精神保健福祉士コースの学生講話	第12回日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会沖縄大会の実行委員	・高次脳機能障害講演会の広報 ・特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」インタビュー協力
令和5年度特に力を入れたこと		①就労支援(障害者職業センターや基幹障害者支援センターとの連携) ②家族会活動支援 ③普及啓発の継続 ④相談業務の充実	高次脳機能障害ハンドブック「就労支援編」を沖縄労働局・沖縄障害者職業センターと共同作成。	・島嶼地区での対面研修の実施 ・直接対面で相談を受ける機会を作る
今後の課題		①圏域ごとの支援ネットワークの構築 ②県民への普及・啓発 ③相談支援事業所との連携	・対面研修の再開 ・家族会の再開	・家族支援 ・島嶼地区の支援の充実
COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応		・来所相談件数の減少 ・研修会は参集型での開催に戻った。	・集合研修を中止としWEB研修へ変更 ・家族会の中止	・調整会議等はリモート会議で対応 ・家族会の中止

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
福岡県					
コージェット基礎編研修会	福岡市立心身障がい福祉センター	医療、福祉、介護、行政、就労支援等の支援者、当事者、家族	R5.5.19	Web 200名 YouTube 48名	「高次脳機能障がいの基礎知識」 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科教授 渡邊修氏
福岡県警教養課研修	福岡県警察本部教養課	県警職員	R5.5.25	ハイブリッド 147名	「身体障がい、高次脳機能障がい等について」 福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市基幹相談支援センター	ホームヘルパー	R5.8.18	18名	「高次脳機能障がいの症状と対応、事例検討会」 福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
コージェット特別編研修会	福岡市立心身障がい福祉センター	医療、福祉、介護、行政、就労支援等の支援者、当事者、家族、一般市民	R5.8.26	137名	「映画「いのち見つめて」上映会」 「トークショー」映画関係者、大牟田吉野病院 伊藤憲一氏、当事者、ご家族
出前講座	医師会地域包括支援センター	地域包括支援センター職員	R5.10.17	32名	「高次脳機能障がいについて」 福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
大牟田三池炭鉱災害60周年シンポジウム	60年記念シンポ実行委員会	医療、福祉、介護、行政、就労支援等の支援者、当事者、家族	R5.10.21	108名	「高次脳機能障害者の相談支援～あいあいセンターの支援の状況から～」福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
第11回福岡県リハビリテーション講習会 オンデマンド配信	産業医科大学病院	医療関係者、当事者・ご家族、福祉・行政関係者	R5.11.1～ 12.27	189	福岡県高次脳機能障害支援拠点機関の取り組み 講演1. 福岡県高次脳機能障害支援拠点機関の取り組み 福岡県障がい者リハビリテーションセンター／センター長 永吉 美砂子 高次脳機能相談支援コーディネーター 牟田 茂 講演2. 福岡市立心身障がい福祉センターの取り組み 福岡市立心身障がい者福祉センター主査 小原 葉子 高次脳機能相談支援コーディネーター 和田 明美 講演3. 久留米大学病院の取り組み 久留米大学高次脳疾患研究所教授 小路 純央 高次脳機能相談支援コーディネーター 弥吉 江理奈 講演4. 産業医科大学病院の取り組み 産業医科大学リハビリテーション医学講座教授 佐伯 寛 高次脳機能相談支援コーディネーター 白石 厚美
令和5年度第1回福岡県高次脳機能障がい支援セミナー	福岡県福岡県障がい者リハビリテーションセンター	行政関係者・医療・福祉・教育関係者などの支援者	R5.11.10	325	「高次脳機能障がいについて ～症状と対応～」 講師 小路 純央 氏 (久留米大学高次脳疾患研究所 教授)
筑紫野市社会福祉協議会研修	筑紫野市社会福祉協議会	民生児童委員	R5.12.8	21名	「高次脳機能障がいについて」 福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
山口県高次脳機能障害支援アセスメント研修	山口県こころの医療センター高次脳機能障害支援センター	医療機関、障害者支援機関等の相談員、介護支援専門員	R5.12.10	Web 41名	「高次脳機能障害の方のアセスメントと対応方法について」福岡市立心身障がい福祉センター 和田明美
令和5年度第2回福岡県高次脳機能障がい支援セミナー	福岡県福岡県障がい者リハビリテーションセンター	行政関係者・医療・福祉・教育関係者などの支援者	R5.12.12	359	「高次脳機能障がい者の支援について～生活期への支援を中心に～」 講師 小原 葉子 氏 (福岡市立心身障がい福祉センター 精神神経科医師)
コージェット応用編研修会	福岡市立心身障がい福祉センター	医療、福祉、介護、行政、就労支援等の支援者	R6.1.19	Web 121名	「リレー式事例紹介」 福岡県障がい者リハビリテーションセンター 牟田茂氏 福岡市立心身障がい福祉センター 山部久美子氏 地域活動支援センター 園田睦美氏 就労移行支援事業所クロスジョブ福岡 萩原敦氏 「高次脳機能障害Q&A」

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
令和5年度福岡県高次脳機能障がい講演会	福岡県福岡県障がい者リハビリテーションセンター	上記に加え、当事者・家族及び一般市民	R6.2.12	131	「脳が壊れるということ」 —高次脳機能障害について 親として、精神科医として— 講師 納谷 敦夫 氏 (なやクリニック 高次脳機能外来 精神科医)
佐賀県					
第28回高次脳機能障害リハビリテーション講習会	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	医療・保健・福祉・介護従事者、一般、当事者、当事者家族等	R5.10.31	69	テーマ:「高次脳機能障害の基礎知識と支援の現状・課題」 講師:国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害・情報支援センター長 深津 玲子 氏
第29回高次脳機能障害リハビリテーション講習会	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	R6.1.28	47	テーマ:「リハビリテーションにおける作業療法士の役割について～拠点機関病院の支援の実際と課題～」 講師:佐賀大学医学部附属病院 作業療法士 北村 葉月 氏 テーマ:「後見人制度について」 講師:佐賀県社会福祉士会 社会福祉士 泉福 弘美 氏
令和5年度高次脳機能障害研修会	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぶらむ	医療・保健・福祉・介護従事者、一般、当事者、当事者家族等	R5.10.15	36	テーマ:「リハビリテーションをとおして現場から思うこと」 講師:八谷 瑞紀 氏(作業療法士) 脇山 鏡太郎 氏(言語聴覚士) 佐古 英樹 氏(作業療法士) 座長:松尾 崇史 氏(熊本保健学科大学 准教授)
長崎県					
長崎県高次脳機能障害支援研修会	長崎県高次脳機能障害支援センター	医療、教育、福祉、介護、就労、行政関係者等	R5. 11.20	137名	①使い方説明会(高次脳機能障害にかかる相談支援で活用できる社会資源) 講師:こころね相談支援センター 相談支援専門員 岩永チヨミ氏 ②各機関における高次脳機能障害支援について 講師 1 教育:長崎市立滑石中学校 教頭 上原敏勝氏 2 回復期病院:長崎リハビリテーション病院 社会福祉士 山崎智子氏 3 相談支援事業所:BRIDGE ぴーぶる 相談支援専門員 平井美津子氏 4 就労支援機関:長崎障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 池田崇文氏 5 支援拠点機関:長崎県高次脳機能障害支援センター 太田尾有美氏 6 当事者会:ピアサポート『ぶらむ』長崎/よりよりホームズ 西川雅人氏
小児高次脳機能障害支援学習会	長崎県高次脳機能障害支援センター	18歳未満で受傷発症した高次脳機能に障害をもつ児・者とその家族、支援者等	R5. 8.19	14名	①自立訓練施設などについて(情報提供) 講師:太田尾有美氏 ②今から知っておきたい将来のこと 講師:社会福祉法人ウィキャン・サポート 長崎市障害者相談支援事業所 つどい 相談支援専門員 末長はるか氏
熊本県					
令和5年度高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議	熊本県・医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院	九州各県の高次脳機能障害支援普及事業の行政担当者及び支援コーディネーター	令和5年12月6日	37	熊本県における高次脳機能障害を有する症例の就労支援の現状と問題点
令和5年度 第1回熊本県高次脳機能障害支援センター研修会	熊本県・医療法人堀尾会熊本託麻台リハビリテーション病院	医師、医療従事者、相談支援事業所、地域包括支援センター、行政機関(市町村、保健所等)	令和5年9月6日	209	「熊本県内の高次脳機能障害者の就労支援ネットワークについて」 熊本障害者就業・生活支援センターくまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁 里 祐子 氏 熊本障害者職業センター 清家 慎太郎 氏

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
令和5年度 第2回 熊本県高次脳機能 障害支援センター 研修会	熊本県・医療法人堀 尾会熊本託麻台リハ ビリテーション病院	医師、医療従事 者、相談支援事 業所、地域包括 支援センター、行 政機関(市町村、 保健所等)	令和6年3月 13日	206	「精神科分野での高次脳機能障がい者への対応につ いて」 講師：近畿大学医学部 精神神経科学教室 主任教授 橋本 衛 氏
大分県					
第33回大分県高次 脳機能障害リハビリ テーション講習会	諏訪の杜病院	医療者等	R5.9.3	103	講演 「突然、妻が倒れたら ～家族はどう高次脳機能障害に伴走すべきか～」 元キャスター・解説委員 松本 方哉氏
九州保健福祉大学 言語聴覚科講義	諏訪の杜病院	学生	R5.5.20	30	高次脳機能障害概論
第34回大分県高次 脳機能障害リハビリ テーション講習会	諏訪の杜病院	医療者等	R6.1.21	92	講演 「高次脳機能障害者支援の現状と課題、 そしてこれから」 国立障害者リハビリテーションセンター 顧問 深 津 玲子先生
九州圏高次脳機能 障害ピアサポーター 準備研修	諏訪の杜病院		R6.3.25	12	オリエンテーション グループディスカッション
令和5年度大分県 高次脳機能障害職 種別研修会	別府リハビリテーシ ョンセンター 諏訪の杜病院	相談支援専門員 等	R5.11.25	18	講演 「目に見えない障がいと向き合って生きていく」 かけはしプロジェクト 代表 北島 麻衣子氏
宮崎県					
R5年度第1回高次 脳機能障がい啓発 セミナー	宮崎県身体障害者 相談センター	医療・福祉・保健・ 行政・当事者・家 族・一般	R5.7.30	58	1. 高次脳機能障がい者の社会生活を考える 講師：なやクリニック医師 納谷 敦夫 氏 2. 地域における高次脳機能障がい者への連携支援 について ～通所教室「結」の取組を通じて見えてきた 課題 (パネルディスカッション) 【パネリスト】 ・納谷 敦夫 氏 ・宮崎大学附属病院 高次脳機能障がいコーディネ ーター 作業療法士 中武 潤 氏 ・潤和会記念病院リハビリテーション療法部 作業療法士 大山 望 氏 ・宮崎保健福祉専門学校作業療法科 専任教員 清武昌光 氏 ・みやざき高次脳機能障がい家族会あかり会長 飛田 洋 氏 ・宮崎県障害者職業センター 所長 高瀬 健一 氏 ・宮崎県身体障害者相談センター 所長 山本 宣博 氏
R5年度高次脳機能 障がい市民公開講 座	宮崎県身体障害者 相談センター 宮崎大学医学部 (共催)	県民	R5.10.22	79	1. 大分県における高次脳機能障がい支援の取組み ～共に生きるを考える～ 講師：医療法人光心会 諏訪の杜病院 支援コーディネーター 陰山 友紀 氏 2. 令和5年度宮崎県高次脳機能障がい者通所事業 講師：宮崎県身体障害者相談センター所長 山本 宣博 氏 3. 高次脳機能障害とリハビリテーション 講師：鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科リハビリテーション医学・助 教 河村 健太郎 氏
R5年度第2回高次 脳機能障がい啓発 セミナー	宮崎県身体障害者 相談センター	医療・福祉・保健・ 行政・当事者・家 族・一般	R6.1.21	50	高次脳機能障がい者の就労支援について 講師：社会福祉法人名古屋リハビリテーション事業団 自立支援部長 稲葉 健太郎 氏
令和5年度高次脳 機能障がい講演会	県医師会(委託)	医師・医療機関の 職員	R6.2.8	69	社会復帰をめざす高次脳機能障害リハビリテーション 講師：国立障害者リハビリテーション 浦上 裕子 氏
出前講座 (1回)	宮崎県身体障害者 相談センター	医療・福祉支援者	R6.2.19	34	高次脳機能障がいの理解と支援 講師：高次脳機能障がい支援コーディネーター 岩切 幸子

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
鹿児島県					
令和5年度 高次脳機能障害者理解のための講演会(県民を対象とする講演)	精神保健福祉センター	県民	令和5年12月12日(火) 13時30分～16時00分	63	「高次脳機能障害と社会的行動障害について」～症状の特徴とその対応～ 鹿児島大学 医学部保健学科教授 窪田 正大 先生
令和5年度 高次脳機能障害者支援のための研修会(専門家研修)	精神保健福祉センター	専門職	令和5年11月14日(火) 13時30分～16時00分	60	「高次脳機能障害のリハビリテーションとその支援のあり方」 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 副技士長 有川瑛人 先生
令和5年度 高次脳機能障害者支援のための圏域研修会(専門家研修)	鹿屋保健所	専門職	令和6年3月5日(火) 15時15分～16時45分	51	「医療機関における高次脳機能障害者の支援について」 恒心会おぐら病院 リハビリテーション部 作業療法士 黒木一気 先生
沖縄県					
沖縄県失語症セミナー	(共催)沖縄県言語聴覚士会、沖縄リハビリテーションセンター病院	言語聴覚士、失語症支援に携わる方	R5.10.28	37名	言語情報処理モデルに基づいた失語症の評価と訓練～SLTAの結果から障害メカニズムを考える～ 熊本保健科学大学保健学部 教授 大塚裕一氏
沖縄県高次脳機能障害セミナー	(共催)沖縄県作業療法士会、沖縄リハビリテーションセンター病院	就労支援に関心のある医療従事者、就労支援機関の支援者	R5.11.25	33名	高次脳機能障害のある人の就労支援 川崎市北部・中部・南部リハビリテーションセンター 就労支援アドバイザー 大場龍男氏
高次脳機能障害支援普及講演会(本島開催)	社会医療法人へいあん 平安病院	沖縄県民	2023年11月19日(日)	49	高次脳機能障害の治療とリハビリテーション 沖縄国際大学 大学院 教授 上田 幸彦 先生
高次脳機能障害支援普及講演会(宮古開催)	社会医療法人へいあん 平安病院	沖縄県民	2023年10月21日(土)	20	高次脳機能障害者の運転免許再開支援について 沖縄リハビリテーションセンター病院 作業療法士 飯田 笑子先生 沖縄リハビリテーションセンター病院 言語聴覚士 謝花 江里香先生
高次脳機能障害支援普及講演会(八重山開催)	社会医療法人へいあん 平安病院	沖縄県民	2023年11月25日(土)	11	高次脳機能障害者の運転免許再開支援について 沖縄リハビリテーションセンター病院 作業療法士 飯田 笑子先生 沖縄リハビリテーションセンター病院 言語聴覚士 謝花 江里香先生
実習・研修生のための高次脳機能障害研修	社会医療法人へいあん 平安病院	県内大学実習生 法人研修生	2023年05月26日(金) 2023年08月15日(火) 2023年12月05日(火)	10	「高次脳機能障害と高次脳機能障害支援普及事業」
地域連携のための高次脳機能障害研修	社会医療法人へいあん 平安病院	法人地域連携室 精神保健福祉士	2023年08月09日(水) 2023年09月28日(木) 2023年09月05日(火)	21	「高次脳機能障害者への支援に必要な知識」
ジョブサポーター養成研修	障害者就労支援センターさわやか	ジョブサポーター	2023年11月18日(土)	30	「高次脳機能障害者と関係を築く」

1 令和5年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R5.4.1～R6.3.31)

都道府県	機 関 名	直接相談のべ件数					間接相談のべ件数					備 考
		電 話	来 院 所	メー ル 書 簡	そ の 他 訪 問 同 行 等	計	電 話	来 院 所	メー ル 書 簡	そ の 他 訪 問 同 行 等	計	
福岡県	産業医科大学病院	309	371	0	0	680	486	58	36	0	580	
	福岡県障害者リハビリテーションセンター	72	394	0	0	466	34	3	0	0	37	
	久留米大学病院	68	105	0	0	173	136	4	5	32	177	
	福岡市立心身障がい福祉センター	433	115	50	12	610	476	22	75	11	584	
	小計	882	985	50	12	1,929	1,132	87	116	43	1,378	
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	344	125	31	1	501	417	125	12	0	554	
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぷらむ※	135	44	18	4	201	135	10	5	20	170	
	小計	479	169	49	5	702	552	135	17	20	724	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター*	69	24	2	0	95	97	0	0	3	100	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	209	209	13	0	431	180	22	10	0	212	
大分県	諏訪の杜病院	101	30	0	1	132	172	1	0	0	173	
	社福)農協共済 別府リハビリテーションセンター	17	49	3	98	167	36	3	0	9	48	
	小計	118	79	3	99	299	208	4	0	9	221	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター*	87	21	6	0	114	25	5	0	0	30	
	宮崎大学医学部附属病院	8	1	0	0	9	15	0	0	0	15	
	小計	95	22	6	0	123	40	5	0	0	45	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター*	189	30	1	2	222	65	1	2	1	69	
沖縄県	平安病院	249	70	36	39	394	426	38	8	14	486	
	沖縄リハビリテーションセンター病院	42	8	0	0	50	94	2	0	0	96	
	小計	291	78	36	39	444	520	40	8	14	582	
	合 計:15か所 (医療機関11、行政機関3*、NPO法人※1)	2,332	1,596	160	157	4,245	2,794	294	153	90	3,331	

1 令和6年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		福岡県			
支援拠点機関名	福岡県障がい者 リハビリテーションセンター	産業医科大学病院	久留米大学病院	福岡市立 心身障がい福祉センター	
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業(継続) ・普及啓発事業(高次脳機能障害支援ガイド、リーフレットの刷新・配布) ・研修会及び講演会の実施、会議等への参加 ・利用者への就労支援の強化 ・家族会との連携強化 ・ホームページを刷新、情報発信強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の就労支援に関して、関係部署と連携を図りながら進めていく ・福岡県安全運転医療連絡協議会を通して、自動車運転再開に向けて医療機関での評価の統一、自動車教習所との連携の強化をおこなっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を中心とした支援の継続実施 ・研修会及び講演会の講師派遣等による普及啓発 ・就労支援事業所等、関係機関との連携強化 ・自動車運転評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が途切れないようにするための普及啓発及び関係機関との連携 ・スタッフ間における支援や啓発スキルの継承強化 	
普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいホームページにて情報発信(イベント情報の掲載や印刷物のダウンロードなど) ・高次脳機能障害支援事業のリーフレット、支援ガイドを活用し関係機関へ訪問し広報・普及啓発 ・近隣県拠点機関へ訪問し当事者の情報交換及び連携強化 ・医療・福祉・行政従事者向け研修会の開催 ・当事者・家族など広く県民を対象とした研修会の開催 ・講師依頼への積極的な受託 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい支援事業のリーフレット及び関係者向け支援ガイドの配布 ・福岡県リハビリテーション講習会の開催 ・研修講師派遣 ・脳卒中両立支援事業の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業のリーフレット・関係者向け支援ガイドの配布 ・各種研修会への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信 ・福岡コージネット研修会(年3回) ・出前講座、研修講師派遣(随時) 	
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の企業での体験実習(随時) ・障害者職業センターとの連携強化 ・障がい理解のため幅広く研修を実施(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所等との連携(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所等との連携(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者交流会(年2回) 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援相談会(年12回) ・家族会交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張家族支援相談会(飯塚保健福祉事務所、京築保健福祉事務所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張家族支援相談会 ・家族交流会(南筑後保健福祉環境事務所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会の実施 ・家族会主催行事等への協力(随時) ・高次脳機能障がい児家族会「つばさジュニア」の支援 	
施設等支援		<ul style="list-style-type: none"> ・施設からの高次脳機能障害者に関する相談に対応し連携を行う(随時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター「翼」との連絡会(年4回) ・施設訪問及び出前講座の実施 	
研究		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳障がい者の自動車運転再開評価に関する研究 ・高次脳障がい者の就労に関する研究 ・高次脳機能障害に係る実態把握と今後の課題検討(仮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症と高次脳機能障害者における運転適性評価の検討 		
調査					
会議	主催	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会:委員数23名 年1回開催 ・ネットワーク会議:年5回 			
	協力		福岡県安全運転医療連絡協議会(年2回)	福岡コージネット支援連絡会(年2回)	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がいの特性に応じた訓練プログラムの実施 ・高次脳機能障がい・発達障がい外来診療(毎週木曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・水に開設 ・高次脳障害専門外来 ・自動車運転再開評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神神経科での外来診療 ・精神科デイケアでのリハビリテーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい者への通所による自立訓練 ・自動車運転評価の実施 	

1 令和6年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		佐賀県		長崎県		熊本県			
支援拠点機関名		佐賀大学医学部 附属病院		佐賀県高次脳機能障害者相談支 援センター ぶらむ		長崎こども・女性・障害者支援セ ンター		熊本託麻台リハビリテーション病 院	
令和6年度の目標		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の連携による支援ネットワーク体制の充実(特に地域支援拠点機関との連携の推進) 県民への啓発促進 高次脳機能障害者連携支援ツールの活用 		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業の充実 多職種との連携強化 包括支援センターとの連携 家族支援(継続) 		<ul style="list-style-type: none"> ①圏域ごとの相談支援体制の強化 ②高次脳機能障害の普及啓発及び支援者の資質向上 ③地域資源の充実を図る 		<ul style="list-style-type: none"> ①相談支援事業の充実 ②関係機関と支援体制の調整が図れる。社会資源を知り連絡相談ができる ③就学・就労支援を強化する⇒個別支援を通じた関係機関との連携、当院の就学就労支援センターとの連携 ④メールの「問い合わせフォーム」の積極的な活用 ⑤くまもと県脳卒中ノートを利用し高次脳機能障害の普及啓発を行う ⑥脳卒中相談窓口との連携 ⑦高次脳機能障害者支援委員会の結成、組織作り⇒5か年計画(活動開始1年目) 	
普及啓発活動		<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害リハビリテーション講習会の開催 情報誌の発行 チラシ類の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害研修会開催 相談窓口の周知 ホームページ・リーフレットの活用 		<ul style="list-style-type: none"> 各種リーフレット配布、ホームページ、広報誌への掲載、相談支援における医療機関一覧の活用 マスコミからの取材対応 		<ul style="list-style-type: none"> ①相談窓口の周知(相談支援実績の増加) ②各種パンフレットの配布、ホームページの活用 ③研修会の実施(8.3月/年2回)、研修会を通じて普及啓発 ④研修案内のペーパーレス化 	
就労支援		<ul style="list-style-type: none"> 障害者職業センターなど支援実施事業所との連携強化 		<ul style="list-style-type: none"> 就労支援事業所等との連携(随時) 障害者職業センター、ハローワークとの連携 在宅ワーク支援 		<ul style="list-style-type: none"> 就労支援機関、就労支援事業所、医療機関、職場との連携 		<ul style="list-style-type: none"> ①仕事と治療の両立支援の促進 ②在宅ワークを含めた多様な働き方の支援 ③就労に係る関係者会議への積極的参加 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 各種手続きに関して関係機関と連携をとり窓口を紹介 家族会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 相談会開催 家族会開催 		<ul style="list-style-type: none"> 家族教室(2回) 懇談会(成人:2回、小児:1回) 小児家族会への支援(4回) ピアサポート支援(4回) 		<ul style="list-style-type: none"> 【家族会立ち上げに向けた3~4カ年計画】:2年目 交流の場を定期的に設けられるよう支援する 	
施設等支援		<ul style="list-style-type: none"> 地域支援拠点機関連携会議の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議参加(随時) 高次脳機能障害者支援者研修会開催 地域の包括支援センターとの連携 		<ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉、行政等を対象とした研修会の開催 通所リハビリテーション見学受け入れ 		<ul style="list-style-type: none"> 障害者施設、事業所などへの個別支援 	
研究									
調査		医療機関における高次脳機能障害に係る評価、検査及び診断実施状況等調査				医療機関と自動車学校との連携状況の聞き取りを予定。			
会議	主催	高次脳機能障害者支援連絡会議				<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害者支援連絡協議会(年1回) 保健所担当者会議(年1回) 		高次脳機能障害者支援委員会世話人会の定期開催、高次脳機能障害者支援委員会の結成、組織作り⇒5か年計画(活動開始1年目)	
	協力	<ul style="list-style-type: none"> 全国高次脳機能障害者支援連絡協議会等(年2回) 高次脳機能障害者支援普及事業九州ブロック会議(年1回) 佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会(年2回) 				<ul style="list-style-type: none"> 全国高次脳機能障害者支援連絡協議会等(年2回) 高次脳機能障害者支援事業九州ブロック会議(年1回) 		<ul style="list-style-type: none"> 全国高次脳機能障害者支援連絡協議会等(年2回) 高次脳機能障害者支援普及事業九州ブロック(年1回) 熊本市障がい者自立支援協議会 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> 定例会・支援会議・ケース会議の開催 医療機関・市町・就労関係機関との連携強化 連携支援ノート「わたしのノート」利用 		<ul style="list-style-type: none"> 困難事例への対応 高次脳機能障害者単身者の生活支援 成年後見制度の周知 介護施設支援員との情報交換利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害者支援会議(年2回) 高次脳機能障害者支援・指導者養成研修会(1回) 研修会協力(保健所、リハ専門職団体) 		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議の定期開催 	

1 令和6年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		宮崎県		大分県	
支援拠点機関名		宮崎県 身体障害者相談センター	宮崎大学医学部 附属病院	諏訪の杜病院	社会福祉法人 農業共済別府 リハビリテーションセンター
令和6年度の目標		①高次脳機能障がいへの理解と支援について、当事者・家族・一般の方や支援者等を対象とした啓発活動の継続 ②2か所で開設する「通所教室」の運用と今後の体制の検討	①講演会の広報活動 ②地域の多種多様な支援者間のネットワーク構築 ③家族会支援の継続 ④宮崎県高次脳機能障がい通所教室の効果に関する研究の解析と報告	①専門的な相談支援の充実 ②関係機関との支援ネットワークの推進 ③住民および関係機関への普及・啓発事業 ④医療機関リストの作成 ⑤公安委員会との連携 ⑥高次脳機能障害支援養成研修の実施 ⑦九州ブロック会議の開催	
普及啓発活動		①高次脳機能障がいに関する啓発セミナーの開催(2回)、医療従事者向け講演会(医師会委託1回) ②リーフレットの機会配布の啓発 ③県内公共図書館等におけるパネル展による啓発 ④他機関や自センターの情報紙への記事掲載による啓発 ⑤会議や出前講座等を活用した啓発	高次脳機能障害に関する講演会の開催(1回)	①市町村窓口、回復期病院、相談支援事業所等へ挨拶回り ②支援ハンドブック、ポスター、リーフレット等の配布、改定 ③相談窓口の周知	
就労支援		①就労支援機関連絡会等への参加と情報発信	—	・情報提供及び職場上司等との面談 ・障害者職業センター等、関係機関との連携	
家族支援		①家族会活動の支援(定例会参加・相談支援) ②「通所教室」参加家族の支援	家族会定例会への参加	・家族会の紹介 ・高次脳機能障害友の会「おおいだ」定例会への参加	・家族会の紹介 ・定例会での拠点機関の役割説明
施設等支援		①相談支援員に対する相談・支援 ②施設内支援員対象の出前講座	—	・情報提供及び担当者会議への参加 ・支援方法等の指導、助言	
研究		—	宮崎県高次脳機能障がい者通所教室の効果に関する研究の継続		
調査		—	—	医療機関リスト作成のためのアンケート調査	
会議	主催	①通所事業運営会議(4回)	宮崎県高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会 1回	大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会(年1回) 大分県高次脳機能障がい支援拠点機関会議(毎月) 大分ドライブサポート会議(年1回) 高次脳機能障害支援者養成研修(基礎、実践各1回) 高次脳機能支援普及事業支援コーディネーター九州ブロック会議(年1回)	
	協力	①宮崎県高次脳機能障がい支援連絡会議 ②高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ③高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 ④高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議 ⑤宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会	①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(Web) 1回 ②R6年度高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(Web) 1回 ③R6年度九州ブロック会議(Web) 1回 ④高次脳機能障害者通所事業検討会議	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(年2回) 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(年2回) 高次脳機能障がい支援事業所ネットワーク運営会議(年1回)	
その他		—	宮崎県高次脳機能障害通所事業運営協力		

1 令和6年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		鹿児島県	沖縄県	
支援拠点機関名		鹿児島県精神保健福祉センター	沖縄リハビリテーションセンター病院	平安病院
令和6年度の目標		①相談支援の充実 ②普及・啓発の推進 ③各圏域におけるネットワーク体制の充実 ④家族会支援の充実	①失語症当事者の会の開催 ②対面での研修会の再開	①高次脳機能障害とその支援について県民や福祉関係者へ広く普及・啓発する。 ②島嶼地区での相談会や研修の実施
普及啓発活動		・研修会(一般)(専門職)(圏域)開催 ・支援ガイドやリーフレットの活用 ・「高次脳機能障害者支援センター便り」の作成及び配布	・高次脳機能障害セミナー(基礎・就労・運転) ・失語症セミナー ・各種支援情報冊子の制作・配布	高次脳機能障害講演会 専門職研修の実施
就労支援		・就労支援機関との連携強化	・沖縄県障害者雇用連絡会議へ参加し、関係機関と連携	・支援窓口設置 ・支援コーディネーターによる支援
家族支援		・家族会活動への支援 ・高次脳機能障害(小児期)の子どもを持つ家族交流会の開催	・失語症当事者の会の開催	・支援窓口設置 ・支援コーディネーターによる支援 ・家族のつどいの開催
施設等支援		・障害者支援施設「ゆすの里」通所介護事業所「リハステーションゆす」への随時支援 ※それぞれ高次脳機能障害に特化した施設	・各専門領域の支援者とのケース検討会	・就労支援事業所とのカンファレンス
研究				
調査		外部機関のアンケート調査等への協力		
会議	主催	圏域のネットワーク連絡会開催(年1回)	①拠点機関連絡会議(年12回) ②高次脳機能障害事業運営会議(年12回)	①拠点機関連絡会議(年12回) ②高次脳機能障害事業運営委員会(年12回)
	協力	・全国高次脳機能障害支援連絡協議会(年2回) ・高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議(年1回) ・障害者就業・生活支援センター連絡会	全国高次脳機能障害支援連絡協議会(年2回)	全国高次脳機能障害支援連絡協議会(年2回)
その他			全国コーディネーター会議、研修等	①全国コーディネーター会議、研修等 ②各専門団体とのネットワーク会議

令和5年度高次脳機能障害支援実績調査結果

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等													延べ人数 (資格数)	実人数	備考					
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政				社会福祉主事	介護福祉士	施設長	理学療法士	その他
北海道	岩見沢保健所							9												9	9	
	滝川保健所							11												11	11	
	深川保健所							3												3	3	
	江別保健所	1	1	7				17					4							30	17	1名社会福祉士、心理職、精神保健福祉士、介護支援専門員、保健師を併有。3名精神保健福祉士、介護支援専門員、保健師を併有。3名精神保健福祉士と保健師を併有。
	千歳保健所			2				11				1								14	11	
	倶知安保健所							7												7	7	
	岩内保健所							3												3	3	
	室蘭保健所							8												8	8	
	苫小牧保健所							8												8	8	
	浦河保健所							3												3	3	
	静内保健所							3												3	3	
	渡島保健所							7												7	7	
	八雲保健所							5												5	5	
	江差保健所							5	1											6	6	保健師定数は4名だが、職員の休業により代替職員を採用したため5名とした。
	上川保健所					1		6												7	7	
	名寄保健所							6												6	6	
	富良野保健所							7	1											8	8	
	留萌保健所			1				8					3							12	8	
	稚内保健所							7												7	7	
	網走保健所							4												4	4	
	北見保健所							9												9	9	
紋別保健所							6												6	6		
帯広保健所							18					1							19	18		
釧路保健所			1				14												15	14		
根室保健所							4												4	4	うち1名は4～7月までの勤務（8月以降は3名体制）。	
中標津保健所							4												4	4		
特定非営利活動法人Re〜らぶ	1	1					1				1								4	3	A：当事者家族 B：社会福祉士 C：保健師と心理職を併有	
コロボックルさっぽろ											1			2		1	1		5	2		
北海道精神保健推進協会						1													1	1		
北海道大学病院	1		1																2	1		
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	3					1					3							7	4	A：社会福祉士・介護支援専門員を併有	
	メディカルコート八戸西病院	1					1												2	2		
岩手県	いわてリハビリテーションセンター	2	2																4	4		
宮城県	東北医科薬科大学病院		1				1												2	1	言語聴覚士と公認心理師/臨床神経心理士兼務	
	齋藤病院	2																	2	2		
	気仙沼市立病院						1												1	1		
	リハビリテーション支援センター						2												2	2		
	仙台市障害者総合支援センター		1										1						2	1		
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	2		2															4	4		
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター	3		2															5	3	社会福祉士と精神保健福祉士の併有：2名	
	鶴岡協立リハビリテーション病院	3		1															4	3	社会福祉士と精神保健福祉士を併有	

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等													延べ人数 (資格数)	実人数	備考					
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族介護支援専門員	行政	社会福祉主事				介護福祉士	施設長	理学療法士	その他	
福島県	総合南東北病院	2											1						3	2	A:社会福祉士と介護支援専門員を併有 B:社会福祉士を保有	
	あづま脳神経外科病院	3					1						1						5	4	A:社会福祉士と介護支援専門員を併有	
	(公財)会田病院	2											1						3	2	A:社会福祉士と介護支援専門員を併有	
	竹田総合病院	2		2															4	2		
	南相馬市立総合病院 公益財団法人ときわ会常磐病院	1 1																	1 1	1 1		
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター		1										1	1	1	1		1	6	5	A:その他(看護師)1名 B:介護支援専門員、介護福祉士併有1名	
	志村大宮病院	1											1						2	1		
	立川記念病院															1			1	1		
	筑波記念病院															1			1	1		
栃木県	足利赤十字病院	1		1															2	1		
	国際医療福祉大学病院	1													1				2	2	地域医療連携室室長代理 医療連携士	
	栃木県医師会塩原温泉病院	1											1						2	1		
	真岡中央クリニック					1													1	1		
	リハビリテーション花の舎病院					1													1	1		
	栃木県立リハビリテーションセンター 栃木県障害者総合相談所	1 1			1		1			1									4	3	精神保健福祉士と保健師を併有	
群馬県	前橋赤十字病院	2	1	2															5	2	A:社会福祉士・精神保健福祉士を併有 B:社会福祉士・精神保健福祉士、公認心理師を併有	
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	5		3									4					1	13	9	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有する者 3名 B:行政職でケースワーカー 1名	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	7	1	3	4	1							2					1	20	9	A:心理職を保有、B:社会福祉士・相談支援専門員・介護支援専門員を併有、CF:社会福祉士・精神保健福祉士を併有、D:社会福祉士・精神保健福祉士・相談支援専門員を併有、E:社会福祉士・相談支援専門員を併有、G:社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・生活支援員を併有、H:作業療法士を保有	
	旭神経内科リハビリテーション病院							2											2	2		
	総合病院国保旭中央病院					1													1	1		
	亀田リハビリテーション病院	1				1	2				1						1		6	6		
東京都	東京都心身障害者福祉センター		2			1	1											2	1	4	11	11

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等													延べ人数 (資格人数)	実人数	備考				
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政				社会福祉主事	介護福祉士	施設長	理学療法士
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	2	1	1							3								7	3	A:社会福祉士・ケースワーカー B:社会福祉士・精神保健福祉士・ケースワーカー C:心理職・ケースワーカー
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	1		1													1		3	2	専従コーディネーターは社会福祉士と精神保健福祉士を併有。他は、支援拠点を設置している精神保健福祉センターの精神保健福祉相談員が兼務。
	村上地域振興局健康福祉部																1		1	1	地域支援拠点を設置している保健所の精神保健福祉相談員が兼務。
	新発田地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
	新潟地域振興局健康福祉部																1		1	1	同上
	三条地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
	長岡地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
	柏崎地域振興局健康福祉部																1		1	1	同上
	魚沼地域振興局健康福祉部																1		1	1	同上
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
	十日町地域振興局健康福祉部																1		1	1	同上
	上越地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
	糸魚川地域振興局健康福祉部																1		1	1	同上
	佐渡地域振興局健康福祉環境部																1		1	1	同上
新潟市こころの健康センター																1		1	1	同上	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	3	2	2		2	1	1		6					2	1		1	21	16	A:社会福祉士と社会福祉主事を併有 B:社会福祉士と精神保健福祉士と社会福祉主事を併有 C:心理職と精神保健福祉士を併有 D:生活支援員と介護福祉士を併有 E:その他は看護師
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター					8			4	1							1	1	15	15	看護師
福井県	福井総合クリニック (福井県高次脳機能障害支援センター)		1			1	1												3	3	専任:ST、心理職 兼任:OT(1回/週、半日)
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター	1	1	1	2	1						1							7	3	A:社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員、介護支援専門員を併有 B:作業療法士 C:臨床心理士、公認心理師、相談支援専門員を併有

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等														延べ人数 (資格数)	実人数	備考		
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族介護支援専門員	行政	社会福祉主事	介護福祉士				施設長	理学療法士
長野県	佐久総合病院	1																1	1	
	健和会病院	2		1	1	3												7	5	・社会福祉士と相談支援専門員を併有 ・社会福祉士と精神保健福祉士を併有
	桔梗ヶ原病院	2		1														3	2	社会福祉士と精神保健福祉士を併有
	県立総合リハビリテーションセンター																			専任の職員は決めず、各部署で対応
岐阜県	精神保健福祉センター							1										1	1	
	中部脳リハビリテーション病院	1		1														2	1	
静岡県	オリブ	1		1	1							1						5	1	
	なかいずりハ	1			1													2	1	
	すまいるびいす													1				1	1	
	サポートセンターコンパス北斗	1			1													2	1	
	Mネット				2	2									1			5	2	A:精神保健福祉士と相談支援専門員と施設長を併有 B:精神保健福祉士と相談支援専門員を併有
	ワークセンター大きな木 ワークセンターふたば		1			3		1							1	1		7	4	心理師と施設長を併有 作業療法士とジョブコーチを併有 作業療法士と生活支援員を併有
愛知県	なごや高次脳機能障害支援センター(名古屋市長合リハビリテーションセンター内)	2		1	2	1	1									1		8	5	A:社会福祉士+精神保健福祉士+相談支援専門員 B:社会福祉士+相談支援専門員
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓											1						1	1	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	1		1	1						1					1		6	2	その他(キャリアコンサルタント)
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	1	1	1												1		4	3	A:精神保健福祉士と公認心理師(臨床神経心理士) B:看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 C:社会福祉士
京都府	京都府リハビリテーション支援センター(北部リハビリテーション支援センター)		2						1									3	3	
	京都市高次脳機能障害者支援センター		1			1			1								2	5	5	
大阪府	障がい者医療・リハビリテーションセンター	3	1	2											1			7	4	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B:心理職 C:社会福祉士 D:社会福祉士と精神保健福祉士と介護福祉士を併有
	堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター	2		1														3	2	E:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 F:社会福祉士
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	1															1	6	3	A社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士を併有 B介護支援専門員、介護福祉士を併有

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等														延べ人数 (資格数)	実人数	備考			
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族介護支援専門員	行政	社会福祉主事	介護福祉士				施設長	理学療法士	その他
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	1	1	1					1								2	6	2	A:社会福祉士と精神保健福祉士と公認心理師を併有 B:保健師とその他(看護師・助産師)併有	
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	2							1								1	4	2	A:社会福祉士、保健師を併有 4月～6月-Aと社会福祉士 7月～2月-Aのみ 3月-Aと看護師	
鳥取県	野島病院高次脳機能センター			1														1	1		
島根県	松江青葉病院			1														1	1	これらに加え、県内7圏域に圏域支援コーディネーターを配置している。	
	エスポワール出雲クリニック						1											1	1		
	松ヶ丘病院			1		1			1									3	2		
岡山県	川崎医科大学附属病院						1											1	1		
	ひらた旭川荘			1														1	1		
広島県	広島県立総合リハビリテーションセンター	2			3													3	12	4	A:社会福祉士と介護支援専門員と両立支援コーディネーターを併有 B:相談支援専門員と介護福祉士と福祉住環境コーディネーターを併有 C:相談支援専門員と介護支援専門員と介護福祉士を併有 D:社会福祉士と相談支援専門員と両立支援コーディネーターを併有
山口県	山口県立こころの医療センター	1	1	1														3	2	Aは公認心理師、Bは精神保健福祉士と社会福祉士を併有。	
徳島県	徳島大学病院	1						1										2	2		
香川県	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内)	1		1	2	2									1			7	4	A:相談支援専門員 B:社会福祉士と精神保健福祉士と介護福祉士と相談支援専門員 C:作業療法士 D:作業療法士	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	2				1			1									4	4		
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空		1		3	1										2		7	4	A:作業療法士と相談支援専門員を併有 B・C:理学療法士と相談支援専門員を併有	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター					1												1	1		
	福岡市立心身障がい福祉センター		1													1		2	2		
	産業医科大学病院		1														1	2	2	その他の職種は看護師。R6年1月より育休から心理士が復帰。2～3月は2名体制。	
	久留米大学病院			1														1	1		
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院							1									1	2	2		
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぶらむ				1					1								2	1		
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター					1										1		2	2		

1 令和5年度 高次脳機能障害支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職種等															延べ人数 (資格人数)	実人数	備考			
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政	社会福祉主事	介護福祉士				施設長	理学療法士	その他
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院					1														1	1	
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	4			4															8	4	主：1名 サブ：3名 全員相談支援専門員を兼務
	諏訪の杜病院	1	1			2	2			1									1	8	8	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター		1	1															1	3	1	その他は「看護師」
	宮崎大学医学部附属病院					1														1	1	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター							1							1					2	1	保健師と社会福祉主事を併有
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	1		1		2														4	4	
	社会医療法人へいあん平安病院		1	2		2														5	5	
合計		92	30	58	28	46	18	3	207	12	8	3	26	6	8	13	3	8	39	608	470	

2 令和5年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備考
		電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	
北海道	岩見沢保健所	57	5		22	74				
	滝川保健所	9	1			4				
	深川保健所		1			7				
	江別保健所	2		1						
	千歳保健所	4	1			3				
	倶知安保健所			3						
	岩内保健所	3				4				
	室蘭保健所	10	2							
	苫小牧保健所	13	2		13	28			6	
	浦河保健所				1					
	静内保健所				2					
	渡島保健所	2								
	八雲保健所				2					
	江差保健所	4							2	
	上川保健所	2		1		1				
	名寄保健所					1				
	富良野保健所	2	2							
	留萌保健所	3	1							
	稚内保健所	1			2	2				
	網走保健所				1					移動精神相談
	北見保健所	1	1		8	4				
	紋別保健所									
	帯広保健所	1	1		6					
	釧路保健所									
	根室保健所			1						手紙相談
	中標津保健所				2					
特定非営利活動法人Re〜らぶ	27	11	36	16	22	26	165	3		
コロボックルさっぽろ	1,528	167	1,299	548	375	116	28	42		
北海道精神保健推進協会	25	20	34	36	12			1		
北海道大学病院	196	98	3	8	428	126	20	1		
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	25	149	2		50	1			
	メディカルコート八戸西病院	11	378		2	44	2			
岩手県	いわてリハビリテーションセンター	338	395	95	25	331	48	58	1	
宮城県	東北医科薬科大学病院	8	1			21	1	4	1	
	齋藤病院					2		1		
	気仙沼市立病院					3				
	リハビリテーション支援センター	28	3	1		23		1		
	仙台市障害者総合支援センター	289	63	1	23	100	4	1	2	
	仙南保健福祉事務所					2				
	仙台保健福祉事務所	3				3				
	仙台保健福祉事務所岩沼支所									
	仙台保健福祉事務所黒川支所									
	北部保健福祉事務所	11	1			3				
北部保健福祉事務所栗原地域事務所										
東部保健福祉事務所	1	1			2			2		
東部保健福祉事務所登米地域事務所				4	30		1	2		
気仙沼保健福祉事務所	1	1								
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	81	4	2		103		56		
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター	87	69	2	1	58	6		1	
	鶴岡協立リハビリテーション病院	93	55	77	1	54	9	10	2	
福島県	総合南東北病院	139	31		6	83	6		2	
	あづま脳神経外科病院	45	90	1	5	73	6	1	3	
	(公財)会田病院	18	9			3				
	竹田総合病院	14	18			14	4			
	南相馬市立総合病院	15	3			17	2		1	
公益財団法人ときわ会常磐病院	21	1			14					

2 令和5年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備考
		電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	514	73	20	147	461	23	53	24	
	志村大宮病院	8	2		4	26	3		5	支援センターと連携し対応した件数を計上
	立川記念病院					1				支援センターと連携し対応した件数を計上
	筑波記念病院	6	3		2	5	3	2	2	支援センターと連携し対応した件数を計上
栃木県	足利赤十字病院	20	15			42	4			
	国際医療福祉大学病院	5	2			2				
	栃木県医師会塩原温泉病院									
	真岡中央クリニック									
	リハビリテーション花の舎病院									
	栃木県立リハビリテーションセンター								7	
	栃木県障害者総合相談所	124	41		8	82	3		16	
群馬県	前橋赤十字病院	501	337		9	172				
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	1,255	1,913	11	22	1,051	305	9	18	
	埼玉県総合リハビリテーションセンター	37	8	1	9	45	9	6	23	相談事業委託先
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	907	1,562	49	75	1,452	39	80	84	
	旭神経内科リハビリテーション病院	44				35		1		
	総合病院国保旭中央病院	21	386	2	20	7	17			
	亀田リハビリテーション病院	12	749		2	10	2	1		
東京都	東京都心身障害者福祉センター	322	9	3		388	27		2	
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	629	744	34	37	296	204		10	
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	203	59	4	4	173	11	74	8	
	村上地域振興局健康福祉部	4			2	2			1	
	新発田地域振興局健康福祉環境部	10							1	
	新潟地域振興局健康福祉部									実績なし
	三条地域振興局健康福祉環境部	5	3		4	24		3		
	長岡地域振興局健康福祉環境部	6				21				
	柏崎地域振興局健康福祉部		1							
	魚沼地域振興局健康福祉部	6	11	1	3	26			1	
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部		1			3				
	十日町地域振興局健康福祉部	5	16		1	7	1		1	
	上越地域振興局健康福祉環境部	4				4				
	糸魚川地域振興局健康福祉部	3				2				
佐渡地域振興局健康福祉環境部	11		2		2			1		
新潟市こころの健康センター									1	地域ケア会議
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	487	372	187	14	208	18	64	11	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	330	309	128	70	334	19	21	17	
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	338	642	100	99	811	102	114	20	
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター	231	268	157	9	236	32	28	84	
長野県	佐久総合病院	63	39		10	154	23	1	12	
	健和会病院	113	155		11	48	4	10		
	桔梗ヶ原病院	59	10	2		84	8		3	
	県立総合リハビリテーションセンター	124	187	1	3	146	3	5	4	
岐阜県	精神保健福祉センター	29	10			3				6 支援協力機関の相談件数（延べ数）377件（直接210件、間接167件）
	中部脳リハビリテーション病院	26	115	22		45	23			

2 令和5年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備考
		電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	
静岡県	オリブ	120	7		18	25			7	
	なかいずりハ	60	5		19	45	1	1	1	
	すまいるびいーす	42	28	15	10	25	15	5	15	
	サポートセンターコンパス北斗	57	7	10	145	72	2		7	
	Mネット	28	17	1	67	87				
	ワークセンター大きな木 ワークセンターふたば	12	3		4	22	4		2	
愛知県	なごや高次脳機能障害支援センター（名古屋市総合リハビリテーションセンター内）	1,474	1,747	198	116	1,592	727	3,553	287	
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター 笑い太鼓	590	40	416	607	1,008	44	207	657	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	244	39	25	191	648	4	10	50	
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	1,035	199	439	535	1,302	69	336	392	
	滋賀県立リハビリテーションセンター相談・支援係	10	16			24	28			実件数
	滋賀県立リハビリテーションセンター相談・事業推進係								1	
京都府	京都府リハビリテーション支援センター（北部リハビリテーション支援センター）	290	74	52	138	415	3	47	20	
	京都市高次脳機能障害者支援センター	755	465	90	94	822	27	115	10	
大阪府	障がい者医療・リハビリテーションセンター	1,069	487	67	2	1,740	88	54	4	
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	816	317	45	57	1,572	84	241	102	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	604	192	276	103	805	73	62	42	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	489	248	134	14	1,167	26	94	4	
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	334	12	1	281	193	3	1	11	
鳥取県	野島病院高次脳機能センター	151	28	1	19	140			3	
島根県	障がい福祉課	568	1,068	167	365	737	83	121	71	※左記実績は、7圏域の支援拠点の相談実績を合計したもの
岡山県	川崎医科大学附属病院	55	380	43	29	47	2	21	10	
	ひらた旭川荘	4	96	8	9	30				
広島県	広島県立総合リハビリテーションセンター	981	727	59	14	1,033	61	56	5	
山口県	山口県立こころの医療センター	524	351		34	423	20	10	46	
徳島県	徳島大学病院	12	115		71	16	4	2	3	
	社会医療法人凌雲会 稲次病院	1	1							
	社会医療法人芳越会 ホウエツ病院					1				
	鳴門山上病院						1	1		
	中洲八木病院					1				
	医療法人愛生会 兼松病院						3			
	たまき青空病院					10				
医療法人日向会 たけひさ医院	9	148			1	1				
香川県	かがわ高次脳機能障害支援センター（かがわ総合リハビリテーションセンター内）	96	54	2	134	633	55	4	43	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	1,573	1,403	1,472	53	1,504	603	232	27	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空	223	101	26	25	246	4	3	54	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	72	394			34	3			
	福岡市立心身障がい福祉センター	433	115	50	12	476	22	75	11	
	産業医科大学病院	311	372			486	59	37		
	久留米大学病院	68	105			136	4	5	32	
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	344	125	31		419	125	290		
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぶらむ	135	44	18	4	135	10	5	20	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	69	24	2		97			3	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	209	620	13		180	22	10		

2 令和5年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備考
		電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	電話	来院/来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行等）	
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	17	32	3	98	36	3		9	
	諏訪の杜病院	101	30		1	172	1			
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	87	21	6		25	5			
	宮崎大学医学部附属病院	8	1			15				
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	189	30	1	2	65	1	2	1	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	42	8			93	2			
	社会医療法人へいあん平安病院	249	70	36	39	426	38		2	
合計		24,140	19,993	5,993	4,586	27,600	3,560	6,435	2,380	94,687

3 令和5年度 主催した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
北海道	岩見沢保健所									5	45	家族会・交流会の参加人数は延人数を計算
	滝川保健所									2	10	
	深川保健所											
	江別保健所											
	千歳保健所											
	倶知安保健所											
	岩内保健所					1	4					
	室蘭保健所									2	12	
	苫小牧保健所											
	浦河保健所											
	静内保健所											
	渡島保健所											
	八雲保健所											
	江差保健所			1	16					1	9	
	上川保健所											
	名寄保健所											
	富良野保健所											
	留萌保健所									1	7	
	稚内保健所						1	20				
	網走保健所											
	北見保健所						1	6				
	紋別保健所											
	帯広保健所											
釧路保健所												
根室保健所												
中標津保健所												
コロボックルさっぽろ	30	211			48	156	6	54	26	490		
北海道精神保健推進協会					17	83						
北海道大学病院			3	443	15	78						
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	12	127	1	185	12	127	6	6	2	16	
	メディカルコート八戸西病院					12	75			4	46	
岩手県	いわてリハビリテーションセンター	3	62	3	98	10	40			12	151	
	東北医科薬科大学病院			8	118	9	55					
宮城県	齋藤病院											
	気仙沼市立病院											
	リハビリテーション支援センター	1	26	2	230			2	14			
	仙台市障害者総合支援センター			4	208			4	24	11	64	
	仙南保健福祉事務所									2	7	
	仙台保健福祉事務所			1	16					1	9	
	仙台保健福祉事務所岩沼支所											
	仙台保健福祉事務所黒川支所											
	北部保健福祉事務所			1	40					4	24	
	北部保健福祉事務所栗原地域事務所											
東部保健福祉事務所			1	55					2	16		
東部保健福祉事務所登米地域事務所												
気仙沼保健福祉事務所									3	9		
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター											
	山形県高次脳機能障がい者支援センター			3	273	1	6					
山形県	鶴岡協立リハビリテーション病院			4	89	1	3	3	30	1	8	
	総合南東北病院	1	29	4	218					11	113	
福島県	あづま脳神経外科病院	1	52	1	37					4	46	
	(公財)会田病院	1	26							4	38	
	竹田総合病院	1	35							5	33	
	南相馬市立総合病院			1	15					5	41	
	公益財団法人ときわ会常磐病院	1	33							2	10	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	4	27	3	613			5	237			
	志村大宮病院			1	45			1	48			
	立川記念病院			1	67			1	47			
	筑波記念病院			1	42			1	8			

3 令和5年度 主催した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
栃木県	足利赤十字病院							1	30			第14回両毛地区 病病連携検討会
	国際医療福祉大学病院			1	55							
	栃木県医師会塩原温泉病院											
	真岡中央クリニック											
	リハビリテーション花の舎病院											
	栃木県立リハビリテーションセンター											
群馬県	栃木県障害者総合相談所	2	34	4	514	12	104					
群馬県	前橋赤十字病院					9	30					
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	12	120	2	273	166	1,328					
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	5	191	14	812	240	1,000			10	182	
	旭神経内科リハビリテーション病院			1	46			25	66			
	総合病院国保旭中央病院	5	30	1	31			1	12	3	42	
東京都	亀田リハビリテーション病院	12	105	1	40	3	37			1	40	
東京都	東京都心身障害者福祉センター	4	212	13	1,409	66	441			2	4	
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	4	86	4	168	3		6	113			協議会：支援機 関NW連絡会20 名・26名・政令 市との情報交換 会19名・21名 研修会：高次脳 セミナー小児 編・理解編・実 務編・就労編・ 地域内研修 ケース会議：院 内カンファの集 計 勉強会：事例検 討会
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	3	47	1	210	15	83			11	143	
	村上地域振興局健康福祉部			1	22							研修会は新発田 地域振興局に共 催。
	新発田地域振興局健康福祉環境部			1	22							研修会は新潟市 こころの健康セ ンターと両主 催。
	新潟地域振興局健康福祉部			1	49							
	三条地域振興局健康福祉環境部			1	20					2	5	
	長岡地域振興局健康福祉環境部			1	38					2	10	研修会は柏崎地 域振興局と両主 催。
	柏崎地域振興局健康福祉部			1	38					2	10	研修会は長岡地 域振興局と両主 催。家族のつど いは共催。
	魚沼地域振興局健康福祉部			1	31					2	8	
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部			1	31					2	8	研修、家族のつ どいは魚沼、南 魚沼、十日町で 主催
	十日町地域振興局健康福祉部			1	31					2	8	
	上越地域振興局健康福祉環境部			1	24					3	11	研修、家族のつ どいは糸魚川地 域振興局と両主 催
	糸魚川地域振興局健康福祉部			1	24					3	11	研修、家族のつ どいは上越地域 振興局と両主催
	佐渡地域振興局健康福祉環境部			1	16					3	12	
新潟市こころの健康センター			1	49					5	88	研修会は新潟地 域振興局と両主 催。家族のつど いはセンターに 共催。	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	3	81	2	137	58	695			10	44	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	2	72	4	309	15	137			56	317	

3 令和5年度 主催した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
福井県	福井総合クリニック (福井県高次脳機能障害支援センター)	6	99	4	94	54	303	7	82			
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター	1	15	1	128			12	114			
長野県	佐久総合病院					90						
	健和会病院	22	136			20	60	10	171	4	56	
	桔梗ヶ原病院					87	198	9	156			
	県立総合リハビリテーションセンター	7	71	4	146	70	596			5	128	
岐阜県	精神保健福祉センター	2	54	2	145	2	16					
	中部脳リハビリテーション病院			1	56	8	38					講習会は県と共同で主催
静岡県	オリブ	1	36			2	11					
	なかいざりハ	2	55									
	すまいるびいす	1	9									
	サポートセンターコンパス北斗	2	56	1	43	13	102					
	Mネット					3	15					
	ワークセンター大きな木 ワークセンターふたば			2	30	11	65					2病院に対して高次脳機能障害者の地域移行について
愛知県	なごや高次脳機能障害支援センター(名古屋市長総合リハビリテーションセンター内)	6	92	16	1,066	28	112	5	50	32	115	
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓	1	50									参加者50名 西三河南部西圏域の関係機関の方達
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	2	40	1	132	5	28					
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	7	111	4	228	6	35	1	20	4	21	
	滋賀県立リハビリテーションセンター			4	157	9	85			1	8	○相談・支援係、事業推進係合算 ○研修会はオンライン1回と集合2回にて実施
京都府	京都府リハビリテーション支援センター(北部リハビリテーション支援センター)	3	76	2	137	3	12	3	12			
	京都市高次脳機能障害者支援センター	11	128	29	2,915	14	81			11	175	
大阪府	障がい者医療・リハビリテーションセンター	117	737	32	806	601	3,645	12	241	8	40	
	堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター	2	13	4	407	12	126	13	299	15	94	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	5	45	3	637	8	44	3	43			
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	6	32	4	152	3	12			2	11	
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター			3	147	18	111					
鳥取県	野島病院高次脳機能センター			2	116							
島根県	障がい福祉課	22	539	6	263	95	709			25	360	※左記実績は、7圏域の支援拠点の実績を合計したもの
	川崎医科大学附属病院 ひらた旭川荘	5	117	2	532	4	199	1	49	41	95	
広島県	広島県立総合リハビリテーションセンター	1	27	1	234	166	830	9	24	9	68	
	山口県立こころの医療センター	3	45	6	260	64	595			7	164	
徳島県	徳島大学病院	1	37	1	92							■地域支援ネットワークづくり検討会(集合) ■第17回徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会(集合+WEB)
	鳴門山上病院	1	6									
	中洲八木病院					37	740					
	医療法人愛生会 兼松病院					14						
	たまき青空病院					11	66	2	36			

3 令和5年度 主催した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
香川県	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内)	1	15	3	62			1	12			
愛媛県	松山リハビリテーション病院			2	185	67	288	1	69	12	73	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空	1	12	5	128			3	16	21	294	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	5	45	3	826	187	1,192			3	7	
	福岡市立心身障がい福祉センター	11	93	6	1,298			6	42	4	50	
	産業医科大学病院	6	262	4	1,023	108				2	8	
	久留米大学病院	5	44	3	834	6	30					
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	1	18	2	149	35	167	2	116	1	9	
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぶらむ			1	36	3	11	5	20	3	46	
長崎県	長崎子ども・女性・障害者支援センター	4	66	4	277	1	14			7	111	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	2	48	2	415	49	273					
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	13	58	1	21	19	85					運転免許センターとの会議1回
	諏訪の杜病院	14	78	2	34	141	589	6	27			
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	6	159	3	177							
	宮崎大学医学部附属病院			1	79					1	21	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター			3	169					1	10	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	24	100	2	70	12	36					家族支援プログラム-家族座談会があるがま- COVID-19感染拡大防止のため中止
	社会医療法人へいあん平安病院	18	90	5	111	1	4	7	7			
合計		455	5,320	293	22,233	2,808	16,074	180	2,295	448	4,111	

4 令和5年度 協力した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
北海道	岩見沢保健所											
	滝川保健所	1	1									
	深川保健所											
	江別保健所											
	千歳保健所											
	倶知安保健所											
	岩内保健所											
	室蘭保健所											
	苫小牧保健所											
	浦河保健所											
	静内保健所											
	渡島保健所									4	3	相談会の内容を計上
	八雲保健所									1	2	相談会2回（参加者5名）
	江差保健所											
	上川保健所	1	18	1	60							講習会：当日参加者60名以上、ネット配信（再生169回ですが詳細不明のため、60と記載。
	名寄保健所	1	1	1	1	1	4					
	富良野保健所			1	60							
	留萌保健所											
	稚内保健所											
	網走保健所											
	北見保健所											
	紋別保健所											
	帯広保健所			1	48							
釧路保健所												
根室保健所												
中標津保健所												
特定非営利活動法人Re〜らぶ				1	5	5	7					
コロボックルさっぽろ	3	89	11	42	6	48	15	51	9	46		
北海道精神保健推進協会	13	92	1	116	2	8						
北海道大学病院			7	285								
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	4	4					5	5			
岩手県	いわてリハビリテーションセンター	9	318	9	367	13	91		4	60	協議会のうち1回は書面開催	
宮城県	東北医科薬科大学病院	1	26	2	110				2	20		
	齋藤病院							3	10			
	気仙沼市立病院											
	リハビリテーション支援センター			6	42			7	100	1	3	
	仙台市障害者総合支援センター			2	56			1	18			
	仙南保健福祉事務所											
	仙台保健福祉事務所											
	仙台保健福祉事務所岩沼支所											
	仙台保健福祉事務所黒川支所									1	9	
	北部保健福祉事務所											
	北部保健福祉事務所栗原地域事務所	1	40					1	33			
東部保健福祉事務所												
東部保健福祉事務所登米地域事務所												
気仙沼保健福祉事務所												
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	6	19	1	120						Web・現地開催のハイブリッド方式	
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター	7	39	3	8	1	5		2	30	講習会講師あり、参加者数不明	
	鶴岡協立リハビリテーション病院	4	4	6	8				1	1		
福島県	総合南東北病院	4	6	1	123							
	あづま脳神経外科病院（公財）会田病院	4	12	4	6							
	竹田総合病院	4	8	2	3	1	1					
	南相馬市立総合病院	5	75									
	公益財団法人ときわ会常磐病院	4	4									

4 令和5年度 協力した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	3	259	14	485	40	176	1	8	34	260	
	志村大宮病院	3	259	2	222							
	立川記念病院	3	259					1	66			
	筑波記念病院	3	259	1	14							
栃木県	足利赤十字病院	3	112	4	550							<連絡会・協議会>①支援コーディネーター打合せ会議、支援連携協議会、関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議<研修会・講習会>当院船山神経精神科部長が講師されました。
	国際医療福祉大学病院	2	37									
	栃木県医師会塩原温泉病院	2	37									
	真岡中央クリニック	2	37									
	リハビリテーション花の舎病院											
	栃木県立リハビリテーションセンター	5	114									
	栃木県障害者総合相談所	4	132	1	55	9	51			4	156	
群馬県	前橋赤十字病院	2	16	2	120							
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	26	568	13	1,193	14	87			5	117	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	17	1,004	15	453			3	8	33	365	
	旭神経内科リハビリテーション病院	10	579	14	336			1	16	5	61	
	総合病院国保旭中央病院	12	31	5	10							
	亀田リハビリテーション病院	7	12	1	1					10	10	
東京都	東京都心身障害者福祉センター	50	74	20	20	2	4			4	4	
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	18		12		5				50	436	協議会：自立支援協議会9回、調整会議2回、相模原市NW会議2回、全国連絡協議会2回、支援コーディネーター全国会議2回、ブロック会議1回 研修会：リハ講習会3回、地域講習会9回 ケース会議：カンファレンス（出張）5件 家族会・交流会
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	6	11									連絡会・協議会参加者は本県担当者数を計上。（以下、同様）
	村上地域振興局健康福祉部	2	2									
	新発田地域振興局健康福祉環境部	2	2									
	新潟地域振興局健康福祉部	2	2									
	三条地域振興局健康福祉環境部	2	3			4	28					
	長岡地域振興局健康福祉環境部	1	1	1	1					2	6	研修会及び交流会はセンター主催の家族教室、当事者のつどいに協力。
	柏崎地域振興局健康福祉部	1	1									
	魚沼地域振興局健康福祉部	2	2									
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部	2	2									
	十日町地域振興局健康福祉部	2	2									
	上越地域振興局健康福祉環境部	2	2									
	糸魚川地域振興局健康福祉部	1	1			1	6					
	佐渡地域振興局健康福祉環境部	2	2									
新潟市こころの健康センター	3	3										

4 令和5年度 協力した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	2	200	25	1,742	3	14			4	61	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	6	58	1	39	17	107					
福井県	福井総合クリニック (福井県高次脳機能障害支援センター)	9		1	124	56	316	3	50	6		
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター	24	301	1	7			4	56	8	81	
長野県	佐久総合病院											
	健和会病院			1	255	5	52					
	桔梗ヶ原病院					87	198	9	156			
	県立総合リハビリテーションセンター	5	19	2	128	5	31					
岐阜県	精神保健福祉センター	3	3	2	2							
	中部脳リハビリテーション病院	2	9	3	30	2	18			1	55	
静岡県	オリブ			1	36							
	なかいざりハ			2	74			1	15	1	17	
	すまいるぴいす											
	サポートセンターコンパス北斗	2	166	2	63	14	84	1	10			
	Mネット	4		1	53	1	5					
	ワークセンター大きな木 ワークセンターふたば					3	25			12	165	
愛知県	なごや高次脳機能障害支援センター(名古屋総合リハビリテーションセンター内)	2	*	26	424	108	432	1	*	40	*	参加者数欄「*」の表記は、参加者数不明
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓			3	224	143	788	14	535	28	299	
三重県	三重県身体障害者総合総合福祉センター	6	103	7	178	11	67	1		14	67	全国連絡協議会と支援コーディネーター会議の参加人数は不明 勉強会・研究会の参加人数も主催ではないため不明
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	23	1,188	11	582	179	1,253	1	18	6	280	
	滋賀県立リハビリテーションセンター	20	241	7	309	2	12					
京都府	京都府リハビリテーション支援センター(北部リハビリテーション支援センター)	6	442	2	131							
	京都市高次脳機能障害者支援センター	13	189	1	118	31	193					
大阪府	障がい者医療・リハビリテーションセンター	22	74	27	457	7	35	17	115			
	堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター	33	72	13	20	76	152	10	50			
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	13	278	2	65	1	4	4	65	1	11	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	9	36	2	162	13	73	1	13			※参加者数は把握可能なもののみカウントしている
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター			4	105	16	105			7	80	
鳥取県	野島病院高次脳機能センター	2	29	2	36	3	18	1	14	5	28	
島根県	障がい福祉課			2	142	62						※左記実績は、7圏域の支援拠点の実績を合計したもの
岡山県	川崎医科大学附属病院			5	107	1	5			4	28	
	ひらた旭川荘	3	30	1	323							
広島県	広島県立総合リハビリテーションセンター	16	236	6	166	35	165			10	48	
山口県	山口県立こころの医療センター	5	10	3	95							
徳島県	徳島大学病院	6	25									
	社会医療法人芳越会 ホウエツ病院	1	1									
	中洲八木病院	1	3	3	5			4	20			
	たまき青空病院 医療法人日向会 たけひさ医院	1	1	1	1							

4 令和5年度 協力した会合・対象者・参加人数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
香川県	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内)			1	113	37	187	13	176	10	137	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	10	414	6	191	10	54			6	93	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空			2	83	28	172			5	48	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター							3		1		脳卒中リハビリフォーラム リハ講習会 コージネット
	福岡市立心身障がい福祉センター	8		7	367	6	33			5		
	産業医科大学病院	3		3								
	久留米大学病院	8		1								
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	3	72	2	149							
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぶらむ	5	64	2	149	8	36	2	12			連絡会・協議会 は記載の人数に 加えて、オンラ イン参加者あり
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	13	133	6	284	2	5			7	96	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	17		11		15				4	15	
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター					3	45					
	諏訪の杜病院	9	809	11	480	39	207			8	120	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	6	10	3	114	2	2	1	20	10	230	
	宮崎大学医学部附属病院									1	1	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	10	393	1	13	1	13			4	87	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	2	2	1	10			2	2			
	社会医療法人へいあん平安病院	6	17	1	30	8	29	4	29			
合計		613	10,209	394	13,108	1,144	5,451	135	1,671	380	3,636	

5 令和5年度 活動内容（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ／施設調査	著述・報告	専門外来	入院／リハビリテーション	
北海道	岩見沢保健所								
	滝川保健所	○	○	○					
	深川保健所	○	○						
	江別保健所								
	千歳保健所								
	倶知安保健所	○	○						
	岩内保健所								
	室蘭保健所								
	苫小牧保健所	○	○						
	浦河保健所	○	○						
	静内保健所	○	○						・保健所に送付される資料等を関係機関や町に情報提供した。 ・ホームページにて、こころの健康相談等の案内（情報提供）を実施した。
	渡島保健所	○							
	八雲保健所	○	○						
	江差保健所								
	上川保健所	○	○	○	○				
	名寄保健所	○							
	富良野保健所								
	留萌保健所	○	○						
	稚内保健所								
	網走保健所								
	北見保健所		○						
	紋別保健所								
	帯広保健所		○						
	釧路保健所								
	根室保健所	○							
	中標津保健所								
特定補償利活動法人Re～らぶ	○	○							
北海道精神保健推進協会			○			○	○	入院設備なし	
北海道大学病院	○	○			○	○	○	インターネットサイトでクラウドファンディングを行い、書籍の制作を行った	
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	○	○	○			○	○	
	メディカルコート八戸西病院	○	○					○	
岩手県	いわてリハビリテーションセンター	○	○			○	○	○	メールニュース配信、動画配信、自主トレプログラム冊子作成、高次脳機能障がいカルタ配布、お守りカード作成、未来ノート作成
宮城県	東北医科薬科大学病院	○	○			○	○	○	短期入院
	齋藤病院							○	
	気仙沼市立病院							○	
	リハビリテーション支援センター		○		○	○			
	仙台市障害者総合支援センター	○	○		○				
	仙南保健福祉事務所	○	○						
	仙台保健福祉事務所		○						
	仙台保健福祉事務所岩沼支所	○							リーフレットはリハビリテーション支援センターが作成
	仙台保健福祉事務所黒川支所	○							
	北部保健福祉事務所		○						
北部保健福祉事務所栗原地域事務所									
東部保健福祉事務所		○	○					研修会・家族交流会開催、当事者団体活動状況確認	
東部保健福祉事務所登米地域事務所									
気仙沼保健福祉事務所		○							
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	○	○				○	○	
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター	○	○			○	○		
	鶴岡協立リハビリテーション病院	○	○				○	○	
福島県	総合南東北病院	○	○		○		○	○	
	あづま脳神経外科病院	○		○	○		○	○	
	(公財) 会田病院	○						○	
	竹田総合病院	○						○	
	南相馬市立総合病院	○							
	公益財団法人ときわ会常磐病院	○							

5 令和5年度 活動内容（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	○	○		○				X (Twitter)、Youtube
	志村大宮病院	○						○	
	立川記念病院	○						○	
	筑波記念病院	○			○			○	
栃木県	足利赤十字病院	○					○	○	<冊子・リーフレット等>栃木県作成したものに協力
	国際医療福祉大学病院	○							
	栃木県医師会塩原温泉病院	○						○	冊子・リーフレット等は県作成のものを使用
	真岡中央クリニック	○							
	リハビリテーション花の舎病院	○	○						
	栃木県立リハビリテーションセンター	○		○			○	○	・県作成のものを必要に応じて配布。 ・行政的定義を元に院内実態調査実施。 ・専門外来は常設していないが病院外来にて診断・評価実施。
栃木県障害者総合相談所	○	○	○	○				医療機関への再調査を行い、「高次脳機能障害」に対応可能な医療機関一覧を更新	
群馬県	前橋赤十字病院	○	○				○		専門外来について：専門外来とは標榜していない3科で診療している。
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	○	○				○	○	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	○	○		○		○	○	
	旭神経内科リハビリテーション病院						○	○	高次脳集団訓練（さくらの会）
	総合病院国保旭中央病院	○	○				○	○	
	亀田リハビリテーション病院						○	○	
東京都	東京都心身障害者福祉センター	○	○						「小児高次脳機能障害リーフレット」及び「高次脳機能障害普及啓発ポスター」を作成
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	○	○				○	○	
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	○	○						
	村上地域振興局健康福祉部	○							
	新発田地域振興局健康福祉環境部								実績なし
	新潟地域振興局健康福祉部	○	○						
	三条地域振興局健康福祉環境部	○	○						
	長岡地域振興局健康福祉環境部	○	○						
	柏崎地域振興局健康福祉部	○							
	魚沼地域振興局健康福祉部								実績なし
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部								実績なし
	十日町地域振興局健康福祉部	○							
	上越地域振興局健康福祉環境部	○	○						
	糸魚川地域振興局健康福祉部	○	○						
	佐渡地域振興局健康福祉環境部								実績なし
	新潟市こころの健康センター								
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	○	○			○	○※1	○※2	※1→専門外来は常設していないが、病院の外来にて診断評価を実施。 ※2→リハビリは外来で対応。 他：ポスター改訂。研修等への参加。
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	○	○	○	○				
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	○	○				○	○	書籍・DVDレンタル、神経心理学的検査用具貸出
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター	○	○		○				専門外来、入院リハビリテーションは併設病院にて実施。

5 令和5年度 活動内容（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
長野県	佐久総合病院	○						○	
	健和会病院	○	○			○	○	○	
	桔梗ヶ原病院	○	○				○	○	
	県立総合リハビリテーションセンター								
岐阜県	精神保健福祉センター	○	○						
	中部脳リハビリテーション病院						○	○	外来リハビリテーションあり。入院は回復期リハビリテーションのみ
静岡県	オリブ	○		○					回復期病院リハビリ職員へのモニタリング・広報
	なかいざりハ		○				○	○	
	すまいるびいーす	○		○	○	○	○	○	
	サポートセンターコンパス北斗	○	○	○	○	○			*リーフレットは県で作成・法人パンフレット、ホームページ、広報誌作成・中部保健所とともに、志太榛原圏域の支援フローチャートやリーフレットを作成、静岡地区も作成
	Mネット								小学校での福祉教育（授業1コマ）
	ワークセンター大きな木 ワークセンターふたば	○	○			○		○	入院設備なし（就労支援支援施設） ポスターは県庁で作成
愛知県	なごや高次脳機能障害支援センター(名古屋市総合リハビリテーションセンター内)	○	○		○		○	○	市民向けチラシ作成・配布、関係機関向けパンフレット作成・配布、支援マップ福祉版作成、支援マップ医療機関版更新、マイノート配布、各種ガイドブック配布、ポスター掲示、生活訓練・就労移行支援
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓	○							ネットワーク構築促進事業の連携依頼、豊橋市内へあらためて連絡協力依頼、碧海ネットワークに参加し説明と協力依頼
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	○	○					○	
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター			○	○				○高次脳機能障害支援専門員養成初任研修・フォローアップ研修の実施、県より滋賀県高次脳機能障害専門相談支援員（初任者・現任者・実務者）として認証書の発行 ○滋賀県高次脳機能障害圏域ネットワーク事業の実施（7圏域/7圏域） ○湖南圏域の回復期病院地域連携室に対し高次脳機能障害者への地域移行支援に関するアンケート調査の実施 ○高次脳機能障害支援専門チームを設置しアウトリーチ事業実施 ○厚労科研事業 参画
	滋賀県立リハビリテーションセンター		○		○	○		○	○高次脳機能障害に関わるすべての支援者を対象に研修会を実施 ○高次脳機能障害等に係る専門相談
京都府	京都府リハビリテーション支援センター（北部リハビリテーション支援センター）	○	○				○		
	京都市高次脳機能障害者支援センター	○	○		○		○	○※	ホームページ、Facebook、センターだより、市民新聞等での情報発信。市民も対象とした出張講座の実施。 ※就労に関する「作業体験プログラム」を毎週実施
大阪府	障がい者医療・リハビリテーションセンター	○	○			○	○	○	啓発動画や関係機関が作成した資源マップ等、ホームページの掲載情報更新
	堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター	○	○					○	施設紹介DVD、機関紙、ハンドブック、医療機関向けポスター、自立訓練紹介リーフレット

5 令和5年度 活動内容（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	○	○			○	○	○	神戸市「障害福祉のあらし」に窓口情報掲載 高砂市「高砂市障がい者福祉制度の概要」に窓口情報掲載 全国自治体病院協議会雑誌第62巻2023年第11号リハビリテーション部会コーナー「チームリハビリ」寄稿
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	○	○				○		※検査・診断のみ パンフレット・ポスターの配布、ホームページの更新、啓発イベントへの参加・出店
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	○	○						
鳥取県	野島病院高次脳機能センター	○	○				△	○	・専門外来は設置しておらず通常の脳外科外来で対応。 ・従来の県庁公式ホームページ内に設置のウェブサイトに加え、R3年度より病院ホームページ内へも開設した。
島根県	障がい福祉課	○	○	○			○	○	・7圏域に相談支援拠点機関を設置し、圏域ごとにネットワーク会議を開催した。 ・研修会の開催（圏域単位） ・高次脳機能障がい支援普及啓発リーフレットを配布
岡山県	川崎医科大学附属病院	○	○	○		○	○	○	①高次脳外来、グループワーク、家族支援の実施 ②ひらた旭川荘とともに、各ワーキンググループ活動の実施 ・医療WG ・地域連携WG ・福祉WG ・小児WG ③家族会活動への協力
	ひらた旭川荘	○	○	○					・失語症者に対する日中活動の実施（週1回） ・川崎医科大学附属病院とともに、各ワーキンググループ活動の実施 ・医療WG ・地域連携WG ・福祉WG ・小児WG
広島県	広島県立総合リハビリテーションセンター	○	○				○	○	
山口県	山口県立こころの医療センター	○	○				○	○	
徳島県	徳島大学病院	○	○				○		高次脳機能障害支援窓口案内リーフレット設置・配布（徳島大学病院患者支援センター）、パンフレット作成、配布、冊子「こうじのーとⅢ」作成・配布
	社会医療法人凌雲会 稲次病院							○	
	医療法人いちえ会 伊月病院							○	
	社会医療法人芳越会 ホウエツ病院						○	○	
	鳴門山上病院						○	○	
	中洲八木病院							○	
	医療法人愛生会 兼松病院							○	
	たまき青空病院						○	○	
医療法人日向会 たけひさ医院								高次脳機能障害者向けショートケアプログラムの実施	

5 令和5年度 活動内容（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
香川県	かがわ高次脳機能障害支援センター (かがわ総合リハビリテーションセンター内)	○	○				○	○	①香川県立保健医療大学大学祭にて障害に関するパネル展示と障がい者スポーツ体験会を実施 ②香川県立図書館にて障害に関するパネル展示と関連図書の実施
愛媛県	松山リハビリテーション病院	○	○				○	○	研修
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 青い空	○	○						
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	○	○				○	○	アンケート調査協力2件
	福岡市立心身障がい福祉センター	○	○					○	通所による自立訓練を実施
	産業医科大学病院	○	○				○	○	新しいリーフレットを作成中
	久留米大学病院	○					○		冊子・リーフレット等→県庁作成 診断評価・リハビリ→精神神経科
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○		情報誌第8号発行 第15回ニューロリハビリテーション学会にて発表
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぶらむ	○	○						会報誌第8号発行
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	○	○	○				○	入院設備なし
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	○	○				※1	※2	※1 脳外科外来で対応 ※2 リハビリは外来で対応
大分県	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター	○	○				○	○	ローソンにポスター掲示
	諏訪の杜病院	○	○				○	○	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	○	○						①リーフレット作成、関係者へ配布 ②公共図書館等8か所でパネル展 ③広報誌に記事記載 ④出前講座・会議・報道機関での情報発信
	宮崎大学医学部附属病院						○	○	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	○	○						高次脳機能障害者支援ガイドの改訂版を発行した。
沖縄県	医療法人タビック沖縄リハビリテーションセンター病院	○	○		○		○	○	
	社会医療法人へいあん平安病院	○	○					○	ラジオ、新聞等を通じて広報を行った。

6 令和5年度 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の設置状況

都道府県	会議等名称	委員構成	委員人数	開催実績	備考
北海道	苫小牧保健所 高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議	医療機関（急性期、回復期、精神科）、障がい者福祉（4事業所）、介護（1地域包括支援センター）、行政（5市町、公共職業安定所）	19機関	なし	
	南檜山高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議（江差保健所）	江差保健所、管内町、医療機関、福祉事業所、当事者団体	24	なし	
青森県	青森県高次脳機能障害及び関連障害に対する支援普及事業検討委員会	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者就労支援施設、教育関係者、当事者家族会	15	1	
岩手県	岩手県高次脳機能障がい者支援普及事業連絡協議会	支援拠点機関、県、市、医療機関、医師会、障害者支援施設、当事者家族会、障害者職業センター、社会福祉事業団、社会福祉協議会・障害者福祉協議会、相談支援事業所、県教育委員会	23	2	
宮城県	令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク会議	東北医科薬科大学、気仙沼市立病院、齋藤病院、仙台市障害者総合支援センター、宮城県保健福祉部精神保健推進室、宮城県リハビリテーション支援センター、宮城県各保健福祉事務所（支）所・地域事務所	26	1	
秋田県	令和5年度高次脳機能障害及び関連障害に関する支援普及事業相談支援ネットワーク委員会	支援拠点病院医師・SW、急性期病院医師、障害者職業センター、指定相談支援事業所、秋田県庁障害福祉課	5	1	
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター運営委員会	医師、事務、看護師、作業療法士、言語聴覚士、コーディネーター、通所教室「暁才」指導員	15	2	
福島県	高次脳機能障がい支援会議	支援拠点機関、県（障がい福祉課、教育庁）、医師会、介護支援専門員協会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、自立支援協議会、作業療法士会、当事者家族会	22	2	
	高次脳機能障がい支援拠点コーディネーター会議	支援拠点機関、県	12	2	
茨城県	茨城県高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会	リハ科医、脳神経外科医、神経内科医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、学校教諭、介護支援専門員、ソーシャルワーカー、職業センター、障害者支援施設、家族会	12	2	
	茨城県地域支援拠点病院情報交換会	社会福祉士、理学療法士	3	2	
栃木県	栃木県高次脳機能障害支援連携協議会	当事者家族会、学識経験者、医療機関、保健福祉機関、労働機関、支援拠点機関、県	17	1	
	栃木県高次脳機能障害支援コーディネーター連絡会	支援拠点機関、県	10	1	
群馬県	群馬県高次脳機能障害支援連絡会	支援拠点機関（前橋赤十字病院）、家族会、県立障害者リハビリテーションセンター（高次脳対象の自立訓練を提供）、医療ソーシャルワーカー協会、県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、市障害者生活支援センター、市精神保健担当課 事務局：県障害政策課	11	2	
埼玉県	令和5年度埼玉県高次脳機能障害支援体制整備推進委員会	医師、医療関係、障害者施設団体、障害者相談支援関係、当事者団体、就労関係、市町村代表、県（精神保健分野、拠点施設）	13	1	県障害者福祉推進課主催
千葉県	千葉県高次脳機能障害ネットワーク担当者会議	千葉県、支援拠点機関	15	1	23.6.26 実施
	千葉県高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会	千葉県、支援拠点機関、関係支援機関ほか	40	1	23.12.18 実施
	千葉県高次脳機能障害コーディネーター研修会準備会議	千葉県、支援拠点機関	8	1	24.2.9 実施
	千葉県高次脳機能障害コーディネーター研修会	千葉県、支援拠点機関	18	1	24.3.14 実施
東京都	高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会	学識経験者、医療機関、精神保健関係機関、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、区市町村、当事者家族会	15	2	Web開催
神奈川県	神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会	支援拠点機関、県、政令市、当事者団体、学識経験者、職域団体、専門支援機関、作業部会など	17	1	R6年2月9日開催
新潟県	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	大学、医療機関、作業療法士会、言語聴覚士会、医療ソーシャルワーカー協会、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、障害福祉サービス事業所、介護支援専門員協会、相談支援専門員協会、当事者家族、保健所	12	1	
富山県	高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、当事者家族会	19	1	
石川県	石川県地域リハビリテーション推進検討会議	学識経験者、職能団体、当事者団体、就労支援機関、教育機関等			令和6年能登半島地震のため中止

6 令和5年度 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の設置状況

都道府県	会議等名称	委員構成	委員人数	開催実績	備考
福井県	福井県高次脳機能障害支援普及事業 相談支援体制連携調整会議	支援拠点機関、県、医師会（医療）、圏域の中核医療機関2機関（医療）、福井県立大学（学識経験者）、障害者職業センター（就労支援）、精神障害者福祉サービス事業所連絡協議会（福祉）、福井県介護支援専門員協会（福祉・介護保険領域）、福井県障害者相談支援専門員協会（福祉障害福祉領域）、特別支援教育センター（就学支援）、福井県高次脳機能障害友の会（当事者団体）、福井市障がい福祉課（行政・地域生活支援）、健康福祉センター（行政・地域生活支援）	19	1	
山梨県	高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会	当事者・家族、支援拠点機関、県、県関係機関、町村会代表、医療関係者（リハビリ、救急医療）、障害者支援関係者、障害者就労支援関係者、介護支援関係者、学識経験者等	17	1	対面、オンライン ハイブリッド開催
長野県	高次脳機能障害支援拠点病院連絡会議	支援拠点病院（佐久総合病院、健和会病院、桔梗ヶ原病院、県立総合リハビリテーションセンター）、県	16	1	
岐阜県	岐阜県高次脳機能障がい支援対策推進会議	支援拠点病院、協力医療機関、医師会、精神科病院協会、言語聴覚士会、ぎふ脳外傷友の会、精神保健福祉士協会、岐阜障害者職業センター、地域支援協力機関	12	1	会議事務局は本庁担当課
静岡県	地域リハビリテーション推進研修会 高次脳機能障害部会	静岡市保健所精神保健福祉課、静岡市地域リハビリテーション推進センター、委託相談支援事業所、医療機関等	10	4	*地域リハビリテーション推進連絡会高次脳機能障害部会として活動している。
愛知県	相談支援体制連携調整委員会	県（障害福祉・労政・精神保健福祉センター・教育センター）、名古屋（障害福祉・精神保健福祉センター・教育センター）、障害者支援施設、障害者職業センター、医療ソーシャルワーカー協会、当事者家族会、学識経験者、支援拠点機関	21	2	令和5年9月20日/令和6年3月27日
三重県	三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業相談支援体制連携調整委員会	拠点機関、拠点病院、協力病院、当事者会、医療ソーシャルワーカー協会、学識経験者、障害者職業センター、労働局、教育委員会、行政機関	19	2	
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害対策推進会議	支援拠点機関、県、県立リハビリテーションセンター、医療機関、保健所、障害者支援施設、職業センター、障害者就労支援事業所、生活支援事業所、自立支援協議会、当事者家族会	14	1	
	大津圏域高次脳機能障害連絡調整会議	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	19	3	
	湖南圏域高次脳機能障害意見交換会	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、県主管理課、保健所、障害相談基幹センター	15	1	
	甲賀圏域高次脳機能障害連絡調整会議	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、相談支援事業所、障害者就労支援施設、障害者就業・生活支援センター、医療機関	18	1	
	湖東圏域高次脳機能障害連絡調整会議	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	19	1	
	湖北圏域高次脳機能障害連絡調整会議	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者支援施設、家族会	17	1	
	湖西圏域高次脳機能障害連絡調整会議	支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、障害者支援施設、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、障害者就業・生活支援センター、医療機関	18	2	
京都府					委員会形式ではないが、医療従事者、福祉関係者、行政関係者等を対象とした高次脳機能障害者の支援ネットワーク会議を例年開催し、支援についての情報共有、連携強化等を図っている。
	京都市地域リハビリテーション推進会議	学識経験者（医師・大学教授）、医師会、市、医療、福祉関連職能団体	17	1	京都市地域リハビリテーション推進会議の中で高次脳機能障害の部門について報告、検討を行った。
大阪府	大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会	当事者家族会、市町村、障がい者支援施設、障害者職業センター、社会福祉協議会、医療機関、医師会	12	2	
	堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター運営委員会	医療機関、総合相談情報センター（障害者基幹相談支援センター）、障害者就業・生活支援センター、障害者就労支援施設、当事者家族会	10	2	
兵庫県	高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体連絡会	支援拠点機関、県、医療機関、学識者、障害者支援事業所、障害者支援施設、当事者家族会代表	8	1	
	総合リハ高次脳機能障害支援検討会議	医療機関（医師、看護師、心理士、OT、ST）訓練施設（生活訓練、就労支援）、研修センター、支援コーディネーター	17	3	
奈良県	高次脳機能障害支援体制検討委員会	支援拠点機関、県、医師会、当事者家族会、障害者就労支援機関	17	1	

6 令和5年度 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の設置状況

都道府県	会議等名称	委員構成	委員人数	開催実績	備考
和歌山県	和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設	9	1	
鳥取県	—	—	—	—	設置無し
島根県	島根県高次脳機能障がい者支援連絡会議	・島根県障がい福祉課 ・地域支援拠点（エスポアール出雲クリニック、松江青葉病院、松ヶ丘病院）	6	1	県と地域支援拠点との連絡調整・連携を目的とした会議を開催。
	東部地域連絡会議	・地域支援拠点（松江青葉病院） ・圏域相談支援拠点（松江、雲南）	3	11	地域支援拠点と圏域相談支援拠点との連絡調整・連携を目的とした会議を開催。
	中部地域連絡会議	・地域支援拠点（エスポアール出雲クリニック） ・圏域相談支援拠点（出雲、大田、隠岐）	4	5	地域支援拠点と圏域相談支援拠点との連絡調整・連携を目的とした会議を開催。
	西部地域連絡会議	・地域支援拠点（松ヶ丘病院） ・圏域相談支援拠点（浜田、益田）	5	7	地域支援拠点と圏域相談支援拠点との連絡調整・連携を目的とした会議を開催。
岡山県	岡山県高次脳機能障害及びその関連障害支援普及事業相談支援体制連携調整委員会	支援拠点機関、県、医療機関、福祉機関、就労支援機関、教育庁、当事者家族会	49	2	
広島県	広島県高次脳機能障害連絡協議会	支援拠点機関、医療機関、当事者家族会、市障害福祉課、関係障害者施設、大学、精神保健福祉センター、職業センター、職業能力開発校	18	1	県は、事務局となっており、委員ではない。
山口県	山口県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会	支援拠点機関、県、医療機関、障害者支援施設、障害者就労支援機関、当事者家族会、弁護士	10	1	
徳島県	徳島県高次脳機能障がい支援連絡協議会	支援拠点病院、関係医療機関、家族会、精神保健福祉センター	13	1	
香川県	香川県高次脳機能障害支援連絡協議会	医療機関（香川大学医学部附属病院脳神経外科、香川県医療ソーシャルワーカー協会）、県士会（言語聴覚士会、作業療法士会）、福祉機関（相談支援事業所、基幹相談支援センター、障害者職業センター）、家族会（高次脳機能障害友の会）、県行政（精神保健福祉センター、教育委員会特別教育課、障害福祉課）、支援拠点機関	13	1	
愛媛県	愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会	支援拠点機関、相談支援協力機関、保健所、大学法人、医師会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、臨床心理士会、障害者職業センター、日本看護財団、家族会	19	1	
高知県	令和5年度高次脳機能障害支援委員会	支援拠点機関、県、職能団体、障害者職業センター、高知弁護士会、大学教授	12	1	
福岡県	福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会	支援拠点機関、行政関係者（県、政令指定都市）、関係機関学識経験者等（医師会、障害者職業センター、精神障害者社会復帰施設協議会、身体障害者施設協議会、弁護士会、理学療法士会、作業療法士会、ソーシャルワーカー協会、ヘルパー連絡会、当事者家族会）	23	1	WEB会議
佐賀県	佐賀県高次脳機能障害支援推進委員会	支援拠点機関、県障害福祉課、同就労支援室、同教育庁、同労働局、医療機関（医師会・精神科病院協会等）、保健所、PT・OT・ST・MSW団体、障害者支援施設（障害者職業センター・精神保健福祉センター、県立地域生活リハビリセンター）、当事者家族	25	2	
	高次脳機能障害相談支援連絡会	医療関係・教育関係・就労支援・地域定着支援・家族会より高次脳機能障害者の相談支援経験者各1名で構成	5	2	必要時に随時開催
長崎県	長崎県高次脳機能障害支援連絡協議会	支援拠点機関、県、市、医師会、県立保健所、作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会、臨床心理士会、弁護士会、教育機関、障害者職業センター、当事者、家族会、長崎県リハビリテーション支援センター、長崎県回復期リハビリテーション連絡協議会、相談支援専門委員会、小児科医師会、医療機関	18	1	
熊本県	熊本県高次脳機能障害支援委員会世話人会	・脳神経外科医師 1名 ・脳神経内科医師 2名 ・リハビリテーション科医師 1名 ・熊本県精神保健福祉センター 所長・保健師 ・熊本県健康福祉部 障がい者支援課 2名 ・熊本県高次脳機能障害支援センター センター長 コーディネーター1名・相談員1名	11	1	

6 令和5年度 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の設置状況

都道府県	会議等名称	委員構成	委員人数	開催実績	備考
大分県	令和5年度 大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連携調整委員会	一般社団法人 大分県医師会 一般社団法人 大分県精神科病院協会 大分県リハビリテーション支援センター 公益社団法人 大分県理学療法士協会 公益社団法人 大分県作業療法協会 公益社団法人 大分県言語聴覚士協会 公益社団法人 大分県看護協会 大分県障害者相談支援事業推進協議会 大分県介護支援専門員協会 高次脳機能障害友の会「おおいた」 大分障害者職業センター 大分市保健所 大分県教育庁特別支援教育課 大分県こころとからだの相談支援センター 支援拠点機関（別府リハビリテーションセンター、諏訪の杜病院）	16	1	2名欠席有 （大分県医療ソーシャルワーカー協会、大分県保健所長会）
宮崎県	（宮崎県）高次脳機能障がい支援連絡会議	支援拠点機関、支援協力医療機関、精神保健福祉機関、就労支援機関、教育機関、関係協議会、医療・福祉職能団体、行政機関等の68団体	68	1	
鹿児島県	県高次脳機能障害者支援協力病院指定検討会議	県精神科病院協会理事，鹿児島大学医学部保健学科作業療法専攻教授，鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野教授，同リハビリテーション医学教授，同脳神経内科・老年病学教授，県医師会常務理事，県精神保健福祉センター所長，県くらし保健福祉部次長	8	随時	鹿児島県高次脳機能障害者支援協力病院指定に関する検討会
沖縄県	高次脳機能障害拠点機関連絡調整会議	支援拠点機関、県	3	12	WEB開催

令和6年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（別冊資料編）

令和6年6月26日

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
高次脳機能障害情報・支援センター

〒359-8555

埼玉県所沢市並木四丁目1番地

電話：04-2995-3100（内線2594）

E-mail：hbd@rehab.go.jp